

2020年度

教 育 要 項

(臨床医学教育)

統合臨床講義

奈良県立医科大学
医学科

学籍番号

氏名

目 次

理念・ポリシー	3
教育アウトカム	5
奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領	13
奈良県立医科大学医学部公欠規程	21
試験に関する諸注意	25
暴風警報発令時における授業の措置について	26
地震発生等災害時における授業の措置について	27
健康管理	28
2020年度 統合臨床講義時間割	29
統合臨床講義科目紹介	
臨床医学総論	40
腎疾患・尿路系疾患	41
肝・胆・膵疾患	44
消化器疾患	46
循環器疾患	49
呼吸器疾患	52
画像診断・IVR	54
神経疾患	55
運動器疾患	57
精神・行動疾患	58
血液疾患	61
移植・再生医学	63
内分泌疾患	65
眼疾患	66
皮膚疾患	68
膠原病・アレルギー疾患	69
耳鼻咽喉疾患	71
行動科学Ⅱ	72
東洋医学	73
臨床腫瘍学・放射線治療学	74
感染症	76
代謝・栄養疾患	78
衛生学・公衆衛生学Ⅱ	79
小児疾患	82

周産期医学	83
法医学	85
在宅医療学	87
外傷・救急医学	88
総合診療	91
婦人疾患	92
口腔疾患	94
麻酔・疼痛管理	95
病理学実習	97
共用試験 (CBT)	98
共用試験 (Pre-CC OSCE)	99
医師・患者関係学 I	100
臨床手技実習	101
実践的医療倫理 I	103
コンソーシアム実習	104
緊急医師確保枠学生地域医療特別実習 1	105
地域基盤型医療教育コース	107
研究医養成コース	108
公立大学法人奈良県立医科大学料金規程(抄)／授業料の納入方法	109
2020年度 医学科 学事計画	110

奈良県立医科大学の「建学の精神」

最高の医学と最善の医療をもって地域の安心と社会の発展に貢献します。

奈良県立医科大学の理念

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

奈良県立医科大学教育分野の理念と方針

理念 豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

- 方針**
1. 良き医療人育成プログラムの実践
 2. 教員の教育能力開発と教育の質保証
 3. 教育全般に関する外部有識者評価と学生参加の推進
 4. 学習環境と教育環境の充実

教育目標

奈良県立医科大学は、将来、研究・医療・保健活動を通じて地域社会に貢献し、より広く人類の福祉と医学の発展に寄与できる人材を育成するため、医学・医療に関する基本的な知識、技術、態度・習慣を体得し、独創性と豊かな人間性を涵養し、あわせて生涯学習の基礎をつくることを教育の目標とする。

アドミッションポリシー

1. 医師となる自覚が強く、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人
2. 患者安全の観点から患者が安心して受診できる医師となれる人
3. 将来性豊かで、奈良県だけでなく日本、世界の医学界をリードできる人

カリキュラムポリシー

1. 倫理観とプロフェッショナリズムの育成、コミュニケーション教育
教養教育では、自律心の向上と倫理学教育に重点を置く。プロフェッショナリズム、コミュニケーション教育に資するため、早期から、高齢者や乳幼児、障害者の施設を見学する機会を持ち、現場で人間的触れ合いを通じて知識だけでなく実践的な医療倫理的素養を培うカリキュラムを配置する。
2. 医学、医療とこれらに関連する領域の知識、技能、態度の習得
医学の基盤となる知識を早期から段階的に積み上げていく教育カリキュラムを配置する。
 - ① 教養教育では語学や自然科学の基本を習得し、生命科学を学ぶための基盤を作り上げるカリキュラムを配置する。
 - ② 基礎医学では、医学の根幹となる解剖学、生理学、生化学を学び、さらに、発展的な基礎医学知識を獲得できるように段階的なカリキュラムを配置する。
 - ③ 臨床医学では、広範な知識と基本的臨床技能を習得できるようなカリキュラムを配置する。知識、態度が共用試験（CBT、Pre-CC OSCE）による全国共通試験でも確認された後に、Student Doctorとして臨床実習に参加させる。

- ④ 臨床実習では、診療参加の実態を確保し、医療面接と診療技法を中心に実践的な教育を行う。また、臨床実習の終了時点でPost-CC OSCEを実施し、得られた臨床技能、態度の確認を行う。

3. 国際的な視野と科学的探究心の育成

すべての学生に、研究マインドを涵養するべく、リサーチ・クラークシップを実施する。関心の高い学生には、早期から生命科学系の研究に参加できるように、6年一貫の「研究医養成コース」を設けている。海外での実習の機会も設ける。

4. 医療を通じた地域社会への貢献

医療システムについての理解を深めることはもちろんであるが、大学内のみならず、奈良県を中心に地域社会、地域医療と関わりを持つ実体験を通じて、奈良の医療を良くしたいという意欲を高める体験型の教育を行っていく。このための6年一貫の「地域基盤型医療教育コース」を設ける。

ディプロマポリシー

所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位と時間数を修得することが学位授与の要件である。卒業時には以下の能力が求められる。

1. 生命の尊厳と患者の権利を擁護できる高い倫理観とプロフェッショナリズムを身につけている。
2. 医学とそれに関連する領域の正しい知識を身につけている。
3. 医療を適切に実践できる知識、技能、態度を身につけている。
4. 良好な医療コミュニケーション能力を身につけている。
5. 医学、医療、保健を通じて地域社会へ貢献する意欲と能力を身につけている。
6. 国際的な視野と科学的探究心を身につけている。

基本的知識

1. 人間関係、人間行動及び人間と環境の相互関係に関する知識
2. 医学に関係する学問全般にわたる幅広い基本的知識並びに国際化に対応できる語学力
3. 人間の精神活動、身体の構造・機能及びライフサイクルに関する知識
4. 疾病の病因・病理・病態生理に関する基礎的知識並びに主要症状・経過・治療に関する臨床的知識
5. 保健・医療の社会的・行政的機構に関する知識

基本的技術

1. 面接・問診・診察の技術
2. 主要臨床検査について理論と方法を理解し、成績を判定する能力
3. 診察・臨床検査から得られる情報を整理分析し、患者のもつ問題を解決する能力
4. 頻度の高い疾患の診察、基本的な治療・応急処置・救急治療のできる能力
5. 研究が医学に果たす役割の重要性の理解と基本的研究技術

基本的態度・習慣

1. 医学・医療を全人的包括的にとらえ、自然科学としてだけでなく、精神的・社会的問題との関係を含めて総合的に考える広い視野
2. 患者の立場を尊重して、温かく誠実な患者・医師関係をつくれる豊かな人間性と医師としての指導性
3. 関連の医療・保健従事者及び他の医療施設・研究機関と協力できる謙虚さ、責任感、協調性
4. 卒業後も生涯学習と自己評価を続け、医学の急速な進歩と医療をめぐる社会環境の変化に対応できる能力
5. 高い倫理観に基づく医師としての社会的使命・責任の自覚

奈良県立医科大学医学部医学科卒業時のアウトカム

I. 倫理観とプロフェッショナリズム

学生は、卒業時に

患者、患者家族、医療チームメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するためのプロフェッショナルリズム（態度、考え方、倫理感など）を有して行動することができる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたって向上を図ることの必要性と方法を理解している。

<医師としての考え、態度>

- 1 人間の尊厳を尊重する。
- 2 法的責任・規範を遵守する。
- 3 患者に対して利他的、共感的、誠実、正直に対応し、患者中心の立場に立つ。
- 4 患者、患者家族の心理・社会的要因と異文化、社会背景に関心を払い、その立場を尊重する。
- 5 倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて評価できる。
- 6 自分の知識、技能、態度に責任を持って患者を診療できる。
- 7 医学、医療の発展に貢献することの必要性を理解する。

<チーム医療>

- 8 医療・研究チームで協同して活動し、チームリーダーとしての役割を果たすことができる。
- 9 医療チームの一員として効果的、相補的な業務を行い、医療安全に務めることができる。

<自己啓発>

- 10 自己の目標を設定できる。
- 11 自己を適切に評価して知識と技能の能力の限界を知り、それを乗り越える対処方法を見つけることができる。
- 12 生涯学習により常に自己の向上を図る必要性と方法を理解する。
- 13 医療ニーズに常に対応できるように自己を管理できる。
- 14 自らのキャリアをデザインし、達成へ向けて学習を継続できる。

II. 医学とそれに関連する領域の知識

学生は、卒業時に

基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、それらを医療の実践の場で応用できる。医療の基盤となっている生命科学、人口、環境など関連領域の知識と原理を理解している。

以下の知識を有し、応用できる。

- 1 人体の正常な構造と機能
- 2 人体の発達、成長、加齢、死
- 3 人の心理、行動
- 4 病因、人体の構造と機能の異常、疾病の自然経過と予防
- 5 薬理効果・治療
- 6 疫学、人口統計、環境
- 7 医療安全
- 8 医学医療に影響を及ぼす文化的・社会的・経済的要因

Ⅲ. 医療の実践

学生は、卒業時に

患者に対し思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な医療と健康増進を実施できる。医学とそれに関連する領域の知識を統合して、急性あるいは慢性の頻度の高い健康問題の診断と治療を計画できる。

- 1 心理、社会的背景を含む患者の主要な病歴を正確に聴取できる。
- 2 成人及び小児の身体診察と基本的臨床手技を適切に実施することができる（精神、神経学的、生殖器、整形外科的診察も含む）。
- 3 プロブレムリスト、鑑別診断のための疾患リスト、診療録を作成できる。
- 4 頻度の高い疾患の診断と治療に必要な臨床検査（検体検査、画像診断、病理診断）を選択し、結果を解釈できる。
- 5 頻度の高い疾患の診断と治療計画を患者の心理・社会的因子、文化的背景、疫学、EBM を考慮して立てられる。
- 6 医療を実施する上で有効な患者-医師関係を構築できる。
- 7 患者管理の基本を実施できる。
- 8 患者の安全性を確保した医療を実践できる。
- 9 リハビリテーション、地域医療、救急医療、集中治療に参加できる。
- 10 緩和医療、終末期医療、代替医療の概要を理解し、これらの医療に参加できる。
- 11 患者教育の概要を理解し、実践できる。
- 12 医療の不確実性を認識して対応できる。
- 13 診療の優先順位を決定できる。
- 14 電子化された医学・医療に関する情報を利用できる。

Ⅳ. コミュニケーション技能

学生は、卒業時に

他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して医療を実践し、思いやりがある効果的なコミュニケーションができる。医学・医療における文書を適切に作成し、取り扱うことができる。責任ある情報交換と記録を行うことができる。

- 1 有効なコミュニケーションの一般原則を実践できる。
- 2 患者、患者家族、医療チームのメンバーと、個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実施できる。
- 3 コミュニケーションを通じて患者、患者家族、医療チームのメンバーとの信頼関係を築き、情報収集、説明と同意、教育など医療の基本を実践できる。
- 4 診療情報、科学論文などの文書を規定に従って適切に作成、取り扱い、情報提供できる。

V. 医学、医療、保健、社会への貢献

学生は、卒業時に

保険制度、医療機関、行政等の規則等に基づいた保健活動と医療の実践、研究、開発を通して社会に貢献できることを理解できている。

- 1 各種保険制度など医療制度が理解できている。
- 2 患者の診療、健康の維持、増進のために各種医療専門職の有用性が理解できている。
- 3 地域の保健、福祉、介護施設の活用が患者個人と医療資源の適正な利用に必要であることが理解できている。
- 4 患者と家族の健康の維持、増進のために施設を適切に選択できる。
- 5 地域の保健・福祉に関する問題を評価でき、疾病予防プランを立案できる。
- 6 医師として地域医療に関わることの必要性が理解できている。
- 7 医学・医療の研究と開発が社会に貢献することが理解できている。
- 8 国際保健活動の仕組みと意義を理解し、説明できる。

VI. 国際的視野と科学的探究

学生は、卒業時に

基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報の評価、批判的思考、新しい情報を生み出すための論理的思考に基づき研究計画の立案ができる。

- 1 国際的視野で医療と医学研究を考えることができる。
- 2 未解決の臨床的あるいは科学的問題を認識し、仮説を立て、それを解決するための方法と資源を見いだすことができる。
- 3 臨床や科学の興味ある領域での研究をすすめることができる。
- 4 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論が理解できている。
- 5 人を対象とした医学研究の倫理、研究不正などに対する研究倫理が理解できている。
- 6 科学的研究で明らかになった新しい知見を明確

◆奈良県立医科大学医学部医学科卒業時のアウトカム

		統合臨床講義																										6年一貫				統合臨床講義全体			
臨床医学総論	循環器疾患	腎疾患・尿路系疾患	呼吸器疾患	消化器疾患	肝・胆・膵疾患	画像診断・IVR	血液疾患	運動器疾患	眼疾患	精神・行動疾患	移植・再生医学	内分泌疾患	神経疾患	膠原病・アレルギー疾患	耳鼻咽喉疾患	皮膚疾患	周産期医学	小児疾患	麻酔・疼痛管理	法医学	衛生学・公衆衛生学Ⅱ	代謝・栄養疾患	感染症	婦人疾患	臨床腫瘍学・放射線治療学	口腔疾患	外傷・救急医学	総合診療	在宅医療学	東洋医学	行動科学Ⅱ		医師・患者関係学Ⅰ	実践的医療倫理Ⅰ	臨床手技実習
教育開発センター/消化器・総合外科学	循環器内科学	泌尿器科学	呼吸器内科学	消化器・総合外科学	消化器内科学	放射線医学	呼吸器内科学	整形外科学	眼科学	精神医学	胸部・心臓血管外科学	消化器内科学	脳神経内科学	脳神経外科学	腎臓内科学	耳鼻咽喉科外科学	皮膚科学	産婦人科学	小児科学	麻酔科学	法医学	公衆衛生学	消化器内科学	感染症センター	産婦人科学	放射線腫瘍医学	口腔外科学	救急医学	総合医療学	総合医療学	泌尿器科学/教育開発センター	教育開発センター/精神医学	医師・患者関係学	哲学	教育開発センター

I. 倫理観とプロフェッショナリズム

学生は、卒業時に患者、患者家族、医療チームメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するためのプロフェッショナリズム(態度、考え方、倫理観など)を有して行動することができる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたって向上を図ることの必要性と方法を理解している。

＜医師としての考え、態度＞																																					
1 人間の尊厳を尊重する。	D	B	A	B	C	A	A	B	A	A	B	A	A	A	B	A	A	C	B	C	C	B	A	C	C	C	A	B	C	C	E	B	B	D	C	B	
2 法的責任・規範を遵守する。	D	C	C	B	C	A	A	B	A	A	D	B	A	A	C	B	A	D	B	C	B	B	A	C	D	C	A	B	E	D	E	B	B	D	C	B	
3 患者に対して利他的、共感的、誠実、正直に対応し、患者中心の立場に立つ。	D	B	B	B	C	A	B	C	A	A	D	B	A	A	C	A	B	C	B	C	F	E	A	C	D	C	A	B	C	C	E	B	B	D	C	B	
4 患者、患者家族の心理・社会的要因と異文化、社会背景に関心を払い、その立場を尊重する。	D	B	D	B	C	A	C	B	B	A	C	B	A	A	A	B	B	C	C	B	C	D	B	A	C	C	C	A	B	C	C	E	B	B	D	C	B
5 倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて評価できる。	D	B	C	B	C	A	B	B	A	D	C	B	A	A	B	C	A	B	D	B	C	F	B	A	C	D	C	A	B	C	C	E	B	B	C	C	B
6 自己の知識、技能、態度に責任を持って患者を診療できる。	D	B	E	C	C	A	B	C	B	D	D	B	A	A	B	C	A	C	C	B	C	F	D	A	C	C	C	B	B	C	C	E	C	B	E	C	C
7 医学、医療の発展に貢献することの必要性を理解する。	D	A	C	B	C	A	B	B	B	A	C	B	A	A	B	C	B	B	D	B	C	D	E	A	C	D	C	A	B	C	C	E	C	B	E	E	C

＜チーム医療＞																																					
8 医療・研究チームで協同して活動し、チームリーダーとしての役割を果たすことができる。	D	B	B	B	C	A	C	B	B	F	C	C	A	B	A	D	B	C	D	B	C	F	F	A	F	C	D	A	B	D	B	E	C	B	D	E	C
9 医療チームの一員として効果的、相補的な業務を行い、医療安全に務めることができる。	D	B	D	B	C	A	B	B	A	F	D	C	A	B	A	D	A	C	C	B	C	F	E	A	C	C	D	A	B	D	B	E	C	B	D	E	C

＜自己啓発＞																																					
10 自己の目標を設定できる。	D	A	B	B	D	A	A	B	B	B	C	B	A	B	B	D	A	B	C	B	C	C	B	A	C	C	C	B	B	C	C	E	C	B	D	D	B
11 自己を適切に評価して知識と技能の能力の限界を知り、それを乗り越える対処方法を見つけることができる。	D	B	E	B	C	B	B	C	A	A	D	B	B	B	C	A	B	C	B	C	C	C	B	C	C	C	A	B	C	C	E	C	B	D	D	C	
12 生涯学習により常に自己の向上を図る必要性と方法を理解する。	D	B	D	B	D	B	C	B	A	F	C	B	B	B	B	A	C	C	B	C	C	B	B	C	C	D	A	B	C	C	E	C	B	E	C	B	
13 医療ニーズに常に対応できるように自己を管理できる。	D	B	E	B	D	B	C	C	A	A	C	B	B	B	B	C	B	C	D	C	C	F	E	B	C	D	C	A	B	D	D	E	C	B	D	C	C
14 自らのキャリアをデザインし、達成へ向けて学習を継続できる。	D	B	C	B	D	B	B	B	A	F	D	B	B	B	B	C	B	C	D	B	C	F	C	B	C	D	D	A	B	D	D	E	C	B	D	C	C

II. 医学とそれに関連する領域の知識

学生は、卒業時に基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、それらを医療の実践の場で応用できる。医療の基盤となっている生命科学、人口、環境など関連領域の知識と原理を理解している。以下の知識を有し、応用できる。

1 人体の正常な構造と機能	C	A	C	B	C	A	A	B	A	C	C	B	A	B	B	A	A	B	B	B	C	D	E	A	C	B	C	A	B	E	D	E	C	C	E	C	B	
2 人体の発達、成長、加齢、死	C	A	C	B	D	A	A	B	B	C	C	B	A	B	B	B	A	B	B	B	C	C	E	A	C	B	C	A	B	E	D	E	C	C	E	C	B	
3 人の心理、行動	C	B	E	B	D	B	C	C	B	C	C	B	B	B	B	B	A	C	C	C	C	F	C	B	C	C	C	B	B	C	C	E	B	B	C	C	B	
4 病因、人体の構造と機能の異常、疾病の自然経過と予防	C	B	B	B	C	B	B	B	B	C	C	B	B	B	A	A	B	B	C	C	C	E	B	C	B	C	A	B	C	C	E	C	C	E	C	B		
5 薬理効果・治療	C	A	C	B	C	B	A	B	C	E	C	B	B	B	B	B	A	B	D	B	C	F	F	B	C	C	B	A	B	C	C	C	C	C	C	E	E	B
6 疫学、人口統計、環境	E	A	B	B	D	B	B	C	C	F	C	B	B	B	C	B	B	C	C	B	C	F	A	B	F	C	C	B	B	E	D	E	C	C	E	F	B	
7 医療安全	C	B	C	B	E	B	A	B	A	C	C	B	B	B	B	A	C	C	C	C	D	E	B	C	C	C	A	B	C	C	C	C	C	C	C	E	C	B
8 医学医療に影響を及ぼす文化的・社会的・経済的要因	C	B	B	B	E	B	C	C	C	F	C	B	B	B	B	B	C	E	D	C	F	A	B	C	D	C	A	B	C	C	E	C	B	E	C	B		

アウトカムに対する到達度目標レベル	Advanced	Applied	Basic			
I. 倫理観とプロフェッショナリズム						
奈良県立医科大学医学部の学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
患者、患者家族、医療チームメンバーを尊重し、責任をもって医療を実践するためのプロフェッショナリズム(態度、考え方、倫理観など)を有して行動することができる。そのために、医師としての自己を評価し、生涯にわたって向上を図ることの必要性と方法を理解している。	診療の場で医師としての態度・価値感を示せる	医師としての知識、態度・価値感を模範的に示せる	基盤となる知識、態度・価値感を修得している	基盤となる知識を修得している	態度・価値感を修得の機会がある	修得の機会がない
II. 医学とそれに関連する領域の知識						
奈良県立医科大学の学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、それらを医療の実践の場で応用できる。医療の基盤となっている生命科学、人口、環境など関連領域の知識と原理を理解している。	実践の場で問題解決に応用できる	応用できる知識を修得している	基盤となる知識を修得している		修得する機会がある	修得の機会がない
III. 医療の実践						
奈良県立医科大学の学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
患者に対し思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な医療と健康増進を実施できる。医学とそれに関連する領域の知識を統合して、急性あるいは慢性の頻度の高い健康問題の診断と治療を計画できる。	診療の一部として実践できる	模擬診療を実施できる	基盤となる知識、技能、態度を修得している	基盤となる知識を修得している	経験する機会がある	修得の機会がない
IV. コミュニケーション技能						
奈良県立医科大学の学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して医療を実践し、思いやりがある効果的なコミュニケーションができる。医学・医療における文書を適切に作成し、取り扱うことができる。責任ある情報交換と記録を行うことができる。	診療の一部として実践できる	模擬診療を実施できる	基盤となる技能、態度を修得している	基盤となる技能を修得している	経験する機会がある	修得の機会がない

アウトカムに対する到達度目標レベル	Advanced	Applied	Basic			
IV. コミュニケーション技能						
奈良県立医科大学の学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して医療を実践し、思いやりがある効果的なコミュニケーションができる。医学・医療における文書を適切に作成し、取り扱うことができる。責任ある情報交換と記録を行うことができる。	診療の一部として実践できる	模擬診療を実施できる	基盤となる技能、態度を修得している	基盤となる技能を修得している	経験する機会がある	修得の機会がない
V. 医学、医療、保健、社会への貢献						
奈良県立医科大学の学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
保険制度、医療機関、行政等の規則等に基づいた保健活動と医療の実践、研究、開発を通して社会に貢献できることを理解できている。	実践できる	理解し、計画立案ができる	基盤となる知識を修得している		経験する機会がある	修得の機会がない
VI. 国際的視野と科学的探究						
奈良県立医科大学の学生は、卒業時に	A	B	C	D	E	F
基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報の評価、批判的思考、新しい情報を生み出すための論理的思考に基づき研究計画の立案ができる。	実践できる	理解と計画立案ができる	教員により計画された研究を実施、見学している	基盤となる知識、技術を修得している	経験する機会がある	修得の機会がない

◆奈良県立医科大学医学部医学科卒業時のアウトカム

		統合臨床講義																												6年一貫		統合臨床講義全体			
臨床医学総論	循環器疾患	腎疾患・尿路系疾患	呼吸器疾患	消化器疾患	肝・胆・膵疾患	画像診断・IVR	血液疾患	運動器疾患	眼疾患	精神・行動疾患	移植・再生医学	内分泌疾患	神経疾患		膠原病・アレルギー疾患	耳鼻咽喉疾患	皮膚疾患	周産期医学	小児疾患	麻酔・疼痛管理	法医学	衛生学・公衆衛生学Ⅱ	代謝・栄養疾患	感染症	婦人疾患	臨床腫瘍学・放射線治療学	口腔疾患	外傷・救急医学	総合診療	在宅医療学	東洋医学		行動科学Ⅱ	医師・患者関係学Ⅰ	実践的医療倫理Ⅰ
教育開発センター・消化器・総合外科学	循環器内科学	泌尿器科学	呼吸器内科学	消化器・総合外科学	消化器内科学	放射線医学	呼吸器内科学	整形外科学	眼科学	精神医学	胸部・心臓血管外科学	消化器内科学	脳神経内科学	脳神経外科学	腎臓内科学	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	皮膚科学	産婦人科学	小児科学	麻酔科学	法医学	公衆衛生学	消化器内科学	感染症センター	産婦人科学	放射線腫瘍医学	口腔外科学	救急医学	総合医療学	総合医療学	泌尿器科学教育開発センター	教育開発センター・精神医学	医師・患者関係学	哲学	教育開発センター

Ⅲ. 医療の実践

学生は、卒業時に
患者に対し思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な医療と健康増進を実施できる。
医学とそれに関連する領域の知識を統合して、急性あるいは慢性の頻度の高い健康問題の診断と治療を計画できる。

1 心理、社会的背景を含む患者の主要な病歴を正確に聴取できる。	D	B	A	B	C	B	B	B	C	C	C	B	B	B	C	B	C	C	B	C	F	E	B	C	C	C	A	B	B	C	E	B	B	C	C	B		
2 成人及び小児の身体診察と基本的臨床手技を適切に実施することができる(精神、神経学的、生殖器、整形外科的診察も含む)。	D	B	B	B	C	B	C	B	B	C	D	C	B	B	B	C	A	C	C	B	C	F	E	B	C	C	D	A	B	B	C	E	C	C	E	C	B	
3 プロブレムリスト、鑑別診断のための疾患リスト、診療録を作成できる。	D	B	B	B	C	B	B	B	C	C	D	C	B	B	B	C	A	C	C	B	C	F	E	B	C	C	D	A	B	B	C	E	D	C	F	C	C	
4 頻度の高い疾患の判断と治療に必要な臨床検査(検体検査、画像診断、病理診断)を選択し、結果を解釈できる。	D	B	C	B	C	B	A	B	C	C	D	C	B	B	B	B	A	B	C	B	C	F	E	B	C	C	C	A	B	B	C	E	D	C	F	C	C	
5 頻度の高い疾患の診断と治療計画を患者の心理・社会的因子、文化的背景、疫学、EBMを考慮して立てられる。	C	B	B	B	C	B	B	B	C	F	D	C	B	B	B	C	B	C	D	B	C	F	C	B	C	C	C	B	B	B	C	F	C	C	F	E	C	
6 医療を実施する上で有効な患者-医師関係を構築できる。	D	B	D	C	C	B	C	B	B	C	C	C	B	B	A	D	B	C	C	B	C	F	B	B	C	C	D	A	B	C	C	E	D	B	C	C	B	
7 患者管理の基本を実施できる。	D	B	B	B	C	B	B	B	D	D	C	B	B	B	D	A	C	B	B	C	F	F	B	C	B	D	A	B	C	C	E	D	C	E	D	C	C	
8 患者の安全性を確保した医療を実践できる。	D	C	A	B	C	B	A	B	B	D	D	C	B	B	B	C	A	C	B	B	C	F	E	B	C	B	D	A	B	C	C	E	D	C	E	C	C	
9 リハビリテーション、地域医療、救急医療、集中医療に参加できる。	D	C	C	C	C	B	C	C	B	E	D	C	B	B	B	D	A	C	C	B	C	F	E	B	C	C	E	A	B	C	B	F	C	C	C	F	E	C
10 緩和医療、終末期医療、代替医療の概要を理解し、これらの医療に参加できる。	D	C	C	C	D	B	B	C	C	F	D	C	B	B	C	F	A	C	C	B	C	F	E	B	C	C	C	A	B	B	B	E	B	C	F	E	C	
11 患者教育の概要を理解し、実践できる。	D	C	E	B	C	B	C	B	C	E	D	C	B	B	B	D	B	C	C	B	C	F	E	B	C	C	D	A	B	C	C	E	C	B	E	E	C	
12 医療の不確実性を認識して対応できる。	D	B	C	B	C	B	B	B	B	E	D	C	B	B	A	C	A	C	C	B	C	F	E	B	C	C	D	A	B	C	C	E	D	C	E	E	C	
13 診療の優先順位を決定できる。	D	B	C	B	C	B	B	C	B	F	D	C	B	B	A	B	A	C	D	B	C	F	F	B	C	C	C	A	B	C	C	E	D	C	E	C	C	
14 電子化された医学・医療に関する情報を利用できる。	D	B	B	C	C	B	A	B	B	D	D	C	B	B	B	B	A	B	B	B	C	F	B	B	C	B	E	A	B	F	D	F	D	C	F	E	C	

Ⅳ. コミュニケーション技能

学生は、卒業時に
他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して医療を実践し、思いやりがある効果的なコミュニケーションができる。医学・医療における文書を適切に作成し、取り扱うことができる。責任ある情報交換と記録を行うことができる。

1 有効なコミュニケーションの一般原則を実践できる。	D	A	A	C	C	B	B	B	B	D	C	C	B	B	A	C	A	C	C	A	C	F	C	B	C	C	C	D	A	B	F	C	E	B	B	D	C	B
2 患者、患者家族、医療チームのメンバーと、個人、文化、社会的背景を踏まえ傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実施できる。	D	B	B	C	C	B	C	B	B	D	D	C	B	B	A	C	A	C	D	A	D	F	C	B	C	D	D	B	B	F	C	E	B	B	D	C	B	
3 コミュニケーションを通じて患者、患者家族、医療チームのメンバーとの信頼関係を築き、情報収集、説明と同意、教育など医療の基本を実践できる。	D	B	B	C	C	B	C	B	B	D	C	C	B	B	A	C	A	C	A	C	B	D	F	C	B	C	C	D	A	B	F	C	E	B	B	D	C	B
4 診療情報、科学論文などの文書を規定に従って適切に作成、取り扱い、情報提供できる。	D	B	E	B	C	B	A	B	B	D	E	C	B	B	A	C	A	C	B	B	C	F	E	B	C	B	C	A	B	F	C	E	B	C	F	C	B	

Ⅴ. 医学、医療、保健、社会への貢献

学生は、卒業時に
保険制度、医療機関、行政等の規則等に基づいた保健活動と医療の実践、研究、開発を通して社会に貢献できることを理解できている。

1 各種保険制度など医療制度が理解できている。	E	C	C	B	E	B	C	C	C	C	C	C	B	B	C	C	B	C	C	C	D	F	A	B	C	C	E	A	B	C	B	E	D	C	F	E	B
2 患者の診療、健康の保持、増進のために各種医療専門職の有用性が理解できている。	E	B	C	B	D	B	B	B	C	C	C	B	B	C	C	A	C	C	C	C	F	A	B	C	C	C	A	B	C	B	E	D	B	F	E	B	
3 地域の保健、福祉、介護施設の活用が患者個人と医療資源の適正な利用に必要であることが理解できている。	E	C	C	B	D	B	C	B	B	C	C	C	B	B	C	C	B	C	C	D	F	A	B	C	C	E	A	B	C	B	E	D	C	F	E	B	
4 患者と家族の健康の維持、増進のために施設を適切に選択できる。	E	C	F	B	E	B	C	C	C	F	C	C	B	C	C	A	C	E	C	D	F	C	B	F	D	E	A	B	C	C	F	D	C	F	E	B	
5 地域の保健・福祉に関する問題を評価でき、疾病予防プランを立案できる。	E	C	F	B	F	B	C	C	C	F	C	C	B	C	C	A	C	E	D	D	F	B	B	C	D	E	A	B	C	C	F	D	C	F	E	B	
6 医師として地域医療に関わることの必要性が理解できている。	E	B	C	B	E	B	B	B	B	C	C	C	B	B	A	C	A	C	C	B	D	F	B	B	C	C	E	A	B	C	B	E	C	C	F	E	B
7 医学・医療の研究と開発が社会に貢献することが理解できている。	E	B	C	B	D	B	B	B	A	C	C	C	B	B	A	C	A	C	C	B	D	F	C	B	C	C	C	A	B	C	C	E	C	C	F	E	B
8 国際保健活動の仕組みと意義を理解し、説明できる。	E	B	E	B	E	B	C	C	C	F	C	C	B	B	B	C	B	C	C	C	D	F	A	B	F	C	E	A	B	C	F	E	C	C	F	E	B

Ⅵ. 国際的視野と科学的探究

学生は、卒業時に
基礎、臨床、社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報の評価、批判的思考、新しい情報を生み出すための論理的思考に基づき研究計画の立案ができる。

1 国際的視野で医療と医学研究を考えることができる。	D	B	C	B	E	B	B	C	B	D	D	C	B	B	B	C	A	C	D	D	D	E	B	B	F	D	D	A	B	C	C	E	C	C	F	E	C
2 未解決の臨床的あるいは科学的問題を認識し、仮説を立て、それを解決するための方法と資源を見いだすことができる。	D	B	C	B	E	B	B	B	B	F	D	C	B	C	B	C	A	C	D	C	D	E	C	B	F	D	E	A	B	C	C	E	C	C	F	D	C
3 臨床や科学の興味のある領域での研究をすすめることができる。	D	C	C	B	E	B	C	C	B	E	D	C	B	B	C	B	C	E	C	D	C	E	B	D	E	D	A	B	F	F	E	C	C	F	E	C	
4 医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論が理解できている。	D	B	C	B	D	B	C	B	B	D	D	C	B	C	B	C	B	B	E	C	D	E	C	B	F	D	E	A	B	E	E	E	C	C	F	E	B
5 人を対象とした医学研究の倫理、研究不正などに対する研究倫理が理解できている。	D	B	C	B	D	B	B	C	B	D	D	C	B	B	A	C	B	B	D	C	D	F	E	B	F	D	D	A	B	F	F	E	C	C	F	E	B
6 科学的研究で明らかになった新しい知見を明確に説明できる。	D	B	C	B	D	B	C	B	B	D	D	C	B	B	C	C	A	C	D	C	D	F	E	B	F	D	D	A	B	C	C	E	C	C	F	E	C

奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領

(目的)

第1条 この要領は、奈良県立医科大学学則（平成19年4月1日。以下「学則」という。）第8条の規定により、奈良県立医科大学医学部医学科の授業科目（以下「科目」という。）の名称、履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(教育課程の区分)

第2条 教育課程を次のとおりとする。

- (1) 教養教育 第1年次第1学期から第3学期まで
- (2) 基礎医学教育
 - (ア) 基礎医学Ⅰ 第2年次第1学期から第3学期まで
 - (イ) 基礎医学Ⅱ 第3年次第1学期から第2学期まで
- (3) 臨床医学教育
 - (ア) 統合臨床講義 第3年次第3学期から第4年次第2学期まで
 - (イ) 臨床実習Ⅰ 第4年次第3学期から第5年次第2学期まで
 - (ウ) 臨床実習Ⅱ 第5年次第3学期から第6年次第3学期まで

(科目等)

第3条 開設する科目、単位数、時間数及び履修年次は、教養教育授業科目表（別表1）、専門教育授業科目表（別表2-1、2-2、3）、診療参加型臨床実習授業科目表（別表4）及び6年一貫教育授業科目表（別表5）のとおりとする。なお、6年一貫教育授業科目に「良き医療人育成プログラム」、「地域基盤型医療教育プログラム」、「臨床マインド育成プログラム」、「研究マインド育成プログラム」、「臨床英語強化プログラム」及び「地域基盤型医療教育コース」、「研究医養成コース」を設置する。

(履修条件・進級・卒業)

第4条 科目の履修、進級及び卒業の条件は次のとおりとする。なお、進級が認められなかった者については、当該教育課程の授業科目（実習も含む。）のすべてを未修得とみなす。ただし、教養教育で進級が認められなかった者及び卒業が認められなかった者については、この限りでない。

また、「地域基盤型医療教育コース」及び「研究医養成コース」を履修した者については、別に定めるとおりとする。

(1) 教養教育

次に掲げる教養教育科目及び6年一貫教育科目を修得しなければ、基礎医学Ⅰに進級することができない。

(ア) 教養教育科目

授業科目は、教養教育授業科目表（別表1）のとおりである。教養教育において、必修科目38単位及び選択科目9単位以上を第1学年末までに修得しなければならない。なお、選択科目については、履修登録を指定期間内に行わなければならない。（必修科目の履修登録は不要とする。）

(イ) 6年一貫教育科目

授業科目は、6年一貫教育授業科目表（別表5）における教養教育の科目とし、必修科目とする。

(2) 基礎医学教育

(ア) 基礎医学Ⅰ

次に掲げる専門教育科目及び6年一貫教育科目を修得しなければ基礎医学Ⅱに進級することができない。

ただし、第2学年に編入学した学生の授業科目・履修条件及び進級については、別に定める。

①専門教育科目

授業科目は、専門教育授業科目表（別表2-1）のとおりである。

②6年一貫教育

授業科目は、6年一貫教育授業科目表（別表5）における基礎医学Ⅰの科目とし、必修科目とする。

(イ) 基礎医学Ⅱ

次に掲げる専門教育科目及び6年一貫教育科目を修得し、基礎医学知識到達度評価試験（BNAT：Basic science kNowledge Achievement Test）を受験しなければ統合臨床講義に進級することができない。

なお、平成27年度以前に第2学年における教養教育の必修科目、選択・必修科目及び選択科目が未修得の学生は、第3学年末までに第2学年までの未修得の必修科目及び選択・必修科目の単位をすべて修得しなければ統合臨床講義に進級することができない。

①専門教育科目

授業科目は、専門教育授業科目表（別表2-2）のとおりである。

②6年一貫教育科目

授業科目は、6年一貫教育授業科目表（別表5）における基礎医学Ⅱの科目とし、必修科目とする。

(3) 臨床医学教育

(ア) 統合臨床講義※1

次に掲げる専門教育科目及び6年一貫教育科目を修得し、共用試験に合格しなければ臨床実習Ⅰに進級することができない。

※1 統合臨床講義とは、これまでに学んだ基礎医学と臨床医学を臓器別・疾患別単位で関連づけ、統合し実施する授業形態のことをいう。

①専門教育科目

授業科目は、専門教育授業科目表（別表3）の統合臨床講義科目である。

②6年一貫教育科目

授業科目は、6年一貫教育授業科目表（別表5）における統合臨床講義の科目とし、必修科目とする。

③共用試験

CBT及び臨床実習前OSCE（以下「Pre-CC OSCE」という。）をもって共用試験とする。

(イ) 臨床実習Ⅰ

臨床実習（2週間）を履修し、6年一貫教育科目及び臨床TBLを修得かつ5年次臨床医学知識到達度評価試験（CNAT：Clinical science kNowledge Achievement Test）を受験しなければ卒業することができない。

①臨床実習（2週間）

授業科目は、診療参加型臨床実習授業科目表（別表4）のとおりとする。なお、臨床実習を長期間に渡って履修できない場合は、臨床教育部長の判断により共用試験（CBT及びPre-CC OSCE）を課すこととする。

②6年一貫教育科目

授業科目は、6年一貫教育授業科目表（別表5）における臨床実習Ⅰの科目とし、必修科目とする。

③臨床TBL

チーム基盤型学習形式により臨床医学についての知識を習得する科目とし、必修科目とする。

(ウ) 臨床実習Ⅱ

臨床実習（4週間・8週間）を履修し、6年一貫教育科目を修得し、かつ、診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（以下「Post-CC OSCE」という。）及び卒業試験（統合問題形式の筆記試験）に合格しなければ卒業することができない。なお、卒業できなかった学生は、6年次の第1学期から再履修し、Post-CC OSCE 及び卒業試験に合格しなければ、卒業することができない。

①臨床実習（4週間・8週間）

臨床実習（4週間・8週間）に関する必要事項は別に定める。なお、臨床実習について到達目標を設け、それに対する評価を行う。

②6年一貫教育科目

授業科目は、6年一貫教育授業科目表（別表5）における臨床実習Ⅱの科目とし、必修科目とする。

③Post-CC OSCE

クリニカル・クラークシップの総合的評価として実施し、必修科目とする。

④卒業試験

卒業試験に関する必要事項は別に定める。

(単位の計算方法)

第5条 科目の単位数は、1単位45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、学習方法に応じ、次の基準により、計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間をもって1単位とする。ただし、科目の内容によっては、30時間をもって1単位とすることができる。
- (2) 演習については、30時間をもって1単位とする。ただし、科目の内容によっては、15時間をもって1単位とすることができる。
- (3) 実習、実技及び実験については、45時間をもって1単位とする。ただし、科目の内容によっては、30時間をもって1単位とすることができる。

(単位又は授業科目修得の認定)

第6条 授業科目の単位又は修得の認定は試験等により、教室主任又は科目責任者が行う。

(試験)

第7条 定期試験は、期日を定めて行う。

- (1) 定期試験の期間は、あらかじめ公示する。
- (2) 定期試験以外に担当教員が必要と認めるときは、臨時試験を行うことがある。
- 2 試験は筆答及び口頭又はそのいずれかをもって行う。
- 3 各科目について、授業時間数の3分の2以上出席^{*2}し、かつ担当教員の承認を得なければ当該科目の定期試験を受けることができない。ただし、公欠を認められた期間は、上記の授業時間数には含めないものとする。補講等が実施された場合は当該期間数に含めるものとする。「奈良県立医科大学医学部公欠規程」参照。
- 4 疾病その他やむを得ない事由のため、所定の期日に定期試験を受けることができない者は、担当教員の承認を得るとともに、別に定める試験欠席届を学長に提出しなければならない。
欠席届を提出した者については、担当教員が別に期日と方法を定めて追試験を行う。
- 5 授業科目の単位又は修得の認定についての評価方法は、別に教育要項で定める。
- 6 成績は、100点法によって表示し、60点以上をもって合格とする。60点未満の者については、原則として再試験を1回行い、合否を判定する。

ただし、共用試験CBTは、能力値（ θ ）400以上をもって合格とする。共用試験CBTに関する必要事項は別で定め、不合格者は再試験を受験することができる。

- 7 試験において不正行為を行った者については、当該科目及び関連科目の試験を無効とし、進級又は卒業を停止する。不正行為が悪質であると判断された場合は、学則第41条による懲戒処分を行う。

（成績認定、進級判定及び卒業認定）

第8条 進級時の成績認定及び進級判定は、教養教育協議会、基礎医学教育協議会、臨床医学教育協議会又は教務委員会より提出された成績資料に基づき、進級判定会議で審議を行う。

- 2 進級判定会議は、医学科長、教養教育部長、基礎教育部長、臨床教育部長及び教育開発センター教授をもって組織する。
- 3 成績認定及び進級判定の結果は、医学科長が医学部長に報告のうえ学長に報告し、学長が決定するものとし、その結果は、教授会議において報告するものとする。

第9条 卒業時の成績認定、授業科目の修了の認定及び卒業の認定は、教授会議で審議を行い、その結果を受けて卒業判定会議で審議を行う。

- 2 卒業判定会議は、医学科長、教養教育部長、基礎教育部長、臨床教育部長及び教育開発センター教授をもって組織する。
- 3 卒業時の成績認定、授業科目の修了の認定及び卒業の認定の結果は、医学科長が医学部長に報告のうえ学長に報告し、学長が認定するものとし、その結果は、教授会議において報告するものとする。

（雑則）

第10条 この要領に定めるもののほか、科目の履修に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要領は、令和2年7月1日から施行する。

※2 3分の2以上出席の考え方について

学則第41条に規定されているとおり、授業に出席することは学生の本分であり、出席不良者（正当の理由がなくて出席常でないもの）は退学、休学、又はけん責（文書注意）のいずれかの懲戒の対象となる。よって、授業時間数の3分の2を出席すれば、それ以上出席しなくてもよいというものではない。

履修要領第6条第3項に定めている「3分の2以上出席」の趣旨は、例えば、傷病によりやむを得ず欠席した場合等を考慮し、定期試験を受けることができる出席数の下限を定めているものである。

学則（抜粋）

第41条 学長は、学生がこの学則及びこの学則に基づく規程並びに学長の指示及び命令にそむき、学生の本分に反する行為があったとき、これに対し懲戒処分として、けん責、停学又は退学の処分をすることができる。ただし、退学処分は次のイ各号の一に該当するもののみに行うことができる。

- 一 性行不良で改善の見込がないと認められる者
- 二 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
- 三 正当の理由がなくて出席常でない者
- 四 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

別表3. 臨床医学専門教育授業科目表

統合臨床講義 科目名	コース担当講座 (教室)	授業時間数
臨床医学総論	教育開発センター	12
腎疾患・尿路系疾患	泌尿器科学	36
肝・胆・膵疾患	消化器内科学	21
消化器疾患	消化器・総合外科学	36
循環器疾患	循環器内科学	33
呼吸器疾患	呼吸器内科学	33
画像診断・I V R	放射線医学	9
神経疾患	脳神経内科学／脳神経外科学	42
運動器疾患	整形外科	20
精神・行動疾患	精神医学	30
血液疾患	呼吸器内科学	30
移植・再生医学	胸部・心臓血管外科学	21
内分泌疾患	消化器内科学	17
眼疾患	眼科学	18
皮膚疾患	皮膚科学	12
膠原病・アレルギー疾患	腎臓内科学	12
耳鼻咽喉疾患	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	18
行動科学Ⅱ	教育開発センター	9
東洋医学	泌尿器科学	9
臨床腫瘍学・放射線治療学	放射線腫瘍医学	33
感染症	感染症センター	21
代謝・栄養疾患	消化器内科学	14
衛生学・公衆衛生学Ⅱ	公衆衛生学	30
社会フィールド系実習		30
小児疾患	小児科学	15
周産期医学	産婦人科学	24
法医学	法医学	30
社会フィールド系実習		30
在宅医療学	総合医療学	4
外傷・救急医学	救急医学	24
総合診療	総合医療学	12
婦人疾患	産婦人科学	15
口腔疾患	口腔外科学	18
麻酔・疼痛管理	麻酔科学	21
病理学実習	病理診断学	27
計		766

別表5. 6年一貫教育授業科目表

6年一貫教育授業 科目名	授業時間数
医師・患者関係学Ⅰ	6
実践的医療倫理Ⅰ	9
臨床手技実習	39
計	54

別表4. 診療参加型臨床実習授業科目表

科目名	コース担当講座（教室）	備考
循環器内科学	循環器内科学	
腎臓内科学	腎臓内科学	リウマチを含む
呼吸器内科学	呼吸器内科学	血液、輸血、感染を含む
消化器内科学	消化器内科学	糖尿病・内分泌、内視鏡、中検を含む
脳神経内科学	脳神経内科学	リハビリテーションを含む
消化器・総合外科学	消化器・総合外科学	小児外科、乳腺外科を含む
脳神経外科学	脳神経外科学	
胸部・心臓血管外科学	胸部・心臓血管外科学	先天性心疾患センターを含む
整形外科	整形外科	
口腔外科学	口腔外科学	
産婦人科学	産婦人科学	周産期を含む
眼科学	眼科学	
小児科学	小児科学	
精神医学	精神医学	
皮膚科学	皮膚科学	形成外科を含む
泌尿器科学	泌尿器科学	透析を含む
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	
放射線医学	放射線医学	
放射線腫瘍医学	放射線腫瘍医学	
麻酔科学	麻酔科学	ペインクリニックを含む
救急医学	救急医学	
総合医療学	総合医療学	
病理診断学	病理診断学	

別表5. 6年一貫教育授業科目表

《A 良き医療人育成プログラム》

NO.	授 業 科 目	区分	教養教育		基礎医学Ⅰ		基礎医学Ⅱ		統合臨床講義		臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		授業 時間数	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
1	奈良学	必修		◎											30	
2	次世代医療人育成論	必修	◎												30	
3	ロールモデルを探す	必修			◎										9	
4	VOP講座	必修			◎										9	
5	私のキャリアパスⅠ	必修					◎								12	
6	私のキャリアパスⅡ	必修											◎		7	
7	医療安全学Ⅰ（基礎編）	必修					◎								12	
8	医療安全学Ⅱ（臨床編）	必修								◎					18	
9	医師・患者関係学Ⅰ	必修							◎						6	
10	医師・患者関係学Ⅱ	必修								◎	◎				6	
11	医師・患者関係学Ⅲ	必修											◎		3	
12	実践的医療倫理Ⅰ	必修							◎						9	
13	実践的医療倫理Ⅱ	必修											◎		3	
14	多職種連携講座	必修									◎				3	
15	Never do harm!	必修									◎				12	

《B 地域基盤型医療教育プログラム》

NO.	授 業 科 目	区分	教養教育		基礎医学Ⅰ		基礎医学Ⅱ		統合臨床講義		臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		授業 時間数	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
1	地域医療実習1 (クリニック、保育所など)	必修					◎								24	
2	地域医療実習2 (クリニック、へき地診療所)	必修											◎		30	
3	早期医療体験実習 (附属病院・外来・病棟) (注1)	必修		◎											30	
4	キャリアパス・メンター 実習 (注1)	必修											◎	◎	82	
5	緊急医師確保枠学生 地域医療特別実習1 (へき地診療所、クリニックなど) (注2)	必修 (※注 2)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					30	
6	緊急医師確保枠学生 地域医療特別実習2 (へき地診療所、クリニックなど) (注2)	必修 (※注 2)									◎	◎	◎	◎	30	

(注1) 《C 臨床マインド育成プログラム》NO. 5、NO. 6と同一授業科目

(注2) 1～4年の緊急医師確保入学試験の学生が履修

5～6年の緊急医師確保入学試験の学生が履修

《C 臨床マインド育成プログラム》

NO.	授 業 科 目	区分	教養教育		基礎医学Ⅰ		基礎医学Ⅱ		統合臨床講義		臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		授業時間数	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
1	医学・医療入門講座	必修	◎	◎											60	
	医学・医療入門講義														48	
	臨床手技実習入門Ⅰ														12	
2	臨床手技実習入門Ⅱ	必修			◎										30	
3	臨床手技実習入門Ⅲ	必修					◎								30	
4	臨床手技実習	必修							◎						30	
5	早期医療体験実習 (附属病院・外来・病棟) (注3)	必修		◎											30	
6	キャリアパス・メンター 実習 (注3)	必修										◎	◎		88	

(注3) 《C 臨床マインド育成プログラム》NO. 3、NO. 4と同一授業科目

《D 研究マインド育成プログラム》

NO.	授 業 科 目	区分	教養教育		基礎医学Ⅰ		基礎医学Ⅱ		統合臨床講義		臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		授業時間数	備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
1	リサーチ・クラークシップ	必修				◎									279	
2	研究医特別メンター実習 (注4)	必修			◎	◎	◎	◎	◎	◎						
		自由									□	□	□	□		
3	コンソーシアム実習 (早大・奈良医大連携講座) (注5)	自由	□ 夏の休業中										30			

(注4) 研究医養成コースの学生が履修

(注5) 夏の休業期間に行う5日間の集中講義

《E 臨床英語強化プログラム》

NO.	授 業 科 目	区分	教養教育		基礎医学Ⅰ		基礎医学Ⅱ		統合臨床講義		臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		授業時間数			単位数
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	計	時間/週	年間週数	
1	Academic English I (注6)	必修	◎												60	4	15	2
2	Academic English II (注6)	必修		◎											60	4	15	2
3	Medical English	必修			◎										30	2	15	
4	医学・医療英語	必修						◎							15	6	3	
5	Advanced Clinical English I (注7)	自由	*	*	□	□										1		
6	Advanced Clinical English II (注8)	自由					□	□	*	*	*	*	*	*		1		

(注6) 教養教育授業科目(別表1)の必修科目とする。

(注7) 1年(*印)は聴講可とする。

(注8) 4・5・6年は聴講可とする。(*印)

奈良県立医科大学医学部公欠規程

平成28年2月4日制定

(目的)

第1条 この規程は、奈良県立医科大学学則第25条に規定する学生の欠席について、奈良県立医科大学がやむを得ないと認める理由（以下「理由」という。）による欠席（以下「公欠」という。）の取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(公欠の定義)

第2条 公欠とは、学生が次条に規定する理由により講義、実習等を欠席した場合、これを単位認定、科目修得及び履修要件における欠席扱いとしない取扱いをいう。

(公欠の理由)

第3条 公欠を認める理由は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 学生が学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症に罹患したことにより出席停止措置を受けた場合、又は健康管理センター長が学生の出席停止措置が必要であると認めた場合
- (2) 気象警報の発表、交通機関の運休等により学生の通学が困難であると認められた場合
- (3) 学生の親族が死亡した場合（忌引）
- (4) 学生が裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合
- (5) 学生がカリキュラム履修や教員の指導下で実施している自主的研究において、教員が必要と認める学会等に参加する場合
- (6) その他学長が必要と認めた場合

(公欠の基準)

第4条 前条第1号及び第3号における公欠の基準については、別表第1に定めるとおりとする。

(公欠の手続)

第5条 公欠の適用を受けようとする学生は、公欠届（別紙様式）に別表第2に定める書類を添えて、学長に提出するものとする。

- 2 学長は、前項の規定により公欠届の提出があったときは、その内容を第3条及び第4条の基準に基づき審査し、公欠として適正と認める場合はこれを許可する。
- 3 公欠の申出時期は、原則として別表第2のとおりとする。ただし、学長が別に定める場合はこの限りではない。
- 4 公欠の許可について、公欠届の内容及び理由によりやむを得ないと認められる場合には、学長は公欠希望日に遡ってこれを認めることができるものとする。

(公欠時の講義、実習等の取扱い)

第6条 教員は、公欠を許可された学生に対し、講義、実習等の履修において、補講、個別指導等の実施により当該学生が不利とならないよう配慮を行うものとする。

ただし、実習等については、公欠を許可されても、追実習、評価及び単位認定ができない場合がある。

(公欠時の定期試験等の取扱い)

第7条 公欠を許可された期間は、奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領第5条第3項及び奈良県立医科大学医学部看護学科授業科目履修要領第7条に規定する定期試験等の受験に係る授業時間数には含めないものとする。ただし、前条に規定する補講等が実施された場合は、当該時間数に含めるものとする。

2 公欠を許可された学生に対する定期試験等の取扱いにおいて、奈良県立医科大学医学部医学科授業科目履修要領第5条第4項及び奈良県立医科大学医学部看護学科授業科目履修要領第8条第2項に規定する疾病その他やむを得ない理由については、第3条各号を適用するものとする。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1（第4条関係）

感染症について（第3条第1号関係）

	対象疾病	出席停止期間
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）、MERS、鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであってその血清型がH5N1、H7N9であるものに限る）	治癒するまで
第二種	インフルエンザ（鳥インフルエンザH5N1を除く）	発症後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹	解熱後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風しん	発しんが消失するまで
	水痘	すべての発しんが痂皮化するまで
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで
	結核、髄膜炎菌性髄膜炎	症状により本学健康管理センター医師、その他医師が感染のおそれがないと認めるまで
第三種	感染性胃腸炎（ノロ・ロタ等）	症状のある間が主なウィルスの排出期間なので、下痢、嘔吐症状が消失してから48時間を経過するまで。手洗いを励行すること。
	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎	症状により本学健康管理センター医師、その他医師が感染のおそれがないと認めるまで

忌引について（第3条第3号関係）

親等	対象範囲	日数（土日・祝祭日を含む）
	配偶者	最長7日
1親等	父母、子	最長7日
2親等	祖父母、兄弟姉妹、孫	最長3日

別表第2（第5条関係）

手続方法について

以下の理由により欠席する場合は、公欠届及び以下の添付書類を提出すること。

欠席理由	添付書類	申出時期
感染症等（第3条第1号）	医師の診断書	診断書による療養期間終了後すみやかに
忌引（第3条第3号）	会葬の案内状、礼状等	事後1週間以内
裁判員制度（第3条第4号）	用務内容が記載された書類	招集日の1週間前まで
学会等参加（第3条第5号）	学会等の概要がわかる書類	学会等参加の1週間前まで
その他（第3条第6号）	理由が証明できる書類	事後1週間以内

※（第3条第2号関係）

気象警報の発令、交通機関の運休等社会的要因によるものについては、添付書類の提出は不要とする。

別紙様式(第5条関係)

公 欠 届

年 月 日

奈良県立医科大学長 殿

医学部 (医学科・看護学科)

第 学年 (学籍番号)

氏 名 _____ 印

下記の理由により講義、実習等を欠席したいので、公欠の取扱いをお願いします。

記

1. 理 由 (該当理由にレを入れること)

- 感染症等
- 気象警報、交通機関運休等
- 忌引
- 裁判員制度
- 学会等参加
- その他 ()

2. 公欠期間及び公欠扱いを希望する講義・実習等名

年 月 日 ~ 年 月 日

講義・実習等名 (詳しく記載すること)

※別表第2に定める書類を添付すること

試験に関する諸注意

1. 筆記試験の注意事項

- ①試験開始後、原則として入室限度時刻を超過した遅刻者は受験できない。
- ②試験開始後、原則として入室限度時刻までは退出できない。
- ③試験終了10分前以降は、退出できない。
- ④一度退出した者は、再び入室できない。
- ⑤受験中における私語及び物品の貸借は一切禁止する。
- ⑥机の上には筆記用具、時計（但し、計算、辞書、通信等の機能のある時計は禁止）、メガネ以外は置かないこと。
- ⑦携帯電話、スマートフォン、通信機能のある機器等を持っている者は、電源を切り、カバンの中に入れること。
- ⑧その他、試験監督者の禁止するものを持ち込んで서는ならない。

2. 不正行為について

(1) 試験における不正行為とは、次に掲げる行為をいう。

- ア. 参照を許されていない書籍、ノート、メモ、携帯電話等を試験中に参照すること。
- イ. 他人の答案をのぞき見ること。
- ウ. 答案を見せ合うこと。
- エ. 音声や動作等により解答に役立つ情報を伝え合うこと。
- オ. 机や下敷きなどに解答に役立つメモ等を残すこと。
- カ. 試験問題を試験前に不正に入手すること。
- キ. その他前記行為に類する行為。

(2) 参照を許されていない書籍、ノート、メモ、携帯電話等を試験中に机の下部棚などに置くことは、実際に参照したかどうかを問わず、不正行為と見なす。

(3) その他、不正行為に関する試験監督者の注意や指示に反する行為は、不正行為と見なす場合がある。

3. 不正行為を行った者に対する処分

試験において不正行為を行った者については、当該科目及び関連科目の試験を無効とし、進級又は卒業を停止する。不正行為が悪質であると判断された場合には、学則第41条による懲戒処分を行う。

暴風警報等発表時における授業の措置について

(平成26年1月8日 医学科・看護学科学務委員会等 決定)

台風等の接近に伴い奈良県北西部に「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表されたときの授業の取扱いは原則として次のとおりとする。

【共通事項】

- (1) 午前7時現在「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表されているときは、午前の授業は休講とする。
- (2) 午前11時までに「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が解除されたときは、午後の授業のみ行う。
- (3) 午前11時以降も「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が解除されないときは、当日の授業は休講とする。ただし、大学院は下記(7)によることとする。
- (4) 午前11時以降の授業時間中に「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表された場合は、当該授業終了後はすべて休講とし、速やかに帰宅させることとする。
 - ① 「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表された場合のクラブ活動等の課外活動は、禁止とする。
 - ② 「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が発表された場合の図書館及び自習室等の学内における学生の自習については、禁止とする。

【医学科】

- (5) 医学科の学内及び学外実習については、上記(1)～(4)を原則とし、当該実習施設の指導者の判断に基づき決定することとする。

【看護学科】

- (6) 看護学科の臨地実習については、原則上記(1)～(4)のとおりとする。ただし、学外で実習を行っている場合の措置については、当該実習担当教員が実習先の指導者と協議し、原則として実習を中止し帰宅させる。ただし、台風等の接近に伴い帰宅に危険が伴うことが想定される場合は、実習先で待機させる等の柔軟な対応を行うこととする。

【大学院】

- (7) 大学院については、午後4時までに「暴風警報」または「特別警報」(大雨、暴風、大雪、暴風雪)が解除された場合は、午後6時以降の授業を行う。午後4時以降も解除されない場合は、終日休講とする。
- (8) 実習については、上記(6)に準ずるものとする。

*なお、状況によって警報発表の有無にかかわらず別段の決定を行うことがある。

地震発生等災害時における授業の措置について

地震発生等災害時における授業の取扱は原則として次のとおりとする。

1. 講義

- ①教育支援課が被害状況、交通機関の運行状況等の情報収集を行い医学部長に報告
- ②医学部長が①を確認し、授業の実施、今後の方針等を判断（必要に応じて看護学科長（看護学科長と連絡が取れない場合は、看護教育部長）と協議）
なお、医学部長と連絡が取れない場合は、事務局長が判断
- ③教育支援課は医学部長の判断を教務システム及び大学ホームページに掲載し、周知

休講とする判断の目安

○近鉄大阪線及び橿原線が同時に運休した場合

※ 交通機関の運休等により登校できない場合は、公欠扱いとする。

2. 実習

当該実習の担当教員、領域長及び指導者と協議し、必要に応じて実習を中止し帰宅させる。ただし、帰宅に危険が伴うことが想定される場合は、実習先で待機させる等の柔軟な対応を行うこととする。

※「暴風警報等発表時における授業の措置について」に準じる。

【災害等発生時 教育支援課 緊急連絡先】

- ① 0744-22-3051（大学代表番号）
- ② 0744-22-9844（教務係直通）
- ③ 0744-29-8805（入試・学生支援係直通）
- ④ 0744-29-8917（入試・学生支援係直通）

※係に関係なく、上記いずれかの番号にご連絡ください。

健康管理

1) 学生相談

学生が、勉学上や生活上の相談をしたい場合は、学生生活相談担当教員へ申し出てください。

また、毎週1回、学生カウンセリングを実施しています（予約制）。申込みは教育支援課または、直接カウンセラーに連絡してください。教育支援課に申し込みする場合、希望のカウンセリング日を伝えてください。教育支援課担当がカウンセラーと日程調整を行います。なお、相談の内容の秘密は固く守られます。

2) 健康相談

学生が健康上の相談をしたい場合は、校医(内科)による健康相談を受けることができます。教育支援課又は健康管理センターに申込み、日程調整をしてください。

3) 健康管理

健康状態について、常に自己管理を心がけてください。登校中、又は学内において体調が思わしくない場合は、教育支援課に欠席を届け出たうえで早めに帰宅して静養するなり、医療機関を受診するなどしてください。帰宅が難しいほど不調の場合は、教育支援課に連絡し（5）の健康管理センターの指示に従ってください。

4) 定期健康診断

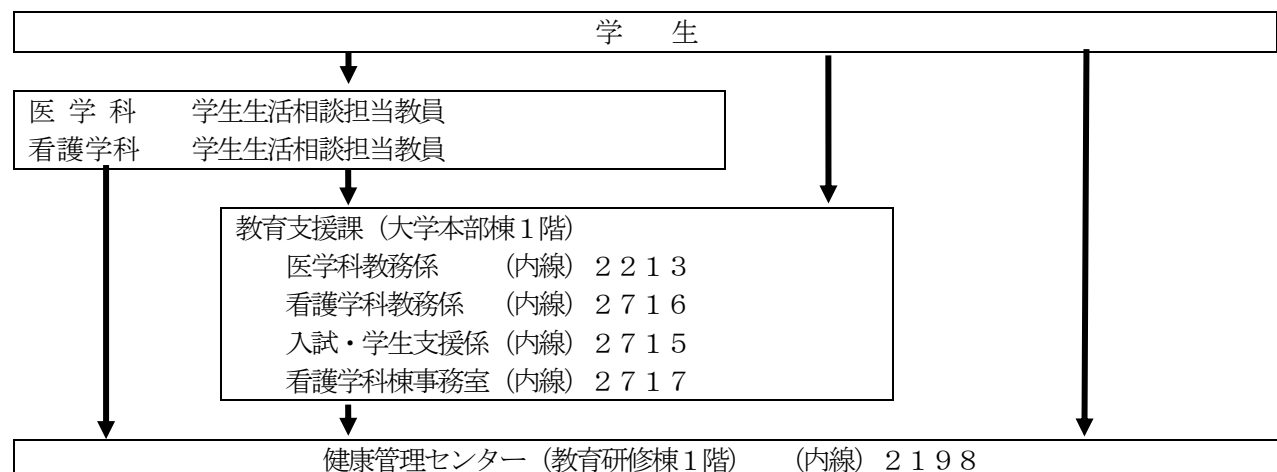
学校保健安全法により、定期健康診断の実施が義務付けられています。

各学年とも毎年1回、4月以降に実施する定期健康診断を受けなければなりません。定期健康診断を受診できなかった学生については、診断項目について自己責任で受診し（5）の健康管理センターに報告してください。

また、医学科1年生・編入2年生、看護学科1年生を対象に結核感染防止のためのIGRAs検査および麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘の4種感染症抗体価検査とB型肝炎抗原抗体検査を実施します。さらに、B型肝炎抗原抗体検査の結果、ワクチン接種対象とされた方にはB型肝炎ワクチン接種を実施します。

5) 健康管理センター

学内において緊急を要する怪我・発病等の場合は、下記により健康管理センターに連絡してください。応急対応やベッドでの休憩などが可能です。必要に応じて医療機関を紹介します。なお、健康保険証は常に携帯しておくことを勧めます。



6) 感染症対策

感染症の疾患にかかった場合、速やかに医療機関を受診し、教育支援課に連絡してください。診断が出るまでは登校を控え、診断が出た場合は医師の指示に従ってください。併せて、診断結果を教育支援課に連絡し、登校後に診断書を提出してください。

本学生が学内・学外において実習に出ようとするときは、受入施設によりワクチン接種を済ませていることを要件とする場合があります。実習に参加できない事態を避けるため、定期健康診断においてワクチン接種が必要とされた者は、必ずワクチン接種を済ませておいてください。

2020年度 統合臨床講義時間割

週	時期	月		火		水		木		金	
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
1	12月 2 - 6	オリエンテーション	臨床医学総論1	臨床医学総論2	臨床医学総論3	臨床医学総論4	腎・尿路系疾患1	肝胆膵疾患1	消化器疾患1	循環器疾患1	腎・尿路系疾患2
2	9 - 13	肝胆膵疾患2	肝胆膵疾患3	呼吸器疾患1	消化器疾患2	腎・尿路系疾患3	循環器疾患2	呼吸器疾患2	消化器疾患3	循環器疾患3	腎・尿路系疾患4
3	16 - 20	循環器疾患4	腎・尿路系疾患5	呼吸器疾患3	消化器疾患4	腎・尿路系疾患6	循環器疾患5	呼吸器疾患4	消化器疾患5	循環器疾患6	呼吸器疾患5
4	12月21日-1月5日	冬季休暇									
5	1月 6 - 10	循環器疾患7	腎・尿路系疾患7	消化器疾患6	呼吸器疾患6	循環器疾患8	腎・尿路系疾患8	呼吸器疾患7	消化器疾患7	肝胆膵疾患4	循環器疾患9
6	13 - 17	成人の日		消化器疾患8	呼吸器疾患8	循環器疾患10	腎・尿路系疾患9	肝胆膵疾患5	【自己学習時間】	大学入試センター試験準備	
7	20 - 24	消化器疾患9	肝胆膵疾患6	腎・尿路系疾患10	【自己学習時間】	肝胆膵疾患7	画像診断・IVR1	消化器疾患10	呼吸器疾患9	消化器疾患11	循環器疾患11
8	27 - 31	消化器疾患12	腎・尿路系疾患11	腎・尿路系疾患12	画像診断・IVR2	呼吸器疾患10	画像診断・IVR3	腎・尿路系疾患13	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】
9	2月 3 - 7	呼吸器疾患11	【自己学習時間】	第1ブロック試験期間							
10	10 - 14	神経疾患1	運動器疾患1	建国記念日		精神・行動疾患1	精神・行動疾患2	血液疾患1	神経疾患2	移植・再生医学1	内分泌疾患1
11	17 - 21	神経疾患3	運動器疾患2	眼疾患1	眼疾患2	精神・行動疾患3	精神・行動疾患4	血液疾患2	神経疾患4	移植・再生医学2	内分泌疾患2
12	24 - 28	振替休日		前期入学試験		前期入学試験		神経疾患5	血液疾患3	移植・再生医学3	内分泌疾患3
13	3月 2 - 6	血液疾患4	神経疾患6	眼疾患3	眼疾患4	精神・行動疾患5	精神・行動疾患6	移植・再生医学4	内分泌疾患4	移植・再生医学5	内分泌疾患5
14	9 - 13	血液疾患5	神経疾患7	眼疾患5	眼疾患6	精神・行動疾患7	精神・行動疾患8	後期入学試験		後期入学試験	
15	16 - 20	卒業式		運動器疾患3	運動器疾患4	精神・行動疾患9	精神・行動疾患10	移植・再生医学6	神経疾患8	春分の日	
16	23 - 27	移植・再生医学7	神経疾患9	運動器疾患5	運動器疾患6	皮膚疾患1	皮膚疾患2	神経疾患10	内分泌疾患6	膠原病・アレルギー1	血液疾患6
17	3月28日-4月5日	春季休暇									
18	4月 6 - 10	運動器疾患7	耳鼻咽喉疾患1	運動器疾患8	神経疾患11	行動科学Ⅱ1	血液疾患7	皮膚疾患3	神経疾患12	膠原病・アレルギー2	神経疾患13
19	13 - 17	血液疾患8	耳鼻咽喉疾患2	耳鼻咽喉疾患3	耳鼻咽喉疾患4	神経疾患14	【自己学習時間】	皮膚疾患4	【自己学習時間】	膠原病・アレルギー3	東洋医学1
20	20 - 24	行動科学Ⅱ2	行動科学Ⅱ3	耳鼻咽喉疾患5	耳鼻咽喉疾患6	血液疾患9	血液疾患10	東洋医学2	東洋医学3	膠原病・アレルギー4	【自己学習時間】
21	27 - 1	【自己学習時間】	【自己学習時間】	移植・再生医学8	【自己学習時間】	昭和の日		健康診断(予定)	【自己学習時間】	血液疾患11	【自己学習時間】
22	5月 4 - 8	みどりの日		こどもの日		振替休日		第2ブロック試験期間			
23	11 - 15	第2ブロック試験期間						医師・患者関係学Ⅰ1	臨床腫瘍学・放射線治療学1	感染症1	代謝・栄養疾患1
24	18 - 22	臨床腫瘍学・放射線治療学2	衛生学・公衆衛生学Ⅱ1	小児疾患1	【自己学習時間】	周産期医学1	周産期医学2	法医学1	臨床腫瘍学・放射線治療学3	感染症2	代謝・栄養疾患2
25	25 - 29	臨床腫瘍学・放射線治療学4	衛生学・公衆衛生学Ⅱ2	小児疾患2	法医学2	周産期医学3	周産期医学4	医師・患者関係学Ⅰ2	衛生学・公衆衛生学Ⅱ3	感染症3	代謝・栄養疾患3
26	6月 1 - 5	小児疾患3	在宅医療学1	代謝・栄養疾患4	法医学3	周産期医学5	周産期医学6	臨床腫瘍学・放射線治療学5	衛生学・公衆衛生学Ⅱ4	外傷・救急医学1	総合診療1
27	8 - 12	小児疾患4	在宅医療学2	周産期医学7	周産期医学8	外傷・救急医学2	婦人疾患1	【自己学習時間】	口腔疾患1	衛生学・公衆衛生学Ⅱ5	総合診療2
28	15 - 19	小児疾患5	麻酔・疼痛管理1	感染症4	臨床腫瘍学・放射線治療学6	代謝・栄養疾患5	婦人疾患2	医師・患者関係学Ⅰ3	口腔疾患2	衛生学・公衆衛生学Ⅱ6	外傷・救急医学3
29	22 - 26	外傷・救急医学4	麻酔・疼痛管理2	感染症5	臨床腫瘍学・放射線治療学7	衛生学・公衆衛生学Ⅱ7	婦人疾患3	麻酔・疼痛管理3	外傷・救急医学5	【自己学習時間】	臨床腫瘍学・放射線治療学8
30	29 - 3	法医学4	外傷・救急医学6	感染症6	衛生学・公衆衛生学Ⅱ8	口腔疾患3	婦人疾患4	法医学5	麻酔・疼痛管理4	法医学6	臨床腫瘍学・放射線治療学9
31	7月 6 - 10	法医学7	総合診療3	臨床腫瘍学・放射線治療学10	衛生学・公衆衛生学Ⅱ9	口腔疾患4	婦人疾患5	医師・患者関係学Ⅰ4	法医学8	麻酔・疼痛管理5	衛生学・公衆衛生学Ⅱ10
32	13 - 17	麻酔・疼痛管理6	臨床腫瘍学・放射線治療学11	麻酔・疼痛管理7	総合診療4	口腔疾患5	口腔疾患6	外傷・救急医学7	感染症7	法医学9	法医学10
33	20 - 24	【自己学習時間】	【自己学習時間】	代謝・栄養疾患6	外傷・救急医学8	【自己学習時間】	外傷・救急医学9	海の日		スポーツの日	
34	27 - 31	第3ブロック試験期間									
35	8月 3	第3ブロック試験期間									
36	8月4日-9月6日	夏季休暇									
37	9月 7 - 11	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	CBT		CBT		【自己学習時間】	【自己学習時間】
38	14 - 18	臨床手技実習1		臨床手技実習2		臨床手技実習3		臨床手技実習4		臨床手技実習5	
39	21 - 25	敬老の日		秋分の日		臨床手技実習6		臨床手技実習7		臨床手技実習8	
40	28 - 2	臨床手技実習9		臨床手技実習10		臨床手技実習11		臨床手技実習12		【自己学習時間】	【自己学習時間】
41	10月 5 - 9	実践的医療倫理Ⅰ1	【自己学習時間】	実践的医療倫理Ⅰ2	【自己学習時間】	実践的医療倫理Ⅰ3	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	大学祭	
42	12 - 16	社会フィールド系実習(衛生学・公衆衛生学Ⅱ)									
43	19 - 23	社会フィールド系実習(法医学)									
44	26 - 30	CBT再試		【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	【自己学習時間】	社会フィールド系実習 報告会	
45	11月 2 - 6	病理学実習1	病理学実習2	文化の日		病理学実習3	病理学実習4	病理学実習5	病理学実習6	病理学実習7	病理学実習8
46	9 - 13	病理学実習9	病理学実習10	病理学実習11	病理学実習12						
47	16 - 20										
48	23 - 27	勤労感謝の日		進級判定期間							
49	30										

講義室：臨床第1講義室 時間割：1時限目 9:00~10:00 2時限目 10:10~11:10 3時限目 11:20~12:20 4時限目 13:10~14:10 5時限目 14:20~15:20 6時限目 15:30~16:30

【自己学習時間】… 休講の補講や特別講義等に充てられる時間帯であり、休業日ではない

健康診断 胸部X線：4月30日(予定) その他の健診：未定

Student Doctor 認定証・白衣授与式：12月1日、BSLオリエンテーション(手術室オリエンテーション及び看護と日常生活援助)：12月2日~12月4日

OSCE 10/3(土)

第1ブロックの時間割（個別）

週	時期	月						火						水						木						金															
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6										
1	12/2-12/6	オリエンテーション						【自己学習時間】	医療情報学総論 (医療情報)	医療コミュニケーション (公衆衛生)	加齢と老化 (循内)	EBM (中検)	内科学総論 (教開セン、腫瘍セン)	病理検体の取り扱い方 (病診)	免疫組織化学、FISH検査 (病診)	遺伝子検査 (病診)	腎疾患総論 (腎内)	急性腎障害 (腎内)	間質性腎炎 (腎内)	肝胆臓疾患の病理1 (病診)	肝胆臓疾患の病理2 (病診)	肝胆臓疾患の病理3 (病診)	小児の腸炎・消化不良症 (小児)	消化管疾患の総論・診断 (消内)	大腸癌・腫瘍その他の診断と治療 (消内)	心エコー図 (循内)	心電図1 (循内)	心電図2 (循内)	蛋白尿と腎機能 (腎内)	腎と酸塩基平衡 (腎内)	尿細管機能障害 (腎内)										
2	12/9-12/13	慢性肺炎 (消内)	肝胆臓の画像診断① (放射)	肝胆臓の画像診断② (放射)	肝疾患の鑑別診断 (消内)	急性肝炎、劇症肝炎 (消内)	肝硬変合併症の病態と治療 (消内)	呼吸器疾患の総論と症候学 (呼内)	慢性閉塞性肺疾患 (1) (呼内)	慢性閉塞性肺疾患 (2) (呼内)	胃癌の外科治療 (消外)	大腸癌の外科治療 (消外)	大腸ポリープと遺伝性大腸腫瘍 (消外)	ネフローゼ症候群 (腎内)	続発性糸球体疾患の分類と組織像 (腎内)	急速進行性腎炎症候群 (腎内)	心不全 (循内)	重症心不全の外科的治療 (胸外)	狭心症 (循内)	呼吸器病治療薬 (薬理)	呼吸器病治療薬 (薬理)	呼吸器病治療薬 (薬理)	消化管の病理1 (分子病理)	胃炎とFROの診断、病態と治療 (消内)	大腸・肛門の先天異常 (消外)	高血圧 (循内)	二次性高血圧 (循内)	弁膜症の外科的治療 (胸外)	腎と高血圧 (腎内)	慢性腎臓病および慢性腎不全 (腎内)	原発性糸球体疾患の分類と組織像 (腎内)										
3	12/16-12/20	心筋梗塞 (循内)	心筋症 (循内)	弁膜症 (循内)	膀胱腫瘍 (泌尿器)	上部尿路腫瘍 (泌尿器)	陰茎・副腎・後腹膜腫瘍 (泌尿器)	肺結核と非結核性抗酸菌症 (呼内)	呼吸器の機能診断 (呼内)	呼吸器疾患の診察法 (呼内)	炎症性腸疾患 (消外)	イレウス・ヘルニアの診断と治療 (消外)	食道癌の外科治療 (消外)	腎・尿路上皮疾患の病理 (病診)	男性生殖器疾患の病理 (病診)	副腎腫瘍 (病診)	大動脈疾患の外科的治療 (胸外)	末梢血管疾患の外科的治療 (胸外)	先天性心疾患 (1) (先天性心疾患セン)	先天性心疾患 (2) (先天性心疾患セン)	先天性心疾患 (3) (先天性心疾患セン)	尿管腫瘍 (泌尿器)	小児の消化管疾患 (小児)	食道癌に対する内科的治療 (胃・食道逆流性疾患を含む)・MWE 解説 (消内)	胃・食道・十二指腸の先天異常 (消外)	虚血性心疾患の非薬物治療 (循内)	心不全治療薬 (薬理)	動脈硬化と心筋梗塞の病理 (病診)	気管支喘息 (2) (呼内)	間質性肺疾患 (1) (呼内)	間質性肺疾患 (2) (呼内)										
4	12/21-1/5	冬季休暇																																							
5	1/6-1/10	降圧薬 (薬理)	脂質異常症治療薬 (薬理)	大動脈疾患・血管炎の病理 (病診)	腎尿路画像診断 (放射)	下部尿路症状と女性泌尿器科 (泌尿器)	【自己学習時間】	胃癌の病態と治療 (消内)	周術期の全身管理 (消外)	肛門疾患の診断と治療 (消外)	肺血栓塞栓症と肺高血圧 (呼内)	良性肺疾患の外科治療 (胸外)	肺癌の外科治療 (胸外)	虚血性心疾患の外科的治療 (胸外)	先天性心疾患 (2) (先天性心疾患セン)	先天性心疾患 (3) (先天性心疾患セン)	排尿障害治療薬 (薬理)	【特別講演】腎生理・利尿薬 (薬理)	呼吸器領域の画像診断 (放射)	呼吸器領域の画像診断 (放射)	小児の気管支喘息 (小児)	乳腺疾患 (診断) (消外)	胃・十二指腸潰瘍の病態と治療 (消内)	様々な腸疾患 (消外)	肺炎の診断 急性性肺炎 (消内)	胆道疾患の診断 内視鏡的治療 (消内)	胆石症、胆嚢炎、胆管炎 (消内)	心筋炎・心筋症・弁膜症・心臓腫瘍の病理 (病診)	狭心症の治療薬 (薬理)	抗凝固療法 (薬理)											
6	1/13-1/17	成人の日						胃ポリープ、胃粘膜下腫瘍 (消内)	食道良性疾患 (消外)	胃癌の画像診断 (放射)	呼吸器疾患 (病理) (1) (病診)	呼吸器疾患 (病理) (2) (病診)	呼吸器疾患 (病理) (3) (病診)	不整脈 (1) (循内)	不整脈 (2) (循内)	循環器疾患の画像診断 (循内)	精巣腫瘍 (泌尿器)	前立腺肥大・前立腺炎 (泌尿器)	血液浄化・腎移植 (泌尿器)	胆嚢・胆管癌 (消外)	脾腫瘍 (消外)	肝臓疾患の外科治療 (消外)	【自己学習時間】						大学入試センター試験準備												
7	1/20-1/24	消化管疾患に対する低侵襲手術 (消外)	消化管の病理2 (分子病理)	食道癌の画像診断 (放射)	慢性肝炎 (消内)	肝炎の治療 (消内)	原発性肝細胞癌 (消内)	【自己学習時間】	腎炎① (病診)	腎炎② (病診)	【自己学習時間】						肝硬変の診断と病態 (消内)	肝胆臓のIVR (放射)	アルコール性・薬物性肝障害 (消内)	画像診断・IVR (放射)	血管系IVR (放射)	胸部画像診断 (総合画像診断セン)	食道・胃静脈瘤の診断と治療 (消内)	腸炎の過激性症候群・小腸腫瘍の診断、病態と治療 (消内)	大腸癌の化学療法 (消外)	呼吸器領域の画像診断 (放射)	呼吸器感染症の診断と治療 (呼内)	肉芽腫性・アレルギー性肺疾患 (呼内)	消化器病治療薬2 (薬理)	小腸の先天異常 (消外)	乳腺疾患 (癌の治療・予後) (消外)	抗不整脈薬 (薬理)	全身病と心臓 (循内)	血管疾患の画像診断とIVR (放射)							
8	1/27-1/31	消化器病治療薬2 (薬理)	胃癌/食道癌の化学療法 (消外)	消化管の病理3 (分子病理)	小児における腎疾患 (小児)	溶血性尿毒症症候群 (小児)	【自己学習時間】	男性科学・性機能障害 (泌尿器)	腎腫瘍 (泌尿器)	尿路結石症 (泌尿器)	腹部画像診断 (総合画像診断セン)	CT・MRI・超音波・核医学総論 (中放)	脳神経画像診断 (放射)	高齢者の肺疾患 (呼内)	職業性肺疾患 (呼内)	全身性疾患と肺病変 (呼内)	泌尿・生殖器画像診断 (中放)	消化管造影 (放射)	Oncology IVR (放射)	前立腺癌 (泌尿器)	腎尿路発生と先天性異常 (泌尿器)	小児泌尿器科 (泌尿器)	【自己学習時間】						【自己学習時間】												
9	2/3-2/7	胸膜疾患 (呼内)	肺癌の診断と治療 (1) (呼内)	肺癌の診断と治療 (2) (呼内)	【自己学習時間】						臨床医学総論試験	画像診断・IVR試験							肝・胆・膵疾患試験	腎疾患・尿路系疾患試験							前立腺癌 (泌尿器)	腎尿路発生と先天性異常 (泌尿器)	小児泌尿器科 (泌尿器)	【自己学習時間】						【自己学習時間】					

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <div style="background-color: #f96; width: 15px; height: 10px; margin-bottom: 2px;"></div> 臨床医学総論</div> <div style="background-color: #f96; width: 15px; height: 10px; margin-bottom: 2px;"></div> 循環器疾患</div> <div style="width: 45%;"> <div style="background-color: #90ee90; width: 15px; height: 10px; margin-bottom: 2px;"></div> 呼吸器疾患</div> <div style="background-color: #90ee90; width: 15px; height: 10px; margin-bottom: 2px;"></div> 消化器疾患

【自己学習時間】 休講の補講や特別講義等に充てられる時間帯であり、休業日ではない

時間割

1時限目	9:00~10:00
2時限目	10:10~11:10
3時限目	11:20~12:20
4時限目	13:10~14:10
5時限目	14:20~15:20
6時限目	15:30~16:30

※講義室：臨床第1講義室

第2ブロックの時間割（個別）

週	時期	月						火						水						木						金					
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
10	2/10-2/14	ペインクリニック(麻酔)	神経疾患の周術期管理(麻酔)	精神病理と精神療法(精神)	【自己学習時間】	整形外科概論(整形)	整形外科診断学(整形)	建国記念日						精神医学入門と疾病分類(精神)	統合失調症(精神)	不安障害・強迫性障害(精神)	神経科学(精神)		薬物療法(精神)	リンパ球とリンパ組織(呼内)	骨髄腫(呼内)	CLL類縁疾患とATL(呼内)	パーキンソン病(脳内)	頭痛、神経系感染症(脳内)	脳幹障害と脳神経障害(脳内)	皮膚移植の概念、適応と術式(皮膚)	皮膚及び体表異常における形成再建外科：概論(皮膚)	皮膚及び体表異常における形成再建外科：術式と転帰(皮膚)	成長ホルモン分泌不全性低身長(小児)	視床下部・下垂体系の調節機構(糖尿内分泌)	下垂体機能低下症の臨床(糖尿内分泌)
11	2/17-2/21	最新脳神経外科(脳外)	脊椎外科(脊髄腫瘍)(脳外)	てんかん外科(脳外)	関節リウマチ(整形)	【自己学習時間】	【自己学習時間】	視機能検査Ⅰ(眼科)	視機能検査Ⅱ(眼科)	斜視弱視、屈折矯正(眼科)	解剖、発生(眼科)	網膜疾患Ⅰ(眼科)	網膜疾患Ⅱ(眼科)	抗精神病薬、抗うつ薬、抗躁薬(薬理)	双極性障害・抑うつ障害(精神)	自殺・産後鬱(精神)	児童・思春期精神医学(精神)	精神保健福祉法・司法精神医学(精神)	骨髄増殖性腫瘍(呼内)	血液疾患の症候と検査(1)(呼内)	血液疾患の症候と検査(2)(呼内)	神経系の一般特性(脳内)	脳血管障害(脳内)	脳血管障害(脳内)	造血幹細胞移植の臨床(呼内)	E S細胞と組織幹細胞の生物学(発生)	小児の造血幹細胞移植(小児)	先端巨大症とプロラクチノーマの臨床(糖尿内分泌)	抗利尿ホルモンと尿崩症(糖尿内分泌)	ADH分泌不適合症候群(SIADH)(糖尿内分泌)	
12	2/24-2/28	振替休日						前期入学試験						前期入学試験						前期入学試験											
13	3/2-3/6	輸血概念、輸血副作用など(輸血)	血液事業と血液製剤(輸血)	血液型(輸血)	脳血管障害の外科治療(血管内治療も含む)(脳外)	頭部外傷(脳外)	脳動脈瘤、くも膜下出血(脳外)	神経眼科(眼科)	水晶体、白内障(眼科)	全身疾患と眼(眼科)	前眼部疾患Ⅰ(眼科)	前眼部疾患Ⅱ(眼科)	前眼部疾患Ⅲ(眼科)	抗不安薬(薬理)	パーソナリティ障害・性別違和(精神)	てんかん(精神)	器質性・症状性精神障害(精神)	認知行動療法(精神)	角膜炎、移植、人工角膜など(眼科)	整形外科領域における再生医療の基礎と臨床(整外)	肺移植：概念、適応と術式(胸外)	乳腺・内分泌疾患の病理1(病診)	乳腺・内分泌疾患の病理2(病診)	【自己学習時間】	肝移植、小腸移植、膵島移植：概念、適応と術式(消外)	移植免疫Ⅰ(免疫)	移植免疫Ⅱ(免疫)	副甲状腺疾患(糖尿内分泌)	原発性アルドステロン症と関連疾患(糖尿内分泌)	副腎髓質と褐色細胞腫(糖尿内分泌)	
14	3/9-3/13	血液製剤の適応(自己血を含む)(輸血)	血栓性疾患(TTP+HIT)(輸血)	血栓性疾患(DIC)(輸血)	脳血管内治療(脳外)	AVM解除その他(脳外)	筋疾患(脳内)	遺伝性眼疾患(眼科)	ロービジョンケア(眼科)	眼科再生医療(眼科)	脈絡膜、ぶどう膜炎(眼科)	緑内障(眼科)	外眼筋疾患、眼窩疾患、眼外傷(眼科)	抗てんかん薬(薬理)	嗜睡性障害(精神)	神経発達障害(精神)	摂食障害(精神)	脳と精神症状(精神)	後期入学試験						後期入学試験						
15	3/16-3/20	卒業式						卒業式						卒業式						卒業式											
16	3/23-3/27	心移植：概念、適応と術式(胸外)	再生医療と規則(輸血)	iPS細胞の臨床対応(輸血)	パーキンソン病治療薬(薬理)	脳血管障害(虚血性)(脳外)	神経因性膀胱(泌尿器)	脊椎・脊髄疾患(1)(整形)	脊椎・脊髄疾患(2)(整形)	膝関節・スポーツ傷害疾患(整形)	軟部腫瘍・骨腫瘍の病理(病診)	軟部腫瘍・骨腫瘍の病理(病診)	人工関節の現況(整形)	皮膚の構造と発疹の見方(皮膚)	紫外線と皮膚(皮膚)	皮膚科診断学(皮膚)	美容皮膚科、美容外科(皮膚)	非上皮系腫瘍(皮膚)	上皮系腫瘍(皮膚)	脊髄小脳変性症(脳内)	神経筋接合部疾患(脳内)	認知症疾患(脳内)	副腎皮質機能検査と機能低下症(消内)	クッシング症候群(消内)	先天性副腎過形成症(消内)	臨床免疫学と膠原病の概念(リウマチセン)	関節リウマチとその他の膠原病(リウマチセン)	若年性特発性関節炎(小児)	小児の白血病(小児)	小児の固形腫瘍(小児)	小児の赤血球疾患(小児)
17	3/28-4/5	春季休暇						春季休暇						春季休暇						春季休暇											
18	4/6-4/10	脊髄損傷のリハビリテーション(整形)	上肢1(整形)	上肢2(整形)	耳鼻咽喉科総論(耳鼻)	外耳・中耳・内耳のしくみ(耳鼻)	めまい疾患の鑑別(耳鼻)	【自己学習時間】	抹消神経(整形)	脳性麻痺(整形)	運動ニューロン疾患(脳内)	神経筋疾患のリハビリ(脳内)	脱髄疾患(脳内)	行動科学ⅡⅠ(精神)	行動科学ⅡⅠ(精神)	行動科学ⅡⅠ(精神)	血液疾患の皮膚病変(皮膚)	血球と血漿蛋白(呼内)	血小板と凝固因子(呼内)	自己免疫性水疱症(皮膚)	麻疹、内臓疾患と皮膚病変(皮膚)	皮膚感染症の基礎(皮膚)	小児脳神経外科(脳外)	水頭症、感染症、三叉神経痛(脳外)	変形性脊椎椎性・OPLL(脳外)	関節リウマチの整形外科的診断と治療(整外・リウマチセン)	膠原病の診断と考え方(リウマチセン)	膠原病の診断と考え方(リウマチセン)	中枢神経変性疾患の病理(病診)	中枢神経変性疾患の病理(病診)	脳腫瘍(血管芽腫、悪性リンパ腫、胚細胞腫)(脳外)
19	4/13-4/17	造血幹細胞移植の基礎(輸血)	悪性リンパ腫(1)(腫瘍セン)	悪性リンパ腫(2)(腫瘍セン)	めまい・難聴の外科治療(耳鼻)	めまい疾患のしくみ(耳鼻)	平衡生理と検査法(耳鼻)	聴覚生理と検査法(耳鼻)	難聴疾患について(耳鼻)	補聴について(耳鼻)	喉頭疾患と音声障害(耳鼻)	頭頸部腫瘍1(耳鼻)	頭頸部腫瘍2(耳鼻)	大脳と高次機能(脳内)	不随意運動(脳内)	末梢神経障害(脳内)	【自己学習時間】			角化症、炎症性角化症(皮膚)	湿疹群(皮膚)	色素性疾患(皮膚)	【自己学習時間】			耳鼻咽喉科のアレルギー疾患(耳鼻)	関節リウマチと膠原病の治療(リウマチセン)	膠原病の腎病変(腎内)	漢方医学発展1(泌尿器)	漢方医学発展2(産婦)	漢方医学発展3(麻酔)
20	4/20-4/24	行動科学ⅡⅡ	行動科学ⅡⅡ	行動科学ⅡⅡ	行動科学ⅡⅢ	行動科学ⅡⅢ	行動科学ⅡⅢ	甲状腺疾患(耳鼻)	鼻・副鼻腔疾患、嗅覚障害(耳鼻)	頭頸部の画像診断(放射)	気管・食道疾患(耳鼻)	顔面神経麻痺(耳鼻)	口腔・咽喉頭・唾液腺疾患、味覚障害(耳鼻)	貧血(1)(呼内)	貧血(2)(呼内)	出血性疾患(小児)	出血性疾患(呼内)	【自己学習時間】	【自己学習時間】	漢方医学基礎1(漢方医学薬学セン)	漢方医学基礎2(漢方医学薬学セン)	漢方医学基礎3(漢方医学薬学セン)	漢方医学応用1(漢方医学薬学セン)	漢方医学応用2(漢方医学薬学セン)	漢方医学応用3(漢方医学薬学セン)	膠原病と神経症状(脳内)	薬疹(皮膚)	膠原病の皮膚病変(皮膚)	【自己学習時間】		
21	4/27-5/1	【自己学習時間】		【自己学習時間】		【自己学習時間】		口腔疾患における移植・再生(Ⅰ)(口外)	口腔疾患における移植・再生(Ⅱ)(口外)	【自己学習時間】		【自己学習時間】		昭和の日						【自己学習時間】											
22	5/4-5/8	みどりの日						こどもの日						振替休日						健康診断(予定)						【自己学習時間】					
23	5/11-5/13	耳鼻咽喉疾患試験			神経疾患試験			運動器疾患試験			眼疾患試験			精神・行動疾患試験			血液疾患試験			移植・再生医学試験			皮膚疾患試験		東洋医学試験	膠原病・アレルギー疾患試験			内分泌疾患試験		

- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 血液疾患 運動器疾患 眼疾患 精神・行動疾患 | <ul style="list-style-type: none"> 移植・再生医学 内分泌疾患 神経疾患 皮膚疾患 | <ul style="list-style-type: none"> 膠原病・アレルギー疾患 耳鼻咽喉疾患 東洋医学 行動科学Ⅱ |
|---|--|--|

【自己学習時間】 休講の補講や特別講義等に充てられる時間帯であり、休業日ではない

時間割

1時限目	9:00~10:00
2時限目	10:10~11:10
3時限目	11:20~12:20
4時限目	13:10~14:10
5時限目	14:20~15:20
6時限目	15:30~16:30

第4ブロックの時間割（大枠）

週	時期	月						火						水						木						金						
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
37	9/7-9/11	【自己学習時間】						【自己学習時間】						CBT						CBT						【自己学習時間】						
38	9/14-9/18	臨床手技実習1						臨床手技実習2						臨床手技実習3						臨床手技実習4						臨床手技実習5						
39	9/21-9/25	敬老の日						秋分の日						臨床手技実習6						臨床手技実習7						臨床手技実習8						
40	9/28-10/2	臨床手技実習9						臨床手技実習10						臨床手技実習11						臨床手技実習12						【自己学習時間】						OSCE 10/3（土）
41	10/5-10/9	実践的医療倫理 I 1		【自己学習時間】				実践的医療倫理 I 2		【自己学習時間】				実践的医療倫理 I 3		【自己学習時間】				【自己学習時間】		【自己学習時間】				大学祭						
42	10/12-10/16	社会フィールド系実習（衛生学・公衆衛生学Ⅱ）																														
43	10/19-10/23	社会フィールド系実習（法医学）																														
44	10/26-10/30	CBT再試						【自己学習時間】						【自己学習時間】						【自己学習時間】						社会フィールド系実習 報告会 （衛生学・公衆衛生学Ⅱ）						
45	11/2-11/6	病理学実習1		病理学実習2				文化の日						病理学実習3		病理学実習4				病理学実習5		病理学実習6				病理学実習7		病理学実習8				
46	11/9-11/13	病理学実習9		病理学実習10				病理学実習11		病理学実習12				【自己学習時間】						【自己学習時間】						【自己学習時間】						
47	11/16-11/20	進級判定期間																														
48	11/23-11/27	勤労感謝の日																														
49	11/30																															

社会フィールド系実習（法医学）
社会フィールド系実習（衛生学・公衆衛生学Ⅱ）
実践的医療倫理 I

臨床手技実習
病理学実習

時間割

1時限目 9:00~10:00
 2時限目 10:10~11:10
 3時限目 11:20~12:20
 4時限目 13:10~14:10
 5時限目 14:20~15:20
 6時限目 15:30~16:30

【自己学習時間】 休講の補講や特別講義等に充てられる時間帯であり、休業日ではない

※講義室：臨床第1講義室

授業科目紹介

(統合臨床講義)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：教育開発センター、消化器・総合外科学 関連担当講座： 中央臨床検査部、医療情報部、循環器内科、腫瘍センター、病理診断学		
概要	全人的医療を習得するために、内科学、外科学の考え方、臨床検査の考え方、医療情報の考え方、EBMの考え方、倫理的問題の扱いを身に付ける。		
目標	1) 内科学の基本的な考え方を説明できる。 2) 外科学の基本的な考え方を説明できる。 3) 検査情報における陽性予測値、ROC 解析などの診断特性の指標についてその意味を述べることができ、判断分析の理論を用いて不確実な状況での臨床判断を左右する要素を明らかにすることができる。 4) 主要な検査項目についての意義と解釈を理解し説明できる。 5) 診療に伴い発生する情報の利用に関する基礎的な事項を理解し説明できる。 6) 医療コミュニケーションについて説明できる。 7) EBMの考え方を説明できる。 8) 加齢と老化の基本的事項を説明できる。		
評価方法	本試験予定：2020年2月4日（火） 2時限目 再試験予定：2020年3月9日（月） 17：00～18：00		
教科書・参考書	教科書：特に指定しない 参考書： (1) 医療科学：江川 寛 編、医学書院 (2) 医学判断学入門：久道 茂 著、南江堂 (3) Laboratory Medicine 異常値の出るメカニズム：河合 忠 他編、医学書院 (4) 医療情報 第5版 医療情報システム編：日本医療情報学会医療情報技師育成部会 編、篠原出版新社		
授業計画	2019年12月2日（月） 3時限目 検査診断学1 検査値を正しく判断するために（中央臨床検査部 山崎正晴） F-2-3） 4時限目 検査診断学2 主要な検査項目の意義と解釈（中央臨床検査部 山崎正晴） F-2-3） 5時限目 外科学総論1 （消化器・総合外科学客員教授 山上裕機） F-2-9）、F-3-6）-(3) 6時限目 外科学総論2 （消化器・総合外科学客員教授 山上裕機） F-2-9）、F-3-6）-(3) 2019年12月3日（火） 2時限目 医療情報学総論（医療情報部 玉本哲郎） B-2-2） 3時限目 医療コミュニケーション（公衆衛生学講座 岡本左和子） A-4、C-5-7） 4時限目 加齢と老化（循環器内科 岡山悟志） E-8 5時限目 EBM（中央臨床検査部 水野麗子） F-2-2） 6時限目 内科学総論（教育開発センター 藤本眞一、腫瘍センター 神野正敏） F-1、F-2-1） 2019年12月4日（水） 1時限目 病理検体の取り扱い方（病理診断学 大林千穂） F-2-4） 2時限目 免疫組織化学、FISH検査（病理診断学 大林千穂） F-2-4） 3時限目 遺伝子検査（病理診断学 藤井智美） F-2-3）、F-2-4） ※相当するコア・カリキュラム分類を記載している。		
学生へのメッセージ等	これから始まる統合臨床講義全体の理解を深めるために重要な臨床医学の入門コースです。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：泌尿器科学 関連担当講座：腎臓内科学、透析部、小児科学、内視鏡・超音波部、病理診断学、薬理学
概要	1) 腎・尿路等の後腹膜腔臓器および男性性器の先天性および後天性疾患の正確な知識を得るために臓器の発生、局所解剖、機能および疾患の病態を理解する。 2) プライマリ・ケアとしての腎臓・泌尿器領域疾患に対する科学的な診断・治療指針をたてるために腎臓内科および泌尿器科領域疾患にみられる身体所見を正確に把握し、系統的な検査法とEBMに基づく治療を理解する。
目標	1) 蛋白尿の原因と病態生理を述べ、腎機能検査法の種類と意義について説明する。 2) 腎臓と酸塩基平衡の関わりについて述べ、アシドーシスとアルカローシスの定義、原因、および病態について説明する。 3) 尿細管機能障害を分類し、その病態と診断について述べる。 4) 原発性糸球体疾患を分類し、その病理組織像について識別する。 5) 続発性糸球体疾患を分類し、その病理組織像について識別する。 6) 急速進行性腎炎症候群の病態、診断、および治療法について述べる。 7) 慢性腎臓病（CKD）の病態、診断、および治療法について述べる。 8) 間質性腎炎（薬剤性腎障害を含む）の原因を列挙し、診断と治療について述べる。 9) 成人におけるネフローゼ症候群の定義、原因、診断、および治療について述べる。 10) 腎疾患における高血圧の病態を説明し、治療法を具体的に述べる。 11) 小児の腎疾患、とくに急性糸球体腎炎と小児ネフローゼ症候群（先天性を含む）の定義、原因、診断、および治療について述べる。 12) 溶血性尿毒症症候群の原因と病態・治療について述べる。 13) 急性腎不全の定義、分類、および病態生理を説明する。 14) 慢性腎不全の定義、分類、および病態生理を説明し、血液透析や腹膜透析の原理と適応を説明する。 15) 尿路、性器、副性器および副腎等の局所解剖、構造、発生および生理機能を列記する。 16) 泌尿器科的疾患に起因する症状・症候の発症機転と病態解明のための理学的検査法、腎機能検査法、血液・尿臨床検査法を関係づける。 17) 泌尿器科領域の画像診断法と内視鏡検査・治療法の意義を説明する。 18) 尿転送機能を概説し、尿転送異常と尿路閉塞機転により生じる病態を分類する。 19) 蓄尿と排尿機能を概説し、原因別に排尿障害の症状、診断および治療法を具体的に述べる。 20) 尿路性器感染症の主な起炎菌、感染経路、感染防御機構、症状、診断法を説明する。 (感染症で講義) 21) 尿路結石形成の機転を概説し、結石の性状別に臨床症状、診断、治療、予防法を述べる。 22) 尿路・男子生殖器の外傷の原因と症状を概説し、適切な診断法と治療方針を説明する。 (救急医療で講義) 23) 副腎に発生する腫瘍性病変の臨床像、診断法、治療法を類別する。(内分泌疾患で講義) 24) 腎細胞癌の疫学、臨床像、診断法、鑑別法、治療法、分子生物学的特性と予後を説明する。 25) 尿路上皮癌の疫学、臨床像、診断法、鑑別法、治療法、分子生物学的特性と予後ならびに尿路変向および下部尿路再建の適応を説明する。 26) 前立腺腫瘍(癌・肥大症)の疫学、臨床像、診断法、鑑別法、治療法、分子生物学的特性と予後ならびに男性ホルモン支配環境を説明する。 27) 精巣腫瘍の診断法、病理組織像、治療法、予後を概説し、癌化学療法法の基礎を説明する。 28) アンドロロジ（性分化異常・男性不妊・勃起障害）の臨床像、分子生物学的所見と治療を説明する。 29) 腎移植の適応と移植手術成績を具体的に説明する。(移植・再生医学でも講義) 30) 利尿薬ならびに泌尿器疾患治療薬、排尿障害治療薬の種類、作用機序、臨床適用について説明する。 31) 尿路・男子生殖器の新生物ならびに種々の疾患の病理組織像を供覧し、分子生物学的背景ならびに癌取り扱い規約を説明する。 32) 臨床実習(検尿法、手術介助、導尿法など)を通じて、泌尿器科領域のプライマリ・ケアに必要な基本的臨床実技を研鑽する。
評価方法	本試験予定：2020年2月5日(水) 4時限目 再試験予定日 2020年3月17日(火) 17:00~18:00
教科書・参考書	教科書・参考書 教科書： 腎臓内科学：特に指定はしない 泌尿器科学：Text泌尿器科学 南山堂、Primary care note泌尿器疾患 日本医事新報社 小児科学：阿部敏明 他 小児科学新生児学テキスト(全面改訂第3版) 診断と治療社 病理診断学：青笹克之編「解明病理学」(第2版)、医歯薬出版、2013。 参考書： 腎臓内科学：Disease of The Kidney, Schrier&Gottschalk編 Little Brown社 泌尿器科学：ベッドサイド泌尿器科学 南江堂、Campbell's Urology (8thed), SAUNDERS 小児科学：NEIJSON Textbook of Pediatrics (16th ed), SAUNDERS

	<p>病理診断学 : 小田義直ほか監修「組織病理アトラス(第6版)」文光堂 2015 薬理学 : Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics, 10th Edition. (McGraw-Hill) 「カッツング・薬理学(原書8版)」(丸善) 「New薬理学」(南江堂)</p>
授業計画	<p>2019年12月4日(水) 4時限目 腎疾患総論(腎臓内科学:鶴屋和彦) 腎機能、腎疾患の概念、用語について説明する。 5時限目 急性腎障害(腎臓内科学:赤井靖宏) 急性腎障害の定義、分類、および病態生理を説明する。 6時限目 間質性腎炎(腎臓内科学:赤井靖宏) 間質性腎炎(薬剤性腎障害を含む)の原因を列挙し、診断と治療について述べる。</p> <p>2019年12月6日(金) 4時限目 蛋白尿と腎機能(腎臓内科学:江里口雅裕) 蛋白尿の原因と病態生理を述べ、腎機能検査法の種類と意義について説明する。 5時限目 腎と酸塩基平衡(腎臓内科学:江里口雅裕) 腎臓と酸塩基平衡の関わりについて述べ、アシドーシスとアルカローシスの定義、原因、および病態について説明する。 6時限目 尿細管機能障害(腎臓内科学:江里口雅裕) 尿細管機能障害を分類し、その病態と診断について述べる。</p> <p>2019年12月11日(水) 1時限目 ネフローゼ症候群(腎臓内科学:赤井靖宏) 成人におけるネフローゼ症候群の定義、原因、診断、および治療について述べる。 2時限目 続発性糸球体疾患の分類と組織像(腎臓内科学:鮫島謙一) 続発性糸球体疾患を分類し、その病理組織像について識別する。 3時限目 急速進行性腎炎症候群(腎臓内科学:鮫島謙一) 急速進行性腎炎症候群の病態、診断、および治療法について述べる。</p> <p>2019年12月13日(金) 4時限目 腎と高血圧(腎臓内科学:鶴屋和彦) 血圧制御における腎臓の重要性、高血圧の病態ならびに治療法を具体的に述べる。 5時限目 慢性腎臓病および慢性腎不全(腎臓内科学:鶴屋和彦) 慢性腎臓病(CKD)および慢性腎不全の定義、分類、および病態生理を説明する。 6時限目 原発性糸球体疾患の分類と組織像(腎臓内科学:鮫島謙一) 原発性糸球体疾患を分類し、その病理組織像について識別する。</p> <p>2019年12月16日(月) 4時限目 膀胱腫瘍(泌尿器科学:藤本清秀) 膀胱腫瘍の臨床像、診断法、鑑別法、治療法、分子生物学的特性を説明する。 5時限目 上部尿路腫瘍(泌尿器科学:藤本清秀) 上部尿路腫瘍の疫学、臨床像、診断法、鑑別法、治療法、分子生物学的特性と予後ならびに尿路変向および尿路再建の適応を説明する。 6時限目 陰茎・副腎・後腹膜腫瘍(泌尿器科学:藤本清秀) 臈癌、陰茎癌および陰茎・陰嚢内疾患の診断法、治療法を説明する。 副腎疾患の外科治療についても説明する。</p> <p>2019年12月18日(水) 1時限目 腎・尿路上皮疾患の病理(病理診断学:藤井智美) 腎細胞癌、腎腫瘍と腎盂・尿管・膀胱癌等の病理組織像を供覧し、癌取り扱い規約を説明する。 2時限目 男性生殖器疾患の病理(病理診断学:藤井智美) 前立腺癌を中心に精巣癌、陰茎癌ならびに種々男子生殖器疾患の病理組織像を供覧し、分子生物学的背景ならびに癌取り扱い規約を説明する。 3時限目 副腎腫瘍(病理診断学:藤井智美) 副腎皮質機能低下症について原因と病理像および症状を述べならびに副腎髓質の腫瘍について特長と病態、症状を述べ、癌取り扱い規約を説明する。</p> <p>2020年1月6日(月) 4時限目 腎・尿路の画像診断(中央内視鏡・超音波部:丸上永晃) 泌尿器科領域疾患の画像を供覧し、画像診断法についてその適応・意義を説明する。 5時限目 下部尿路症状と女性泌尿器科(泌尿器科学:鳥本一匡) 尿失禁、骨盤臓器脱、間質性膀胱炎等、婦人特有の泌尿器疾患の診断と治療法を具体的に説明する。</p> <p>2020年1月8日(水) 4時限目 排尿障害治療薬(薬理学:吉栖正典) 泌尿器疾患治療薬、排尿障害治療薬の種類、作用機序、臨床適用について説明する。 5-6時限目 腎生理・利尿薬 特別講義 香川大学医学部薬理学講座教授 西山 成 先生</p> <p>2020年1月15日(水) 4時限目 精巣腫瘍(泌尿器科学:井上剛志) 精巣腫瘍の診断と治療について説明する。 5時限目 前立腺肥大症・前立腺炎(泌尿器科学:井上剛志) 前立腺肥大症および前立腺炎など良性疾患の疫学、臨床像、診断法、鑑別法、治療法を具体的に説明する。 6時限目 血液浄化・腎移植(泌尿器科学:米田龍生) 慢性腎不全の治療、血液浄化の意義、種類、方法と腎移植について説明する。</p> <p>2020年1月21日(火) 2時限目 腎炎①(病理診断学:伊丹弘恵) 腎臓の正常組織像と糸球体腎炎の病理組織像について供覧・説明する。 3時限目 腎炎②(病理診断学:伊丹弘恵)</p>

	<p style="text-align: center;">全身性疾患による糸球体腎炎の病理組織像について供覧・説明する。</p> <p>2020年1月27日(月)</p> <p>4時限目 小児における腎疾患 (小児科学:石川智朗) 小児の腎疾患、とくに急性糸球体腎炎と小児ネフローゼ症候群の定義、原因、診断、および治療について述べる。</p> <p>5時限目 溶血性尿毒症症候群 (小児科学:石川智朗) 溶血性尿毒症症候群の原因と病態・治療について述べる。</p> <p>2020年1月28日(火)</p> <p>1時限目 男性科学・性機能障害 (泌尿器科学:三宅牧人) 性機能障害と男性更年期および性感染症の診断・治療について説明する。</p> <p>2時限目 腎腫瘍 (泌尿器科学:穴井 智) 腎腫瘍の疫学、診断法、鑑別法、治療法、分子生物学的特性と予後を説明する。</p> <p>3時限目 尿路結石症 (泌尿器科学:穴井 智) 尿路結石形成の機序を概説し、結石の性状別に臨床症状、診断、治療、予防法を説明する。</p> <p>2020年1月30日(木)</p> <p>1時限目 前立腺癌 (泌尿器科学:田中宣道) 前立腺癌の疫学、臨床像、診断法、鑑別法、治療法、分子生物学的特性と予後ならびに男性ホルモン支配環境を説明する。</p> <p>2時限目 腎尿路発生と先天性異常 (泌尿器科学:青木勝也) 腎臓、尿路の系統発生とその異常による先天疾患の診断について説明する。</p> <p>3時限目 小児泌尿器科 (泌尿器科学:青木勝也) 小児泌尿器疾患、小児泌尿器科学の歴史と対象疾患の概念、用語について説明する。</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：消化器内科学 関連担当講座：消化器・総合外科学、放射線医学、病理診断学
概要	肝臓・胆道・膵臓疾患について幅広く理解するために、肝・胆・膵の機能および肝・胆・膵疾患の病態、疫学、診断および治療法を学習する。
目標	<p>A. 肝疾患</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ウイルス肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を理解する。 2) 急性肝炎、劇症肝炎と慢性肝炎の定義を述べ、病態・診断および治療法を理解する。 3) 肝硬変の原因、病理、症候、診断と治療法を理解する。 4) 肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、腹水）を述べ、病態・診断および治療法を理解する。 5) 原発性肝癌の原因、病理、症候、診断と治療法を理解する。 6) アルコール性肝障害・非アルコール性脂肪肝炎の病態・診断および治療法を理解する。 7) 薬物性肝障害の病態・診断および治療法を理解する。 8) 肝臓外科で取り扱う疾患の診断、手術適応、術前肝機能評価、術式を理解する。 9) 肝疾患に対するIVRの適応、方法、効果を理解する。 <p>B. 胆道疾患</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 胆石症の成因、症候、診断と治療法を理解する。 2) 胆嚢炎と胆管炎の成因、病態、症候、診断、合併症と治療法を理解する。 3) 胆嚢・胆管癌の病理、症候、診断と治療法を理解する。 4) 胆嚢ポリープの病態・診断および治療法を理解する。 5) 総胆管拡張症と膵胆管合流異常の病態・診断および治療法を理解する。 6) 胆道疾患に対するIVRの適応、方法、効果を理解する。 <p>C. 膵臓疾患</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 急性膵炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、症候、診断と治療法を理解する。 2) 慢性膵炎（アルコール性、特発性）の病態生理、症候、診断、合併症と治療法を理解する。 3) 膵癌の病理、症候と診断、治療法を理解する。 4) 重症急性膵炎の病態生理、診断基準と治療法を理解する。 5) 膵嚢胞性疾患の分類と病理・診断・治療法を理解する。 6) 膵臓疾患に対するIVRの適応、方法、効果を理解する。
評価方法	本試験予定：2020年2月5日（水） 2時限目 再試験予定：2020年3月11日（水） 17:00～18:00
教科書・参考書	<p>教科書：</p> <p>杉本恒明・小侯政男 総編集 内科学 朝倉書店発行 高久史磨・尾形悦郎・黒川清・矢崎義雄 監修 新臨床内科学 医学書院発行 高橋陸正 編 必修放射線科医学 南江堂 出月康夫、古瀬 彰、杉町圭蔵 編 NEW外科学 南江堂</p> <p>参考書：</p> <p>Sherlock: Diseases of the Liver and Biliary System. Blackwell. Schiff, Sorrell, Maddrey: Diseases of the Liver. J.B. Lippincott 平松京一、打田日出夫 編著 I V R 金原出版 幕内雅敏、高山忠利 編 肝臓外科の要点と盲点 文光堂</p>
授業計画	<p>2019年12月5日（木）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1時限目 肝・胆・膵疾患の病理1（病理診断学：森田 剛平） 2時限目 肝・胆・膵疾患の病理2（病理診断学：森田 剛平） 3時限目 肝・胆・膵疾患の病理3（病理診断学：森田 剛平） <p>2019年12月9日（月）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1時限目 慢性膵炎（消化器内科学：澤田 保彦） 内容：慢性膵炎の原因・病態生理・症候・診断・合併症・治療 2時限目 肝胆膵の画像診断（1）（放射線科：丸上 永晃） 内容：超音波検査、CT、MRI、MRCP、PTC、血液造影 3時限目 肝胆膵の画像診断（2）（放射線科：丸上 永晃） 内容：超音波検査、CT、MRI、MRCP、PTC、血液造影 4時限目 肝疾患のみかた考えかた（消化器内科学：吉治仁志） 内容：症候からどう考えるか、黄疸の鑑別、基礎から臨床へ 5時限目 急性肝炎、劇症肝炎（消化器内科学：吉治 仁志） 内容：肝機能検査、急性肝炎、劇症肝炎、ウイルス肝炎のABC 6時限目 肝硬変合併症の病態と治療（消化器内科学：鍛治 孝祐） 内容：日常の管理、門脈圧亢進症、肝性脳症、腹水 <p>2020年1月10日（金）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1時限目 膵疾患の診断、急性膵炎（消化器内科学：美登路 昭） 内容：急性膵炎の原因・病態生理・症候・診断・治療、重症急性膵炎 2時限目 胆道疾患の診断、内視鏡的治療（消化器内科学：美登路 昭） 内容：超音波診断、胆嚢・胆管造影、CT、MRCP、ERCP、EST、EPBD、総胆管拡張症、膵胆管合流異常 3時限目 胆石症、胆嚢炎、肝管炎（消化器内科学：美登路 昭）

内容：胆石症の成因・症候・診断・治療、胆嚢炎、胆管炎の成因・症候・診断・治療

2020年1月16日（木）

- 1 時限目 胆嚢・胆管癌 (消化器・総合外科：高 濟峯)
内容：胆嚢・胆管癌の病理・症候診断・治療
- 2 時限目 膵腫瘍 (消化器・総合外科：庄 雅之)
内容：膵腫瘍の病理・診断・治療
- 3 時限目 肝臓疾患の外科治療 (消化器・総合外科：野見 武男)
内容：手術適応疾患、術前肝機能・評価・術式、術後管理

2020年1月20日（月）

- 4 時限目 慢性肝炎・非アルコール性脂肪肝炎 (消化器内科学：浪崎 正)
内容：非アルコール性脂肪肝炎の病像と診断 ウイルス性・自己免疫性慢性肝疾患の病像と診断
- 5 時限目 肝炎の治療 (消化器内科学：浪崎 正)
内容：急性肝炎、劇症肝炎、慢性肝炎の治療
- 6 時限目 原発性肝細胞癌 (消化器内科学：瓦谷 英人)
内容：疫学、病態、診断、治療

2020年1月22日（水）

- 1 時限目 肝硬変の診断と病態 (消化器内科学：下里 直隆)
内容：肝硬変の原因、病態生理、原発性胆汁性肝硬変
- 2 時限目 肝胆膵のIVR (放射線科：田中 利洋)
内容：動脈塞栓術、動注療法、ドレナージ術、アブレーション
- 3 時限目 アルコール性・薬物性肝障害 (消化器内科学：瓦谷 英人)
内容：アルコール性障害・薬物性肝障害の病態・診断・治療

学生へのメッセージ等

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：消化器・総合外科学 関連担当講座：消化器内科学、小児科学、放射線医学、薬理学、分子病理学
概要	1) 消化管の臨床医学に必要な病態、疾病の基礎を理解する。 2) 診断法と内科的および外科的治療法を理解し、基礎知識を習得する。 3) 各疾患の治療法の選択およびその成績を臓器別に分類して理解する。
目標	1) 消化器外科学、一般外科学、小児外科学 消化管疾患に対する低侵襲手術 消化器外科領域における低侵襲手術について理解し、現状と問題点を説明する。 食道癌の外科治療 食道癌の進行度、手術適応を理解し、食道癌治療の現状と問題点を説明する。 食道良性疾患 食道アカラシア等良性疾患の病態を理解し、診断と治療を説明する。 胃・食道・十二指腸の先天異常 新生児胃穿孔、食道閉鎖、十二指腸閉鎖の診断と治療を説明する。 胃癌の外科治療 胃癌の進行度、手術適応を理解し、胃癌治療の現状と問題点を説明する。 胃癌/食道癌の化学療法 胃癌および食道癌に対する化学療法について理解し、化学療法の現状と問題点を説明する。 イレウス・ヘルニアの診断と治療 イレウスの分類、診断、治療について理解する。腸重積の診断と治療を説明する。 鼠径ヘルニア、大腿ヘルニアの原因、症状、診断、治療について説明する。 小腸の先天異常 空腸閉鎖症、回腸閉鎖症の診断と治療を説明する。 炎症性腸疾患 潰瘍性大腸炎、クローン病、単純性潰瘍腸管、ベーチェット病などの疾患の診断と治療を説明する。 様々な腸疾患 虚血性大腸炎、消化管感染症、憩室症の診断と治療を説明する。 大腸ポリープと遺伝性大腸腫瘍 遺伝子変化と大腸ポリープについて説明する。 遺伝性大腸腫瘍の診断と治療について説明する。 大腸癌の外科治療 大腸癌の進行度、手術適応、術式を説明する。 機能温存手術、腹腔鏡下手術の適応と術式を説明する。 大腸癌の化学療法 大腸癌に対する化学療法について理解し、化学療法の現状と問題点を説明する。 肛門疾患の診断と治療 肛門疾患について理解し、その診断と外科的治療について説明する。 大腸・肛門の先天異常 ヒルシュスプルング病、直腸肛門奇形の診断と治療を説明する。 周術期の全身管理 術前・術後管理の重要性を認識して、必要な検査、処置について述べる。 術後合併症の予防と治療について、具体的な項目を列記する。 乳腺疾患 乳腺疾患について、良性と悪性疾患を把握して分類し、鑑別診断、治療法について説明する。 2) 消化器内科学 食道良性疾患 食道炎、マロリーワイス症候群の病態を理解し、診断と治療を説明する。 胃癌、胃炎、消化性潰瘍、胃ポリープ、胃粘膜下腫瘍の病態を理解し、診断と治療を説明する。 小・大腸疾患、腸炎、過敏性腸症候群等の病態を理解し、診断と治療を説明する。 小腸腫瘍、大腸癌の病態を理解し、診断と治療を説明する。 食道・胃静脈瘤の診断と治療 食道・胃静脈瘤の診断と治療を理解し、説明する。 3) 放射線医学 食道癌の画像診断 食道癌の診断法を理解し、説明する。 胃癌の画像診断 胃癌の診断法を理解し、説明する。 4) 小児科学 小児の消化管疾患 小児の肥厚性幽門狭窄症と腸重積症の病態・診断・治療法について説明する。 小児の腸炎・消化不良症 小児の腸炎・消化不良症の病態・診断・治療法について説明する。 食道・胃静脈瘤の診断と治療を理解し、説明する。 5) 薬理学 消化器病治療薬 胃、腸、肝・胆・膵に作用する薬の作用と使用法について説明する。 6) 分子病理学

	消化管の病理 以下の疾患の病理学的特徴を理解し、説明できる。 〔食道・胃・大腸の腫瘍、大腸炎症性疾患〕
評価方法	本試験予定：2020年2月6日（木） 2限目 再試験予定：2020年3月18日（水） 17:00～18:00
教科書・参考書	1) 消化器外科学、一般外科学、小児外科学 教科書：STEP Series 外科 ②消化器外科・小児外科（海馬書房） 乳腺腫瘍学（金原出版） 参考書：現代外科手術学体系 新現代外科学体系 消化器外科学 New 外科学 標準小児外科学 2) 消化器内科学 教科書・参考書：朝倉内科学 セシル内科学 参考書：食道・胃静脈瘤 改訂第3版（日本メディカルセンター） 3) 放射線医学 参考書・教科書（食道、胃共通）： 放射線医学 消化器 画像診断・IVR 廣田省三、村上卓道 編（金芳堂） 胃X線診断の考え方と進め方（第2版）吉田裕司、市川平三郎（医学書院） 上部消化管内視鏡 スタンダードテキスト 櫻井幸弘、多賀須幸男（医学書院） 4) 小児科学 教科書：阿部敏明 他；小児科学新生児学テキスト 全面改訂第3版（診断と治療社） 参考書：NELSON:Textbook of Pediatrics (16th edition) (SAUNDERS) 5) 薬理学 教科書：カラー 新しい薬理学 石井邦明、西山成 監修（西村書店） 参考書：Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics, 10th Edition. (McGraw-Hill) 「カッシング・薬理学（原書8版）（丸善） 「New薬理学」（南江堂） 6) 分子病理学 教科書：特になし 参考書：特になし
授業計画	2019年12月5日（木） 4時限目 小児の腸炎・消化不良症（小児科学：矢田弘史） 5時限目 消化管疾患の総論・診断（消化器内科学：山尾純一） 6時限目 大腸癌・腫瘍その他の診断と治療（消化器内科学：守屋圭） 2019年12月10日（火） 4時限目 胃癌の外科治療（消化器・総合外科学：松本壮平） 5時限目 大腸癌の外科治療（消化器・総合外科学：久下博之） 6時限目 大腸ポリープと遺伝性大腸腫瘍（消化器・総合外科学：小山文一） 2019年12月12日（木） 4時限目 消化管の病理1（分子病理学：谷里奈） 5時限目 胃炎とFDの診断、病態と治療（消化器内科学：山尾純一） 6時限目 大腸・肛門の先天異常（消化器・総合外科学：澤井利夫） 2019年12月17日（火） 4時限目 炎症性腸疾患（消化器・総合外科学：小山文一） 5時限目 イレウス・ヘルニアの診断と治療（消化器・総合外科学：久下博之） 6時限目 食道癌の外科治療（消化器・総合外科学：若月幸平） 2019年12月19日（木） 4時限目 小児の消化管疾患（小児科学：矢田弘史） 5時限目 食道癌に対する内科的治療（胃・食道逆流症を含む）、MW症候群（消化器内科学：山尾純一） 6時限目 胃・食道・十二指腸の先天異常（消化器・総合外科学：澤井利夫） 2020年1月7日（火） 1時限目 胃癌の病態と治療（消化器内科学：山尾純一） 2時限目 術前期の全身管理（消化器・総合外科学：松本壮平） 3時限目 肛門疾患の診断と治療（消化器・総合外科学：久下博之） 2020年1月9日（木） 4時限目 乳腺疾患（診断）（消化器・総合外科学：池田直也） 5時限目 胃・十二指腸潰瘍の病態と治療（消化器内科学：山尾純一） 6時限目 様々な腸疾患（消化器・総合外科学：小山文一） 2020年1月14日（火） 1時限目 胃ポリープ、胃粘膜下腫瘍（消化器内科学：山尾純一） 2時限目 食道良性疾患（消化器・総合外科学：若月幸平） 3時限目 胃癌の画像診断（放射線科学：伊藤高広） 2020年1月20日（月） 1時限目 消化管疾患に対する低侵襲手術（消化器・総合外科学：若月幸平） 2時限目 消化管の病理2（分子病理学：谷里奈） 3時限目 食道癌の画像診断（放射線科学：伊藤高広） 2020年1月23日（木） 1時限目 食道・胃静脈瘤の診断と治療（消化器内科学：瓦谷英人） 2時限目 腸炎の過敏性症候群・小腸腫瘍の診断、病態と治療（消化器内科学：守屋圭） 3時限目 大腸癌の化学療法（消化器・総合外科学：中本貴透）

	<p>2020年1月24日（金）</p> <p>1時限目 消化器病治療薬1（薬理学：吉栖正典）</p> <p>2時限目 小腸の先天異常（消化器・総合外科学：澤井利夫）</p> <p>3時限目 乳腺疾患（癌の治療・予後）（消化器・総合外科学：池田直也）</p> <p>2020年1月27日（月）</p> <p>1時限目 消化器病治療薬2（薬理学：吉栖正典）</p> <p>2時限目 胃癌／食道癌の化学療法（消化器・総合外科学：松本壮平）</p> <p>3時限目 消化管の病理3（分子病理学：谷里奈）</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：循環器内科学 関連担当講座：胸部・心臓血管外科学、先天性心疾患センター、放射線医学、薬理学、病理診断学
概要	1) 循環器疾患の病態を理解するために、必要な検査(身体所見、心電図、心エコー図)を理解すると共に、心臓・血管の発生解剖、病理、生理を理解する。 2) 各循環器疾患の成因の理解と、診断法、治療法(内科的、外科的)を理解し、ベッドサイド学習における必要な医療能力を修得する。 3) 循環器疾患治療薬の原理、作用を理解する。
目標	<ol style="list-style-type: none"> 心不全治療薬の原理と作用が説明できる。 降圧薬の原理と作用が説明できる。 虚血性心疾患治療薬の原理と作用が説明できる。 抗凝固薬・血栓溶解薬の原理と作用が説明できる。 脂質異常症の原理と作用が説明できる。 心臓聴診の基本的な事項を説明できる。 心エコー図法の基本的な原理を説明できる。 正常例での心エコー図を理解し、主な心疾患でのエコー図所見を述べる事ができる。 ブラ法を用いた心機能評価法を説明できる。 心電図の基本的原理を理解し、系統的に所見を述べる事ができる。 頻脈性不整脈について、その分類・機序・心電図所見と鑑別診断・臨床所見・薬物療法・非薬物療法(カテーテルアブレーション、植込み型除細動器)の適応、治療の原理につき説明できる。 徐脈性不整脈について、その分類・病因・心電図所見・診療所見・ペースメーカー治療の適応やペースメーカーの作動のしくみにつき説明できる。 心電図の基本的な読み方を理解し、代表的な異常波形の特徴を説明できる。 本態性高血圧の診断、治療について説明できる。 高血圧の疫学、臓器合併症、予後について説明できる。 二次性高血圧の原因を列挙し、診断と治療について概説できる。 心筋細胞収縮の分子機序を理解し、心不全発症の機序を理解する。 心不全の疫学的背景、病態に則した分類、重症度分類を説明できる。 心不全時の代償機序を説明できる(心臓内機序と心臓外機序)。 心不全の内科的治療法の機序と適応を説明できる。 重症心不全に対する外科的治療の種類と手技について説明できる。 重症心不全に対する外科的治療の適応とその限界について説明できる。 重症心不全に対する外科的治療の問題点について説明できる。 心筋症の分類を説明できる。 心筋症の原因となる遺伝子異常を理解する。 心筋症の症状・予後を理解する。 心筋症の診断法・鑑別診断を説明できる。 全身疾患に関連する二次性心筋症を理解する。 急性冠症候群についてその発症機序と病態を理解し、診断および治療について説明できる。 循環器画像診断法(CT, MRI, 核医学検査)のそれぞれの適応症例と禁忌症例を説明することができる。 心筋梗塞の病態、診断、治療法について説明できる。 急性冠症候群の病態と発症機序を理解し、安定狭心症との違いを説明できる。 急性心筋梗塞の病態、診断、治療法について説明できる。 急性心筋梗塞の機械的合併症を知り、その診断と治療について説明できる。 安定狭心症と不安定狭心症の違いを理解し、説明できる。 冠れん縮性狭心症についてその病態を理解し、説明できる。 狭心症の病態を理解し、診断に必要な検査について説明できる。 冠動脈疾患のインターベンション治療の適応と手技について説明できる。 虚血性心疾患に対するカテーテル検査と治療について、その方法を理解する。 虚血性心疾患のカテーテル治療(インターベンション治療)の適応と手技について説明できる。 虚血性心疾患に対するステント留置術時の薬物治療について理解し、説明できる。 虚血性心疾患の外科的治療の適応を知る。 急性心筋梗塞に伴う機械的合併症の病態を知る。 冠状動脈バイパス術の進歩について理解する。 炎症性心疾患(心内膜炎、心筋炎、心外膜炎)の原因と病理・病態について理解する。 主な弁膜症の原因、病態および診断を説明し、手術適応と治療法について概説できる。 心膜疾患の原因、病態および診断を説明し、治療法について概説できる。 弁膜症の外科治療の適応を知る。 弁膜症に対する弁修復術の意義について理解する。 大動脈弁狭窄症の症状と重症度評価法について理解する。 急性大動脈弁閉鎖不全症と慢性大動脈弁閉鎖不全症の原因、病態の違いについて説明できる。 僧帽弁狭窄症の診断と治療について説明できる。 一次性(器質性)、二次性(機能性)僧帽弁閉鎖不全症についてその違いを理解する。 弁置換術に用いられる置換弁の種類と問題点について説明できる。 正常心構造を理解し、先天性心疾患を形態的・血行動態的に把握する。 先天性心疾患の病態生理と診断を述べる事ができる。

	<p>56. いろいろな先天性心疾患の病態（チアノーゼ性か非チアノーゼ性か、肺血流増加型か減少型か）を知る。</p> <p>57. 先天性心疾患の外科治療における姑息的手術とその意義を知る。</p> <p>58. 緊急に外科治療を必要とする先天性心疾患につき理解を深める。</p> <p>59. 大動脈疾患の種類と外科治療の適応につき説明できる。</p> <p>60. 緊急手術を必要とする大動脈疾患について理解する。</p> <p>61. 大動脈疾患の外科治療において問題となる合併症を考察できる。</p> <p>62. 閉塞性動脈疾患の画像診断について理解する。</p> <p>63. 大動脈瘤の画像診断について理解する。</p> <p>64. 急性大動脈解離の病態、診断、治療について理解する。</p> <p>65. 閉塞性動脈硬化症の病態、外科治療について理解する。</p> <p>66. 閉塞性動脈疾患に対するインターベンションの適応と手技、合併症を説明できる。</p> <p>67. 大動脈瘤・解離に対するインターベンションの適応と手技、合併症を説明できる。</p> <p>68. 静脈血栓症に対するインターベンションの適応と手技、合併症を説明できる。</p>
評価方法	<p>本試験予定：2020年2月7日（金） 2時限目</p> <p>再試験予定：2020年3月23日（月） 17:00～18:00</p>
教科書・参考書	<p>教科書： 循環器内科学：内科学 杉本恒明 小俣政男総編集（朝倉書店）</p> <p>参考書： 循環器内科学：Heart disease Braunwald (A Textbook of Cardiovascular Medicine W. B. Saunders Co.) The Heart Hurst (Mc Graw-Hill Co) 胸部・心臓血管外科学：Cardiac Surgery kirklin/Barratt-Boyes 先天性心疾患：臨床発達心臓病学 高尾篤良、他、編(中外医学社) 薬理学：Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics, 13th Edition. (McGraw-Hill) カッツング・薬理学（原書8版）（丸善） New薬理学（南江堂） カラー 新しい薬理学（西村書店） 病理診断学：Robbins Basic Pathology, 10th Edition (Elsevier) ルービン病理学 臨床医学への基盤（鈴木利光、他 監訳）（西村書店）</p>
授業計画	<p>2019年12月6日（金）</p> <p>1時限目 心エコー図 (循環器内科学：岡山悟志先生)</p> <p>2時限目 心電図1 (循環器内科学：川上利香先生)</p> <p>3時限目 心電図2 (循環器内科学：川上利香先生)</p> <p>2019年12月11日（水）</p> <p>4時限目 心不全 (循環器内科学：斎藤能彦先生)</p> <p>5時限目 重症心不全の外科的治療 (胸部・心臓血管外科学：武輪能明先生)</p> <p>6時限目 狭心症 (循環器内科学：橋本行弘先生)</p> <p>2019年12月13日（金）</p> <p>1時限目 高血圧 (循環器内科学：中川 仁先生)</p> <p>2時限目 二次性高血圧 (循環器内科学：中川 仁先生)</p> <p>3時限目 弁膜症の外科的治療 (胸部・心臓血管外科学：早田義宏先生)</p> <p>2019年12月16日（月）</p> <p>1時限目 心筋梗塞 (循環器内科学：上田友哉先生)</p> <p>2時限目 心筋症 (循環器内科学：尾上健児先生)</p> <p>3時限目 弁膜症 (循環器内科学：渡邊真言先生)</p> <p>2019年12月18日（水）</p> <p>4時限目 大動脈疾患の外科的治療 (胸部・心臓血管外科学：廣瀬友亮先生)</p> <p>5時限目 末梢血管疾患の外科的治療 (胸部・心臓血管外科学：廣瀬友亮先生)</p> <p>6時限目 先天性心疾患（1） (先天性心疾患センター：上村秀樹先生)</p> <p>2019年12月20日（金）</p> <p>1時限目 虚血性心疾患の非薬物治療 (循環器内科学：添田恒有先生)</p> <p>2時限目 心不全治療薬 (薬理学：吉栖正典先生)</p> <p>3時限目 動脈硬化と心筋梗塞の病理 (病理診断学：畠山金太先生)</p> <p>2020年 1月 6日（月）</p> <p>1時限目 降圧薬 (薬理学：吉栖正典先生)</p> <p>2時限目 脂質異常症治療薬 (薬理学：吉栖正典先生)</p> <p>3時限目 大動脈疾患・血管炎の病理 (病理診断学：畠山金太先生)</p> <p>2020年 1月 8日（水）</p> <p>1時限目 虚血性心疾患の外科的治療 (胸部・心臓血管外科学：阿部毅寿先生)</p> <p>2時限目 先天性心疾患（2） (先天性心疾患センター：上村秀樹先生)</p> <p>3時限目 先天性心疾患（3） (先天性心疾患センター：上村秀樹先生)</p> <p>2020年 1月10日（金）</p> <p>4時限目 心筋炎・心筋症・弁膜症・心臓腫瘍の病理 (病理診断学：畠山金太先生)</p> <p>5時限目 狭心症の治療薬 (薬理学：吉栖正典先生)</p> <p>6時限目 抗凝固療法 (薬理学：吉栖正典先生)</p> <p>2020年 1月15日（水）</p> <p>1時限目 不整脈（1） (循環器内科学：西田 卓先生)</p> <p>2時限目 不整脈（2） (循環器内科学：西田 卓先生)</p> <p>3時限目 循環器疾患の画像診断 (循環器内科学：岡山悟志先生)</p> <p>2020年 1月24日（金）</p> <p>4時限目 抗不整脈薬 (薬理学：吉栖正典先生)</p> <p>5時限目 全身病と心臓 (循環器内科学：尾上健児先生)</p> <p>6時限目 血管疾患の画像診断とIVR（画像下治療） (放射線医学：吉川公彦先生)</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：呼吸器内科学講座 関連担当講座：胸部・心臓血管外科学、小児科学、放射線医学、薬理学、病理診断学		
概要	呼吸器疾患患者の診療の基本を理解するために、呼吸器疾患の病態、診断法、治療法を習得する。		
目標	呼吸器疾患の主訴と症候を理解する。 呼吸器疾患と全身状態の関連について理解する。 呼吸機能の測定法とその解釈について理解する。 呼吸器領域の画像診断について理解する。 呼吸器疾患の治療薬についてその薬理学を理解する。 間質性肺疾患の病態・診断・治療法について説明できる。 閉塞性肺疾患の病態・診断・治療法について説明できる。 職業性肺疾患の病態について説明できる。 呼吸器感染症の病態・診断・治療法について説明できる。 気管支喘息・アレルギー性肺疾患の病態・診断・治療法について説明できる。 小児の気管支喘息の特徴・診断・治療法について説明できる。 呼吸不全の病態・治療法について説明できる。 肺循環障害の病態・診断・治療法について説明できる。 胸膜疾患について理解する。 腫瘍性肺疾患の病態・診断・内科および外科の治療法について説明できる。 良性肺疾患の外科の治療法について理解する。		
評価方法	本試験予定：2020年2月6日(木) 4時限目 再試験予定：2020年3月19日(木) 17:00～18:00		
教科書・参考書	<p>教科書： 標準呼吸器病学 泉 孝英 編 医学書院 図解 呼吸器内科学テキスト 長瀬隆英、永田泰自 編 中外医学社 チャートで学ぶ病態生理学 川上義和 編 中外医学社 内科鑑別診断学 杉本恒明、小俣政男 編 朝倉書店 小児科学新生児テキスト 改訂第3版 阿部敏明 他 診断と治療社 胸部のCT 池添潤平、村田喜代史 編著 医学書院 新版 胸部単純X線診断 画臓の成り立ちと読影の進め方 林 邦昭、中田 肇、編著 秀潤社 呼吸器外科学 正岡 昭 監修、藤井義敬 編集 南山堂 肺切除術一局所解剖と手術手技― 荒井他嘉司・塩沢正俊 著 朝倉書店</p> <p>参考書： 呼吸器疾患最新の治療2016-2018 杉山幸比古、門田淳一、弦間昭彦 編 南江堂 呼吸調節のしくみ ベッドサイドへの応用 川上義和 編 文光堂 呼吸ケアハンドブック 木田厚瑞、久保恵嗣、木村 弘 編 医学書院 Nelson : Textbook of pediatrics (20th ed.) Robert M Heinzman's The Lung : Radiologic Pathologic Correlations 3rd ed. Stuart A. Groskin Mosby Goodman&Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics, 10th Edition. McGraw-Hill カッツング薬理学 (原書10版) 丸善 New薬理学 (改訂第6版) 南江堂</p>		
授業計画	<p>2019年12月10日(火)</p> <p>1時限目 呼吸器疾患の総論と症候学 (呼吸器内科：室 繁郎)</p> <p>2時限目 慢性閉塞性肺疾患(1) (呼吸器内科：室 繁郎)</p> <p>3時限目 慢性閉塞性肺疾患(2) (呼吸器内科：室 繁郎)</p> <p>2019年12月12日(木)</p> <p>1時限目 呼吸器病治療薬 (薬理学：吉栖正典)</p> <p>2時限目 呼吸器病治療薬 (薬理学：吉栖正典)</p> <p>3時限目 呼吸器病治療薬 (薬理学：吉栖正典)</p> <p>2019年12月17日(火)</p> <p>1時限目 肺結核と非結核性抗酸菌症 (呼吸器内科：吉川雅則)</p> <p>2時限目 呼吸器の機能診断 (呼吸器内科：吉川雅則)</p> <p>3時限目 呼吸器疾患の診察法 (済生会吹田病院：長 澄人)</p> <p>2019年12月19日(木)</p> <p>1時限目 酸素療法と人工呼吸管理・ARDS (呼吸器内科：山内基雄)</p> <p>2時限目 睡眠時無呼吸症候群と生活習慣病 (呼吸器内科：山内基雄)</p> <p>3時限目 気管支喘息関連疾患(1) (呼吸器内科：藤田幸男)</p> <p>2019年12月20日(金)</p> <p>4時限目 気管支喘息関連疾患(2) (呼吸器内科：藤田幸男)</p> <p>5時限目 間質性肺疾患(1) (呼吸器内科：山本佳史)</p> <p>6時限目 間質性肺疾患(2) (呼吸器内科：山本佳史)</p>		

	<p>2020年1月7日(火) 4時限目 肺血栓塞栓症と肺高血圧 (奈良県総合医療センター：伊藤武文) 5時限目 良性肺疾患の外科治療 (呼吸器外科：川口剛史) 6時限目 肺癌の外科治療 (呼吸器外科：澤端章好)</p> <p>2020年1月9日(木) 1時限目 呼吸器領域の画像診断 (放射線医学：岡田博司) 2時限目 呼吸器領域の画像診断 (放射線医学：岡田博司) 3時限目 小児の気管支喘息 (小児科学：荻原健一)</p> <p>2020年1月14日(木) 4時限目 呼吸器疾患(病理)(1) (病理診断学：大林千穂) 5時限目 呼吸器疾患(病理)(2) (病理診断学：大林千穂) 6時限目 呼吸器疾患(病理)(3) (病理診断学：大林千穂)</p> <p>2020年1月23日(木) 4時限目 呼吸器領域の画像診断 (放射線医学：尾辻秀章) 5時限目 呼吸器感染症の診断と治療 (奈良医療センター：玉置伸二) 6時限目 肉芽腫性・アレルギー性肺疾患 (南奈良総合医療センター：甲斐吉郎)</p> <p>2020年1月29日(水) 1時限目 高齢者の肺疾患 (吉野病院：福岡篤彦) 2時限目 職業性肺疾患 (済生会中和病院：徳山 猛) 3時限目 全身性疾患と肺病変 (呼吸器内科：太田浩世)</p> <p>2020年2月3日(月) 1時限目 胸膜疾患 (呼吸器内科：田崎正人) 2時限目 肺癌の診断と治療(1) (呼吸器内科：本津茂人) 3時限目 肺癌の診断と治療(2) (呼吸器内科：本津茂人)</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	<p>医師として最低限必要な呼吸器機能および呼吸器領域の疾患を理解し、知識を習得してほしい。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	<p>コース担当講座：放射線医学（責任者：吉川公彦教授） 教授：吉川公彦 准教授：田中利洋 非常勤講師：阪口 浩、尾辻秀章、田岡俊昭、穴井洋、高濱潤子 講師：伊藤高広、西尾福英之、市橋成夫 助教：明珍 薫、越智朋子、正田哲也、岩越真一 関連担当講座：中央放射線部 准教授：丸上永晃 助教：宮坂俊輝 関連担当講座：総合画像診断センター 病院教授：平井都始子 講師：岡田博司 助教：丸上亜希、佐藤健司、山内哲司</p>		
概要	<p>1) 臨床における放射線診断の位置づけと価値を理解するために、診断学の基礎を理論的に把握する。 2) IVR(Interventional Radiology：放射線診断技術の治療的応用)の役割を習得する。</p>		
目標	<p>1) 放射線医学の基本的事項を理解する。 2) 単純X線写真の画像の成り立ちと所見を説明できる。 3) 各種造影検査と造影剤の基本的事項を理解する。 4) CTの原理、画像診断における役割を理解する。 5) MRIの原理、画像診断における役割を理解する。 6) 血管造影・IVRの手技と有用性を理解する。 7) 超音波の原理、画像の成り立ちと所見を理解する。 8) 消化管造影の手技、画像診断における役割を理解する。 9) 核医学の原理、画像診断における役割を理解する。</p>		
評価方法	<p>本試験予定：2020年2月4日（火）4限目 再試験予定：2020年3月10日（火）17:00～18:00</p>		
教科書・参考書	<p>教科書： 標準放射線医学 有水 昇 監修 医学書院 TEXT放射線医学 蜂屋順一 酒井邦夫 平木祥夫 編 南山堂</p> <p>参考書： Radiology Review Manual (wolfgang Dahnert) Meyers' Dynamic Radiology of the Abdomen (Springer) Osborn's Brain: Imaging, Pathology, and Anatomy (Lippincott Williams & Wilkins) Principles of chest Roentgenology (Felson) IVRマニュアル 第2版 栗林幸夫 中村健治 他編 金芳堂 放射線医学消化管 画像診断・IVR 監修 杉村和朗 編集 廣田省三 村上卓道</p>		
授業計画	<p>2020年 1月22日(水) 4限目 画像診断・IVR総論 吉川公彦 5限目 血管系IVR 市橋成夫 6限目 胸部画像診断 岡田博司</p> <p>2020年 1月28日(火) 4限目 腹部画像診断 平井都始子 5限目 CT・MRI・超音波・核医学総論 丸上永晃 6限目 脳神経画像診断 宮坂俊輝</p> <p>2020年 1月29日(水) 4限目 泌尿・生殖器画像診断 高濱 潤子 5限目 消化管造影 伊藤 高広 6限目 Oncology IVR 田中 利洋</p>		
学生へのメッセージ等			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：脳神経外科学、脳神経内科学 関連担当講座：精神医学、泌尿器科学、放射線医学、麻酔科学、病理診断学、薬理学
概要	1) 神経疾患に関する正確な知識を得るために、神経系の発生、局所解剖、病態生理、神経症候学を理解する。 2) 主要な神経疾患の適切な診断と治療方針の決定ができる能力を獲得するために、系統的な神経診察法・補助検査法と、EBMに基づく治療法を理解し修得する。
目標	1 主要な神経症候の原因を列挙し病態と関連づけできる。 2 神経疾患の画像所見が説明できる。 3 脳ヘルニアの種類と症候を説明できる。 4 虚血性脳脊髄血管障害の分類、病態、治療、予防を説明できる。 5 出血性脳脊髄血管障害の分類、病態、治療、予防を説明できる。 6 主な脳・脊髄腫瘍の臨床病理学的な病態を概説できる。 7 頭部脊椎外傷の分類を説明できる。 8 先天性脳脊髄奇形の症状と病態を説明できる。 9 水頭症の種類、症候と診断を説明できる。 10 変形性脊椎症の病態と神経症候を説明できる。 11 脳、脊髄変性疾患（認知症、脱髄疾患を含む）の症候、診断、病態を概説できる。 12 神経系感染症の分類、症候、診断、治療を説明できる。 13 末梢神経障害の分類、症候、診断、治療を説明できる。 14 筋疾患の分類、症候、診断を説明できる。 15 神経筋接合部疾患の病態、症候、診断、治療を説明できる。 16 痲呆性疾患の分類、病態、診断、治療を説明できる。 17 てんかん（小児を含む）の分類、診断と治療を説明できる。 18 疾患の診断と治療を通じてインフォームドコンセントの必要性とリスクマネージメントの重要性を示すことができる。
評価方法	本試験予定：2020年5月11日（月）4時限目 再試験予定：2020年6月23日（火）17：00～18：00 脳神経内科学 2020年6月24日（水）17：00～18：00 脳神経外科学
教科書・参考書	教科書： 脳神経内科：臨床神経内科学（平山恵造 編 南山堂） Merritt's Textbook of Neurology (L. P. Rowland 編著) ベッドサイドの神経の診かた（斎藤佳雄、田崎義昭 南山堂） 脳神経外科：標準脳神経外科（山浦 晶、田中隆一、児玉南海雄 共著 医学書院） 麻酔科：標準麻酔科学（宮崎正夫、他 編 医学書院） 泌尿器科：Text 泌尿器科学 New 泌尿器科学 病理診断学：組織病理アトラス（小池盛雄 他 編分光堂） 参考書： 脳神経内科：特に指定しない。症例からよく学び、関連の書物文献を良く読むこと。 脳神経外科：脳神経外科学体系（山浦 晶 総編集、橋本信夫 専門編集、児玉南海雄、河瀬 斌、吉田 純、橋本信夫 編集 中山書店） Neurosurgery (Youmans著 Saunders社) 脳神経外科（太田富雄 著 金芳堂） 精神科：現代臨床精神医学（大熊輝雄 著 金原出版） 麻酔科：脳神経外科麻酔ハンドブック（奥村福一郎 編 南江堂） ペインクリニック診断・治療ガイド（若杉文吉 監修 日本醫事新報社） 放射線科：DIAGNOSTIC IMAGING BRAIN (Anne G. Osborn, MD, FACR 著 AMIRSYS) DIAGNOSTIC IMAGING SPINE (Jeffrey S. Ross, MD 著 AMIRSYS) 泌尿器科：図説泌尿器科学講座（メディカルビュー社） 病理診断学：外科病理学（向井 清 他 編 分光堂） 薬理学：Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics, 10th Edition. (McGraw-Hill) カッツング・薬理学（原書8版）（丸善） New薬理学（南江堂）
授業計画	2020年2月10日（月） 1限目 9：00～10：00 麻酔科 ペインクリニック 渡邊恵介 2限目 10：10～11：10 麻酔科 神経疾患の周術期管理 林浩伸 3限目 11：20～12：20 精神科 精神病理と精神療法 人見一彦 2020年2月13日（木） 4限目 13：10～14：10 脳神経内科 パーキンソン病 形岡博史 5限目 14：20～15：20 脳神経内科 頭痛、神経系感染症 形岡博史 6限目 15：30～16：30 脳神経内科 脳幹障害と脳神経障害 桐山敬生 2020年2月17日（月） 1限目 9：00～10：00 脳神経外科 最新脳神経外科 中瀬裕之 2限目 10：10～11：10 脳神経外科 脊椎外科（脊髄腫瘍） 竹島靖浩

3限目	11:20~12:20	脳神経外科	てんかん外科 田村健太郎
2020年2月20日(木)			
4限目	13:10~14:10	脳神経内科	神経系の一般特性 江浦信之
5限目	14:20~15:20	脳神経内科	脳血管障害 斎藤こずえ
6限目	15:30~16:30	脳神経内科	脳血管障害 斎藤こずえ
2020年2月27日(木)			
1限目	9:00~10:00	脳神経外科	間脳下垂体腫瘍 西村文彦
2限目	10:10~11:10	脳神経外科	神経病理 中村光利
3限目	11:20~12:20	放射線科	脊椎・脊髄疾患の画像診断 宮坂俊輝
2020年3月2日(月)			
4限目	13:10~14:10	脳神経外科	脳血管障害の外科治療(血管内治療も含む) 山梨大学脳神経外科 教授・木内博之
5限目	14:20~15:20	脳神経外科	頭部外傷 古家一洋平
6限目	15:30~16:30	脳神経外科	脳動脈瘤、くも膜下出血 本山靖
2020年3月9日(月)			
4限目	13:10~14:10	脳神経外科	脳血管内治療 中川一郎
5限目	14:20~15:20	脳神経外科	AVM解離その他 飯田淳一
6限目	15:30~16:30	脳神経内科	筋疾患 杉江和馬
2020年3月19日(木)			
4限目	13:10~14:10	脳神経外科	悪性脳腫瘍(神経上皮腫、転移性脳腫瘍) 松田良介
5限目	14:20~15:20	脳神経外科	機能的疾患 平林秀裕
6限目	15:30~16:30	脳神経外科	脳腫瘍(髄膜腫、神経鞘腫) 橋本宏之
2020年3月23日(月)			
4限目	13:10~14:10	薬理学	パーキンソン病治療薬 趙晶
5限目	14:20~15:20	脳神経外科	脳血管障害(虚血性) 川口正一郎
6限目	15:30~16:30	泌尿器科	神経因性膀胱 鳥本一匡
2020年3月26日(木)			
1限目	9:00~10:00	脳神経内科	脊髄小脳変性症 江浦信之
2限目	10:10~11:10	脳神経内科	神経筋接合部疾患 小林恭代
3限目	11:20~12:20	脳神経内科	認知症疾患 小林恭代
2020年4月7日(火)			
4限目	13:10~14:10	脳神経内科	運動ニューロン疾患 岩佐直毅
5限目	14:20~15:20	脳神経内科	神経筋疾患のリハビリ 眞野智生
6限目	15:30~16:30	脳神経内科	脱髄疾患 桐山敬生
2020年4月9日(木)			
4限目	13:10~14:10	脳神経外科	小児脳神経外科 朴永鉄
5限目	14:20~15:20	脳神経外科	水頭症、感染症、三叉神経痛 山田修一
6限目	15:30~16:30	脳神経外科	変形性脊椎症・OPLL 二階堂雄次
2020年4月10日(金)			
4限目	13:10~14:10	病理診断学	中枢神経変性疾患の病理 島田啓司
5限目	14:20~15:20	病理診断学	中枢神経変性疾患の病理 島田啓司
6限目	15:30~16:30	脳神経外科	脳腫瘍(血管芽腫、悪性リンパ腫、胚細胞腫) 米澤泰司
2020年4月15日(水)			
1限目	9:00~10:00	脳神経内科	大脳と高次機能 眞野智生
2限目	10:10~11:10	脳神経内科	不随意運動 泉 哲石
3限目	11:20~12:20	脳神経内科	末梢神経障害 泉 哲石

学生へのメッセージ等

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			

教育スタッフ	コース担当講座：整形外科学
概要	1) 運動器疾患の原因の知識を得るため、機能解剖に精通し、病因および病態を理解して診断を組み立てる。 2) 整形外科疾患の診断をたてるため、系統的な検査方法や治療方法を理解する。
目標	1) 骨筋肉、神経血管の構造を理解する。 2) 骨筋肉、神経血管の非観血及び観血的治療の種類や方法を説明する。骨折や捻挫、脱臼さらに筋挫傷や、神経血管損傷に対する診断や保存的あるいは観血的治療について理解する。 3) 変形性関節症の病態と鑑別疾患について理解し、関節鏡を用いた手術や骨切り術、人工関節等の治療適応について説明出来る。 4) 脊椎疾患と末梢神経疾患の鑑別ができ、治療法を述べる事が出来る。 5) リハビリテーションの方法とその目的や有用性を述べる事が出来る。 6) 先天異常や小児整形外科疾患を分類し、理解する。 7) 関節リウマチの概念、症状、それに対する治療について説明出来る。 8) 四肢・脊椎外傷についての診断と対処方法が適切かつ迅速に行える知識を取得する。 9) スポーツ傷害の診断と治療について理解し、説明出来る。
評価方法	本試験予定：2020年5月12日（火）2時限目 再試験予定：2020年6月25日（木）17：00-18：00
教科書・参考書	教科書：標準整形外科学（医学書院） 参考書： 整形外科クルズス（南江堂） 整形外科シラバス（南江堂） 新図説臨床整形外科講座（メジカルビュー社） 図解整形外科診察の進め方（医学書院） 最新整形外科学大系（中山書店） Edmonson and Crenshaw: Campbell's Orthopaedics (Mosby) 足の臨床（メジカルビュー社） 肩の臨床（メジカルビュー社）
授業計画	2020年2月10日（月） 5時限目 整形外科概論 田中康仁 6時限目 整形外科診断学 田中康仁 2020年2月17日（月） 4時限目 関節リウマチ 原 良太 2020年3月17日（火） 1時限目 骨髄炎、骨端症 河村健二 2時限目 股関節疾患 内原好信 3時限目 リハビリテーション医学と運動器・骨系統疾患 城戸 顕 4時限目 骨軟部腫瘍 朴木寛弥 5時限目 足関節疾患 谷口 晃 6時限目 小児整形 藤井宏真 2020年3月24日（火） 1時限目 脊椎・脊髄疾患（1） 重松英樹 2時限目 脊椎・脊髄疾患（2） 重松英樹 3時限目 膝関節・スポーツ傷害疾患 小川宗宏 4時限目 軟部腫瘍・骨腫瘍の病理（1） 廣瀬隆則 5時限目 軟部腫瘍・骨腫瘍の病理（2） 廣瀬隆則 6時限目 人工関節の現況 稲垣有佐 2020年4月6日（月） 1時限目 脊髄損傷のリハビリテーション 林 雅弘 2時限目 上肢1 面川庄平 3時限目 上肢2 面川庄平 2020年4月7日（火） 2時限目 末梢神経 清水隆昌 3時限目 脳性麻痺 奥村元昭
学生へのメッセージ等	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	<p>コース担当講座：精神医学 関連担当講座：薬理学</p> <p>教授：岸本 年史・飯田 順三（看護学科）・吉栖 正典（薬理学） 准教授：芳野 浩樹 講師：牧之段 学・山内 崇平・中平 毅一（薬理学） 学内講師：太田 豊作・紀本 創兵・鳥塚 通弘 非常勤講師：大谷 浩一・切池 信夫・人見 一彦・大野 裕・池淵 恵美・三村 将・岡野 栄之・松岡 出・高橋 茂樹・井上 雄一・中村 祐・岩坂 英己・定松 美幸・島本 卓也・法山 良信・森川 将行・井上 眞・井上 雄一朗・根来 秀樹・安野 史彦・小坂 淳・橋本 和典・深見 伸一・岸本 直子 助教：趙 晶（薬理学）・松田 康裕・北村 聡一郎・山室 和彦・盛本 翼・岡村 和哉・原田 泉美・岡崎 康輔・小森 崇史・高橋 誠人・西畑 陽介</p>
概要	<p>1) 他科医になる者にとって必要とされる精神医学を学習する。精神科以外の科の医師になる者に役立つ精神医学。</p> <p>2) 精神医学全般について学習する。卒後専門教育で行うことは含めない。</p> <p>3) 国家試験で必要とされる知識と技能を身につける。国家試験のガイドラインとなりうる範囲とレベルを認定する。</p> <p>4) 講義だけでなく臨床実習も含めて能動的に学習し、精神疾患の一応の鑑別ができるようになる。実習ならびにAV機器なども多用する。</p> <p>5) プライマリーケアや救急時の処置ができるようになる。基本的な薬物治療について知る。</p> <p>6) 精神疾患や精神障害者の本質的な問題について、生物学的、心理学的、および社会医学的な視点からの問題意識をもつ。</p>
目標	<p>① 面接技法</p> <p>1) 患者や医師が納得し、正確な状態態を把握するための巧みな面接技法の要点を説明することができる。</p> <p>2) 患者自身の問題や人格とは関係なく、敬意を示したり、共感的態度をとったり、傾聴したりすることができる。</p> <p>3) 患者の態度から、言語的、非言語的な感情表現を認識し、患者を評価し治療する上で、それらの情報を活用できる。</p> <p>4) 次のような面接技法を使える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに面接を導入できる ・疎通性を確立する ・始まりと終わりの質問を適切に行える ・答えにくい質問を尋ねられる ・病気やその治療についての患者の考え方や関心、疑問、感情を導き出し、それらを把握できる ・面接を適切に終了できる <p>5) 次のような誤解を招く面接技法を避ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の訴えを不必要に遮ったり無視したりする ・長くまとまりのない質問をする ・なれなれしい話し方や汚い言葉遣いをする ・医師に迎合するように患者に答えさせる ・患者の言語的、非言語的訴えを無視する ・突然話題をかえたり、重要な質問を最後までしなかつたりする ・患者の社会的背景や訴えによって、患者に対する態度を変える <p>② せん妄と認知症、局在性脳疾患</p> <p>1) 病因や解剖、病態生理が明らかな脳疾患の精神症状と異常行動を認識できる。</p> <p>2) せん妄と認知症、治療の可能な認知症 (treatable dementia)、仮性認知症、皮質認知症、皮質下認知症についてそれぞれの定義を述べ、例をあげることができる。</p> <p>3) せん妄の臨床像を述べ、鑑別診断について述べるができる。</p> <p>4) せん妄患者に対する対応を含む行動学的治療および薬物療法について述べるができる。</p> <p>5) 認知症と仮性認知症を区別する点を述べるができる。</p> <p>6) アルツハイマー病や血管性認知症、パーキンソン病、HIV脳症の疫学、鑑別診断、臨床像、および経過の知識がある。</p> <p>7) 認知症の治療と臨床的特徴についてまとめることができる。</p> <p>8) 認知症の検査や評価とその臨床的対応や治療について要領よく述べるができる。</p> <p>③ 気分障害</p> <p>気分障害の患者を診断および評価し、治療法について説明できる。</p> <p>1) 気分障害の病因論と病態生理について神経生物学的、遺伝学的、心理学的、および環境学的仮説から説明できる。</p> <p>2) 気分障害の疫学的な特徴と有病率、生涯罹病率を説明できる。</p> <p>3) 単極性うつ病と双極性障害の違いを疫学および臨床的な特徴の面から説明できる。</p> <p>4) うつ状態を呈しやすい身体疾患の特徴と症状を説明できる。</p> <p>5) 「仮面うつ病」について説明できる。</p> <p>6) 精神病像を伴ううつ病とそれを伴わないうつ病についての臨床像および治療法について違いを理解する。</p> <p>7) メランコリアを伴ううつ病とそれを伴わないうつ病についての臨床像および治療法について違いを理解する。</p> <p>8) 小児期と成年期の気分障害の臨床的特徴を比較して理解する。</p>

	<p>9) 気分変動症と大うつ病, 双極性障害 (うつ状態と躁状態) における急性期治療と維持療法を含む慢性期の治療について説明できる.</p> <p>10) うつ病の薬物療法以外の治療法, 例えば支持的精神療法や認知療法について説明できる.</p> <p>④ 統合失調症と他の近縁疾患 統合失調症とその近縁疾患の認識や評価, マネージメントの達成度をチェックする. 特に, 以下の事象について理解することが重要である.</p> <p>1) 精神病についての定義について次の二点を中心に理解する. ・統合失調症概念の変遷: Kraepelin と Schneider の概念 ・操作的診断基準: DSM-5と ICD-10</p> <p>2) 一般的身体疾患や感情疾患, 統合失調症などのときに呈する精神病像について背景や臨床的特徴を理解し, 精神病像を呈する患者の鑑別診断ができる.</p> <p>3) 統合失調症の病因論と病態生理について精神生物学的, 遺伝子学的, 心理学的, および環境学的仮説を説明できる.</p> <p>4) 統合失調症の疫学, 臨床症状 (前駆症状, 陽性症状と陰性症状), 経過および合併症についてまとめることができる.</p> <p>5) 予後と関係する統合失調症の臨床的特徴をあげることができる.</p> <p>6) 統合失調症の鑑別診断として妄想性障害や統合失調症型障害, 統合失調症, 感情障害, 短期精神病性障害を比較して述べることができる.</p> <p>7) 統合失調症の治療として薬物療法や精神療法, リハビリテーションを含む社会的治療についてまとめて述べるることができる.</p> <p>⑤ 児童青年期精神医学 児童青年期精神疾患の特殊性を理解し, それぞれの疾患の概念と治療について説明できる.</p> <p>1) 児童青年期における精神的発達課題の特徴を説明できる.</p> <p>2) 面接と診断, 検査の特殊性について説明できる.</p> <p>3) 発達障害の概念と療育の目標を説明できる.</p> <p>4) 児童青年期の神経症性障害の概念と治療について説明できる.</p> <p>5) 児童青年期の精神症性障害の概念と治療について説明できる.</p> <p>6) 不登校といじめ, 家庭内暴力の成因と対処法を説明できる.</p> <p>⑥ 物質使用性障害</p> <p>1) 精神依存と身体的依存についての薬物の特性や薬物使用者の成因, 環境の成因を述べるができる.</p> <p>2) わが国における薬物乱用と依存についての実態を知る.</p> <p>3) アヘン類 (モルヒネ型), 大麻類 (大麻型), 鎮静剤または睡眠薬 (バルビツレート型), コカイン類 (コカイン型), 覚せい剤 (アンフェタミン型) について急性中毒症状, 慢性期の精神・行動障害の特徴について比較して述べるができる.</p> <p>4) 急性アルコール中毒の臨床症状をアルコール血中濃度から述べるができる.</p> <p>5) 普通酩酊と複雑酩酊, 病的酩酊の特徴を述べ, 司法精神医学からの観点から説明することができる.</p> <p>6) アルコール精神病とその後遺症について述べるができる.</p> <p>7) 薬物治療および集団精神療法を含む心理社会的治療について述べることができる.</p> <p>⑦ 精神医学と社会</p> <p>1) 精神科医療の歴史を述べるができる.</p> <p>2) 精神保健福祉法の骨子と成立過程を説明できる.</p> <p>3) わが国の精神医療の現状を説明できる.</p> <p>4) 精神科における「インフォームドコンセント」を説明できる.</p> <p>5) 精神科の入院形態と, そのための手続きを述べるができる.</p> <p>6) 地域精神保健活動のシステムを説明できる.</p> <p>7) 各ライフサイクルにおける発達課題を説明できる.</p> <p>8) 触法精神障害者の処遇について説明できる.</p>
評価方法	<p>本試験予定: 2020年5月13日 (水) 10:10~11:10 再試験予定: 2020年6月29日 (月) 17:00~18:00</p>
教科書・参考書	<p>教科書: 精神科: 中尾弘之 他著 新版現代精神医学 (朝倉書店) 大熊輝雄 著 現代臨床精神医学 (金原出版)</p> <p>参考書: 精神科: Mayer-Gross : Clinical Psychiatry Manfred Bleuler : Lehrbuch der Psychiatrie Harold I. Kaplan : Kaplan and Sadock's Synopsis of Psychiatry 薬理学: Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics, 10th Edition. (McGraw-Hill) カッツング・薬理学 (原書8版) (丸善) New薬理学 (南江堂)</p>
授業計画	<p>2020年2月12日(水)</p> <p>1時限目 精神医学入門と疾病分類 (精神医学: 岸本 年史)</p> <p>2時限目 統合失調症 (精神医学: 岸本 年史)</p> <p>3時限目 不安障害・強迫性障害 (精神医学: 芳野 浩樹)</p> <p>4-5時限目 (13:10-14:40) 神経科学 (精神医学: 岡野 栄之)</p> <p>5-6時限目 (15:00-16:30) 薬物療法 (精神医学: 大谷 浩一)</p> <p>2020年2月19日(水)</p> <p>1, 2時限目 抗精神病薬, 抗うつ薬, 抗躁薬 (薬理学: 中平 毅一)</p> <p>3時限目 双極性障害・抑うつ障害 (精神医学: 牧之段 学)</p> <p>4時限目 自殺・産業保健 (精神医学: 岡村 和哉)</p> <p>5時限目 児童・思春期精神医学 (精神医学: 定松 美幸)</p> <p>6時限目 精神保健福祉法・司法精神医学 (精神医学: 高橋 茂樹)</p> <p>2020年3月4日(水)</p> <p>1, 2時限目 抗不安薬 (薬理学: 中平 毅一)</p> <p>3時限目 パーソナリティ障害・性別違和 (精神医学: 飯田 順三)</p> <p>4時限目 てんかん (精神医学: 紀本 創兵)</p> <p>5時限目 器質性・症状性精神障害 (精神医学: 中村 祐)</p>

	<p>6時限目 認知行動療法 (精神医学：大野 裕)</p> <p>2020年3月11日(水)</p> <p>1, 2時限目 抗てんかん薬 (薬理学：趙 晶)</p> <p>3時限目 嗜癮性障害(アルコール、薬物、ギャンブル) (精神医学：鳥塚 通弘)</p> <p>4時限目 神経発達障害 (精神医学：根來 秀樹)</p> <p>5時限目 摂食障害 (精神医学：切池 信夫)</p> <p>6時限目 脳と精神症状 (精神医学：三村 將)</p> <p>2020年3月18日(水)</p> <p>1時限目 精神科リハビリテーション (精神医学：松田 康裕)</p> <p>2時限目 身体表現性障害、転換性障害・解離性障害 (精神医学：山室 和彦)</p> <p>3時限目 災害と精神医学 (精神医学：盛本 翼)</p> <p>4時限目 PTSD・犯罪精神医学 (精神医学：高橋誠人)</p> <p>5時限目 アルツハイマー病と関連認知症 (精神医学：安野史彦)</p> <p>6時限目 睡眠障害 (精神医学：井上 雄一)</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：呼吸器内科学講座 関連担当講座：輸血部、小児科学、皮膚科学、腫瘍センター、病理診断学		
概要	血液疾患患者の診療の基本を理解するために、血液疾患の病態、診断法、治療法を認識する。		
目標	<p>骨髄・造血器の機能について理解する。 血球の分化、血漿蛋白の種類・機能について理解する。 血液疾患の検査法を理解し、説明できる。 貧血の種類・病態・治療法について説明できる。 骨髄増殖性腫瘍の種類・病態・治療法について説明できる。 骨髄性白血病の種類・病態・検査法について説明できる。 リンパ球の機能について説明できる。 リンパ性白血病の種類・病態・治療法について説明できる。 悪性リンパ腫の種類・病態・治療法について説明できる。 血小板の分化・機能について理解する。 血液凝固・線溶系の病態について理解する。 出血性疾患の種類・病態・治療法について説明できる。 小児の血液疾患・固形腫瘍の種類・病態・治療法について説明できる。 輸血の適応と合併症を説明できる ABO, Rh, 血液型判定と交差適合試験について説明できる 血液製剤の種類と適応を説明できる 同種血輸血、自己血輸血、成分輸血を説明できる 造血幹細胞移植の種類と適応を説明できる 患者に対し、輸血の有効性と危険性を説明できる。</p>		
評価方法	本試験予定：2020年5月13日(水) 4時限目 再試験予定：2020年7月1日(水) 17:00～18:00		
教科書・参考書	教科書： 血液疾患臨床マニュアル 松田保、中村忍 編 中外医学社 小児科学新生児テキスト 改訂第3版 阿部敏明 他 診断と治療社 あたらしい皮膚科学 清水宏 著 中山書店 標準皮膚科学 第9版 瀧川雅浩 監修 医学書院 参考書： 血液病学 三輪史朗、青木延雄、柴田昭 編 文光堂 血液疾患臨床ハンドブック 中村忍、中尾眞二 編著 中山書店 Newlson: Textbook of pediatrics (16th ed.) Saunders 最新内科学大系 第78巻 皮膚の疾患 中山書店 皮膚病理組織診断学入門 齊田俊明 著 南江堂 Mollison's blood transfusion in clinical medicine. Blackwell Pub. 輸血学 遠山博 編. 中外医学社 Practical transfusion medicine Pamphilon Standards for blood banks and transfusion services. American Association of Blood Banks		
授業計画	2020年2月13日(木) 1時限目 リンパ球とリンパ組織 (呼吸器内科：田中 晴之) 2時限目 骨髄腫 (呼吸器内科：田中 晴之) 3時限目 CLL類縁疾患とATL (呼吸器内科：田中 晴之) 2020年2月20日(木) 1時限目 骨髄増殖性腫瘍 (呼吸器内科：田中 晴之) 2時限目 血液疾患の症候と検査 (1) (呼吸器内科：田中 晴之) 3時限目 血液疾患の症状と検査 (2) (呼吸器内科：田中 晴之) 2020年2月27日(木) 4時限目 リンパ球腫瘍の血液病理学(1) (日本バプテスト病院：中峯 寛和) 5時限目 リンパ球腫瘍の血液病理学(2) (日本バプテスト病院：中峯 寛和) 2020年3月2日(月) 1時限目 輸血概論、輸血副作用など (輸血部：松本 雅則) 2時限目 血液事業と血液製剤 (大阪府赤十字血液センター：谷 慶彦) 3時限目 血液型 (藤田保健衛生大学：松井 太衛) 2020年3月9日(月) 1時限目 血液製剤の適応(自己血を含む) (輸血部：早川 正樹) 2時限目 血栓性疾患(TTP+HIT) (輸血部：松本 雅則) 3時限目 血栓性疾患(DIC) (輸血部：早川 正樹) 2020年3月27日(金) 4時限目 小児の白血病 (小児科学：石原 卓) 5時限目 小児の固形腫瘍 (小児科学：石原 卓)		

	<p>6時限目 小児の赤血球疾患 (小児科学：石原 卓)</p> <p>2020年4月8日(水)</p> <p>4時限目 血液疾患の皮膚病変 (皮膚科学：宮川 史)</p> <p>5時限目 血球と血漿蛋白 (呼吸器内科：天野 逸人)</p> <p>6時限目 血小板と凝固因子 (呼吸器内科：天野 逸人)</p> <p>2020年4月13日(月)</p> <p>1時限目 造血幹細胞移植の基礎 (奈良県総合医療センター：八木 秀男)</p> <p>2時限目 悪性リンパ腫(1) (腫瘍センター：吉井 由美)</p> <p>3時限目 悪性リンパ腫(2) (腫瘍センター：吉井 由美)</p> <p>2020年4月22日(水)</p> <p>1時限目 貧血(1) (呼吸器内科：天野 逸人)</p> <p>2時限目 貧血(2) (呼吸器内科：天野 逸人)</p> <p>3時限目 出血性疾患(小児) (小児科学：野上 恵嗣)</p> <p>4時限目 出血性疾患 (呼吸器内科：天野 逸人)</p> <p>2020年5月1日(金)</p> <p>1時限目 骨髄異形成症候群 (呼吸器内科：天野 逸人)</p> <p>2時限目 急性骨髄性白血病 (呼吸器内科：天野 逸人)</p> <p>3時限目 急性リンパ性白血病 (呼吸器内科：天野 逸人)</p>
学生へのメッセージ等	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：胸部・心臓血管外科学 関連担当講座：呼吸器内科学、消化器・総合外科学、整形外科、眼科学、小児科学、皮膚科・形成外科学、免疫学、輸血部、泌尿器科、透析部、口腔外科学、発生・再生医学
概要	移植・再生医学は、細胞・組織および臓器の移植、細胞・組織の再生分化、そして、生態適合性素材にある人工器官・人工臓器の技術を個別的あるいは統合的に応用し、不可逆的あるいは一過性障害を有する疾患に対する細胞・組織・器官の修復、再生と置換制御をめざす医学・医療といえる。 そこで、達成すべき学習目標を下記に挙げる。 ① 移植・再生医学について、講義、症例をとおして理解し説明できる ② 移植・再生医療に関する基礎的技能を臨床実習により習得する ③ 移植・再生医療の対象患者に対する治療方法の有効性と危険性を理解する ④ 移植の免疫学的分類、臓器（肝臓、腎臓、心臓、肺、皮膚、骨髄、角膜）移植における免疫学的特徴を理解する
目標	1) 輸血・造血幹細胞移植 ① 細胞調整施設（CPC）の機能と役割について説明できる ② CPCで調整される細胞の臨床応用について理解する ③ iPS細胞の作成方法を説明できる ④ iPS細胞を用いた医療の利点と欠点を理解する ⑤ 造血幹細胞移植の種類、適応を説明できる ⑥ 造血幹細胞移植の基礎的な技能を習得する ⑦ 患者に接し、造血幹細胞移植による治療の有効性と危険性を理解する 2) 臓器・組織移植 ① 臓器移植組織適合性の関係を説明できる ② 臓器移植後の拒絶反応の病態と発生時の病態を説明できる ③ 臓器移植の種類と適応を説明できる ④ 細胞移植の種類と適応を説明できる ⑤ 免疫抑制剤の種類、適応と副作用を説明できる ⑥ 臓器移植の社会的システムを説明できる ⑦ 臓器・細胞移植の基礎的な技能を習得する ⑧ 患者に接し、臓器・組織移植治療による有効性と危険性を理解する ⑨ 拒絶反応の機序、ドナー選択法について解説できる Snellの法則、GVH、HVG、HLA判定法、MLR、免疫抑制剤の作用機序を解説できる 3) 生体材料・人工臓器 ① 生体材料の種類と適応を説明できる ② 生体材料の生体適合性を説明できる ③ 主な医用機器の種類と原理を説明できる ④ 主な人工器官・人工臓器の種類と原理を説明できる ⑤ 生体材料、医用機器、人工臓器の基礎的な技能を習得する ⑥ 患者に接し、生体材料・人工器官・人工臓器治療による有効性と危険性を理解できる
評価方法	本試験予定：2020年5月7日（木）2時限目 再試験予定：2020年6月15日（月）17：00～18：00
教科書・参考書	教科書： 輸血・造血幹細胞移植学：特に指定なし 臓器・細胞移植学：標準形成外科（医学書院） 生体材料・人工臓器学：小野尊睦 著 口腔外科学 1994（金芳堂） 第4版 参考書： 輸血・造血幹細胞移植学 ○全国国立大学附属病院輸血部会議 輸血医学カリキュラム委員会編 輸血医学（金芳堂） ○月本一郎 他著 小児輸血療法（南江堂） ○森下剛久 他著 造血幹細胞移植マニュアル（日本医学館） 臓器・細胞移植学 ○厚生省保健医療局臓器移植対策室 監修 脳死判定・臓器移植ハンドブック 1998/1999 ○日本移植学会、日本病理学会 編 ヒト移植臓器拒絶反応の病理組織診断基準：鑑別診断と生検標本の取扱（図譜）1998 ○Thomas E. Starzl, Ron Shapiro, Richard L. Simmons. Atlas of organ transplantation, over 1992 ○S. Thirn & H. Waldmann. Pathology and Immunology of Transplantation and Rejection. Blackwell Science 2001 ○B. D. Kahan & C. Ponticelli. Principle and Practice of Renal Transplantation. Martin Dunitz 2000 ○Ronald W. Busuttil, Goran B. Klintmalm. Transplantation of the liver, 1996 ○Howard, Idezuki, Ihse, Prinz. Surgical Diseases of the Pancreas. 3rd ed. Williams & Wilkins 1998 ○William A. Baumgartner, Bruce A. Reitz, Stephen C. Achuff. Heart and heart-lung transplantation, 1990 ○泌尿器科 Gabriel M. Danovitch. Handbook of Kidney Transplantation. 4th ed. Lippincott Williams & Wilkins ○高橋公太 編：腎移植のすべて。2009（メディカルビュー社・東京） ○眼科診療プラクティス51巻 角膜移植とアイバンク（文光堂） ○形成外科手術書（南江堂）

	<p>○標準形成外科（医学書院） 生体材料・人工臓器学 ○上田 実 編：ティッシュ・エンジニアリング 初版 1999（名古屋大学出版会） ○奥津芳夫、磨田裕 編：改訂新版 図説ICU 呼吸管理編 真興交易医書出版部2007年 ○3学会（日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔学会）合同呼吸療法認定士認定委員会編集 呼吸療法テキスト改訂第2版 克誠堂出版 2005 移植免疫学 ○Basic Medical Science 2nd Yearで推薦した本</p>
授業計画	<p>2020年2月14日（金） 1時限目 皮膚移植：概念、適応と術式（皮膚科・形成外科学：桑原 理充） 2時限目 皮膚及び外表異常における形成再建外科：概論（皮膚科・形成外科学：桑原 理充） 3時限目 皮膚及び外表異常における形成再建外科：対象疾患、術式と転帰（皮膚科・形成外科学：桑原 理充）</p> <p>2020年2月21日（金） 1時限目 造血幹細胞移植の臨床（呼吸器内科学：天野 逸人） 2時限目 E S細胞と組織幹細胞の生物学（発生・再生医学：栗本 一基） 3時限目 小児の造血幹細胞移植（小児科学：石原 卓）</p> <p>2020年2月28日（金） 1時限目 腎臓移植：概念、適応と術式（透析部：米田 龍生） 2時限目 拒絶反応と免疫抑制療法（透析部：米田 龍生） 3時限目 臓器移植と社会システム（透析部：米田 龍生）</p> <p>2020年3月5日（木） 1時限目 角膜移植、人工角膜など（眼科学：辻中 大生） 2時限目 整形外科領域における再生医療の基礎と臨床（整形外科学：稲垣 有佐） 3時限目 肺移植：概念、適応と術式（胸部・心臓血管外科学：澤端 章好）</p> <p>2020年3月6日（金） 1時限目 肝移植、小腸移植、膵島移植：概念、適応と術式（消化器・総合外科学：金廣 裕道） 2時限目 移植免疫Ⅰ（免疫学：伊藤 利洋） 3時限目 移植免疫Ⅱ（免疫学：伊藤 利洋）</p> <p>2020年3月19日（木） 1時限目 整形外科領域における各種移植術の基礎と臨床（整形外科学（手の外科学講座）：面川 庄平）</p> <p>2020年3月23日（月） 1時限目 心移植：概念、適応と術式（胸部・心臓血管外科学：谷口 繁樹） 2時限目 再生医療と規則（輸血部：木村 貴文） 3時限目 i PS細胞の臨床対応（輸血部：木村 貴文）</p> <p>2020年4月28日（火） 1時限目 口腔疾患における移植・再生（Ⅰ）（口腔外科学：柳生 貴裕） 2時限目 口腔疾患における移植・再生（Ⅱ）（口腔外科学：柳生 貴裕）</p>
学生へのメッセージ等	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：消化器内科学 関連担当講座：小児科学、病理診断学、糖尿病・内分泌内科学		
概要	1) 内分泌・代謝系の調節機構を理解するために、内分泌腺とホルモン並びに受容体についての知識を修得する。 2) 内分泌疾患および代謝疾患の病態とその診断と治療について理解するために、内分泌・代謝系の破綻を来たす原因と診断に必要な検査法についての知識を修得する。		
目標	1) 視床下部・下垂体系の内分泌調節機構について述べるができる。 2) 下垂体機能低下症の概念と病因ならびに診断と治療について述べるができる。 3) 先端巨大症とプロラクチノーマの診断と内科的治療について述べるができる。 4) 下垂体腫瘍の術前・術後の評価ができ、手術法が説明できる。 5) 下垂体後葉と抗利尿ホルモンの調節機構を概説し、尿崩症の診断と治療について述べるができる。 6) ADH分泌不適合症候群の病因と診断ならびに治療について述べるができる。 7) 低身長の原因と成長ホルモン分泌不全性低身長の診断と治療について述べるができる。 8) 低身長を伴う内分泌疾患を提示し、各疾患についての診断と治療を概説する。 9) 甲状腺の触診と甲状腺機能検査について概説し、甲状腺機能亢進症の診断と治療について述べるができる。 10) 甲状腺機能低下症の原因疾患と各疾患の診断と治療について述べるができる。 11) カルシウム調節に関する副甲状腺の機能を概説し、原発性副甲状腺機能亢進症、特発性副甲状腺機能低下症の診断と治療について述べるができる。 12) 甲状腺と副甲状腺疾患に対する外科的治療の適応と実際について述べるができる。 13) 副腎皮質におけるステロイド合成について概説し、副腎皮質機能低下症の診断と治療について述べるができる。 14) クッシング症候群を概説し、その診断と治療について述べるができる。 15) レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系を概説し、原発性アルドステロン並びに二次性アルドステロン症について述べるができる。 16) 副腎髄質におけるカテコールアミンの合成過程を概説し、褐色細胞腫の診断と治療について述べるができる。 17) 副腎の腫瘍性疾患に対する外科的治療の適応とその実際について述べるができる。 18) 男子性腺機能低下症の病因分類を概説し、それらの診断と治療について述べるができる。		
評価方法	本試験予定：2020年5月8日（金）4時限目 再試験予定：2020年6月19日（金）17:00～18:00		
教科書・参考書	参考書：（岡本新悟所蔵：必要に応じて参照可能） Williams Textbook of Endocrinology 11th Ed. (Willson & Foster : Saunders) Endocrinology 3rd Ed. (Leslie J. DeGroot : Saunders) The thyroid 8th Ed. (Werner & Ingbar : LW & Wilkins) 内分泌代謝学（中尾一和編 診断と治療社）		
授業計画	2020年2月14日（金） 4時限目 成長ホルモン分泌不全性低身長（小児科：野上 恵嗣） 5時限目 視床下部・下垂体系の調節機構（糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子） 6時限目 下垂体機能低下症の臨床（糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子） 2020年2月21日（金） 4時限目 先端巨大症とプロラクチノーマの臨床（糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子） 5時限目 抗利尿ホルモンと尿崩症（糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子） 6時限目 ADH分泌不適合症候群（S I A D H）（糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子） 2020年2月28日（金） 4時限目 男子性腺機能低下症（糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子） 5時限目 甲状腺機能亢進症（バセドウ病他）（糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子） 6時限目 甲状腺機能低下症（糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子） 2020年3月5日（木） 4時限目 乳腺・内分泌疾患の病理1（病理診断学：中井 登紀子） 5時限目 乳腺・内分泌疾患の病理2（病理診断学：中井 登紀子） 2020年3月6日（金） 4時限目 副甲状腺疾患（糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子） 5時限目 原発性アルドステロン症と関連疾患（糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子） 6時限目 副腎髄質と褐色細胞腫（糖尿病・内分泌内科学：樽松 由佳子） 2020年3月26日（木） 4時限目 副腎皮質機能検査と機能低下症（消化器内科学：増谷 剛） 5時限目 クッシング症候群（消化器内科学：増谷 剛） 6時限目 先天性副腎過形成症（消化器内科学：増谷 剛）		
学生へのメッセージ等			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：眼科学
概要	眼科疾患の診断、治療を行うために視機能および視覚系の病態について理解する。
目標	<p>視覚情報の制御機構を知るために視覚系の構造、機能を理解し、視覚検査の基本的知識を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 全身疾患の検査や治療で視覚異常に対して配慮する。 2) 視力の概念について説明できる。 3) 屈折異常について説明できる。 4) 調節異常について説明できる。 5) 視野の概念について説明できる。 6) 視野から疾患を推定できる。 7) ERG と VEP の波形について説明できる。 8) 色覚異常の検査法を列挙できる。 9) 色覚異常の遺伝について説明できる。 10) 眼球運動の種類について説明できる。 11) 外眼筋の作用について説明できる。 12) 瞳孔運動の種類について説明できる。 13) 対光反射の神経経路について説明できる。 14) 視覚情報の伝達系路について説明できる。 15) 視神経炎の原因疾患と治療法を説明できる。 16) 複視の原因疾患と所見を列挙できる。 17) 弱視の概念について説明できる。 18) 弱視の原因を列挙できる。 19) 斜視と斜位の違いについて説明できる。 20) 外眼部疾患の診断法と治療法を説明できる。 21) ステューブンスジョンソン症候群の眼病変について説明できる。 22) 角結膜の炎症性疾患の診断と治療法について説明できる。 23) 角膜炎の分類と診断について説明できる。 24) 強膜炎の原因疾患を列挙できる。 25) ぶどう膜炎の自覚症状を列挙できる。 26) ぶどう膜炎の眼合併症を説明できる。 27) 原田病の病期と自覚症状について説明できる。 28) ベーチェット病の眼病変と診断基準を説明できる。 29) 水晶体疾患の診断と治療法について説明できる。 30) 水晶体偏位・脱臼の原因疾患を列挙できる。 31) 白内障種々津ん概略と合併症を説明できる。 32) 緑内障の分類を説明できる。 33) 緑内障の視野変化を図示できる。 34) 網膜の血管病変と合併症について説明できる。 35) 眼底写真をみて糖尿病網膜症の病期を判断できる。 36) 高血圧性網膜症の分類について説明できる。 37) 網膜剥離の分類について説明できる。 38) 硝子体出血の原因疾患を列挙できる。 39) 網膜色素変性症の ERG、視野、眼底変化を説明できる。 40) 眼底写真をみて加齢性黄斑変性症と判定できる。 41) 未熟児網膜症の病変を説明できる。 42) 全身疾患に伴う眼病変について説明できる。 43) 屈折矯正手術の種類と概要が説明できる。 44) 角膜幹細胞、内皮細胞、水晶体上皮細胞の性質を説明できる。
評価方法	<p>本試験予定：2020年5月12日（火）4時限目 再試験予定：2020年6月26日（金）17時－18時</p>
教科書・参考書	<p>教科書： 標準眼科学 医学書院 現代の眼科学 金原出版</p> <p>参考書： General Ophthalmology Lange, Maruzen System of Ophthalmology, Duke Elder The Eye, Davson Basic and clinical science course, American academy of Ophthalmology 新臨床眼科全書 全11巻 金原出版 眼科Mook 40巻 金原出版 眼科器械の使い方 医学書院 眼光学の基礎 金原出版 エッセンシャル眼科学 医歯薬出版 小眼科書 金芳堂 眼科学辞典 メディカル葵出版</p>
授業計画	<p>2020年2月18日（火） 【担当：上田 哲生】</p>

	<p>1時限目 視機能検査Ⅰ 分光感度色覚、光覚、視力、屈折、視野、眼位</p> <p>2時限目 視機能検査Ⅱ 細隙灯顕微鏡、隅角検査、眼圧、眼底検査、蛍光眼底撮影、網膜電図、超音波、CT</p> <p>3時限目 斜視弱視、屈折矯正 斜視弱視の診断と治療、屈折異常の手術的矯正</p> <p>【担当：緒方 奈保子】</p> <p>4時限目 解剖、発生 視覚器の構成、眼球、視路、眼球付属器、眼の器官発生</p> <p>5時限目 網膜疾患Ⅰ 網膜血管（糖尿病）、高血圧網膜症、加齢性黄斑変性</p> <p>6時限目 網膜疾患Ⅱ 網膜剥離、ウィルス感染、未熟児網膜症</p> <p>2020年3月3日（火）</p> <p>【担当：西 智】</p> <p>1時限目 神経眼科 視覚路、眼球運動、瞳孔、視神経疾患、眼球運動障害、複視、脱髄疾患、鬱血乳頭</p> <p>2時限目 水晶体、白内障 白内障、水晶体脱臼、白内障手術、後発白内障</p> <p>3時限目 全身疾患と眼</p> <p>【担当：辻中 大生】</p> <p>4時限目 前眼部疾患Ⅰ 眼瞼疾患（眼瞼の構造、形態の異常、眼瞼の炎症、眼瞼の腫瘍）</p> <p>5時限目 前眼部疾患Ⅱ 涙器疾患（涙器の構造と生理、検査、涙道疾患、涙腺疾患、涙器の外傷）</p> <p>6時限目 前眼部疾患Ⅲ 角膜・強膜・結膜疾患</p> <p>2020年3月10日（火）</p> <p>【担当：後岡 克典】</p> <p>1時限目 遺伝性眼疾患 網膜色素変性、網膜芽細胞腫、家族性角膜変性症、遺伝性視神経疾患、色覚異常</p> <p>2時限目 ロービジョンケア</p> <p>3時限目 眼科再生医療</p> <p>【担当：吉川 匡宣】</p> <p>4時限目 脈絡膜、ぶどう膜炎 脈絡膜、ぶどう膜炎、眼内炎、続発緑内障、脈絡膜腫瘍</p> <p>5時限目 緑内障 緑内障の定義、眼圧の検査、緑内障の分類、治療</p> <p>6時限目 外眼筋疾患、眼窩疾患、眼外傷</p>
学生へのメッセージ等	<p>私たちは外界情報の8割以上を視覚情報として得ています。“見る”ことは生活に欠かせない要素であり、眼科は未熟児から高齢者まで広く対象としています。高齢化が進むなか眼科の役割はより重要になってきており、全身疾患との関わりも深く、基本的な眼科知識は医師としての能力を高めます。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：皮膚科学
概要	皮膚科学は、皮膚に変化をきたす疾患をすべて扱う臨床医学であり、基礎とする領域は広く、解剖学、生理学、薬理学、衛生学、微生物学、免疫学、生化学、並びに内科、外科等の基礎的臨床医学の知識の上に成り立っている。特徴は、視覚に訴える点が多く、文字や言語でこれを伝達するには不向きな学問であるので、講義には臨床スライドを多用し、各皮膚疾患の特徴を解説するとともに、原因、病態についての理解を促す。
目標	1) 皮膚の構造について理解する 2) 発疹、とくに原発疹の形態的特徴とその名称を把握する 3) 自己免疫水疱症の種類・病態・治療法について説明できる 4) 上皮系腫瘍・皮膚悪性腫瘍の種類・病態・治療法について説明できる 5) 湿疹・蕁麻疹・薬疹の種類・病態・治療法について説明できる 6) 角化症の種類・病態・治療法について説明できる 7) 紅斑症・血管炎の種類・病態・治療法について説明できる 8) 色素異常症・皮膚付属器疾患の種類・病態・治療法について説明できる 9) 皮膚感染症の種類・病態・治療法について説明できる 10) 皮膚感染症・アレルギーなどの皮膚科検査について理解する 11) 外用療法・レーザー療法・光線療法など皮膚科治療について理解する
評価方法	本試験予定：2020年5月7日（木）4時限目 再試験予定：2020年6月16日（火）17:00～18:00
教科書・参考書	教科書： 標準皮膚科学（第10版）（富田 靖 監修、医学書院） あたらしい皮膚科学（第3版）（清水 宏 著、中山書店） 参考書： 最新皮膚科学大系（全20巻、中山書店） 皮膚科臨床アセット（全20巻、中山書店） 皮膚病理組織診断学入門（斎田 俊明 著、南江堂） Fitzpatrick's Dermatology in General Medicine, The McGraw-Hill Companies
授業計画	2020年3月25日（水） 1時限目 皮膚の構造と発疹の見方（正島千夏） 2時限目 紫外線と皮膚（光井博康） 3時限目 皮膚科診断学（浅田秀夫） 4時限目 美容皮膚科・美容外科（衣笠哲雄） 5時限目 非上皮系腫瘍（小川浩平） 6時限目 上皮系腫瘍（福本隆也） 2020年4月9日（木） 1時限目 自己免疫性水疱症（宮川 史） 2時限目 蕁麻疹、内臓疾患と皮膚病変（宮川 史） 3時限目 皮膚感染症の基礎（浅田秀夫） 2020年4月16日（木） 1時限目 角化症、炎症性角化症（松本優香） 2時限目 湿疹群（西村友紀） 3時限目 色素性疾患（正島千夏）
学生へのメッセージ等	講義には皮膚科学の最新のエッセンスが凝縮されています。必ず出席してください。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分																																							
通年	統合臨床講義	-	必修																																							
担当教員																																										
-																																										
添付ファイル																																										
-																																										
教育スタッフ	コース担当講座：腎臓内科学 関連担当講座：腎臓内科学、呼吸器内科学、リウマチセンター、整形外科、脳神経内科学、小児科学、皮膚科学、耳鼻咽喉科学																																									
概要	膠原病・リウマチ性疾患とアレルギー疾患とを対象に、免疫システムの正常状態からの逸脱について具体例を挙げながら概説し、代表的な疾患の病態・診断・治療に関して、最近の知見を織り交ぜながら解説する。																																									
目標	臨床免疫学（免疫学の中で臨床医学の理解に必要な項目、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型アレルギー、自然免疫と獲得免疫など）を理解する。 膠原病：膠原病の疾患概念とその代表的な疾患（全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎/皮膚筋炎）や類縁疾患について理解する。 膠原病の多彩な症状について理解する。 抗核抗体の出現する疾患と代表的な抗体についての臨床的意義を知る。 膠原病類縁疾患の病態・診断法・治療法について理解する。 皮膚・腎臓・呼吸器・循環器・神経領域からの膠原病の症候と病態に基づく治療法について理解する。 関節リウマチ：代表的な膠原病で患者数が多い関節リウマチの病態と近年導入された生物学製剤による治療および整形外科による手術療法について理解する。 小児期に発症する若年性特発性関節炎の病態と治療を理解する。 関節炎を呈する多彩な疾患の鑑別診断について理解する。 血管炎：自己免疫によって惹き起こされる血管炎の成り立ちを理解する。 血管炎と血管炎に伴う腎障害の代表的なものについて、臨床症状、検査所見、経過、予後、治療を理解する。 アレルギー疾患：アレルギー性疾患の検査・治療法について理解する。 代表的なアレルギー疾患として気管支喘息を例に概念や病態生理に基づく治療法について理解する。 皮膚科・耳鼻科領域のアレルギー性疾患について理解する。																																									
評価方法	本試験予定：2020年5月8日（金）2時限目 再試験予定：2020年6月18日（木）17:00～18:00																																									
教科書・参考書	<p>教科書：</p> <table border="0"> <tr> <td>杉本恒明 編</td> <td>内科学(第9版)</td> <td>朝倉書店</td> </tr> <tr> <td>阿部敏明 他</td> <td>小児科学新生児テキスト(第3版)</td> <td>診断と治療社</td> </tr> <tr> <td>平山恵造 編</td> <td>臨床神経内科学</td> <td>南山堂</td> </tr> <tr> <td>Rowland L. P. ed.</td> <td>Merritt's Textbook of Neurology</td> <td></td> </tr> <tr> <td>瀧川雅浩 監修</td> <td>標準皮膚科学(第10版)</td> <td>医学書院</td> </tr> <tr> <td>清水宏 著</td> <td>あたらしい皮膚学(第3版)</td> <td>中山書店</td> </tr> </table> <p>参考書：</p> <table border="0"> <tr> <td>上野征夫 著</td> <td>リウマチ・膠原病診療ビジュアルテキスト</td> <td>医学書院</td> </tr> <tr> <td>Roitt</td> <td>Roitt's Essential Immunology.</td> <td>Blackwell Science</td> </tr> <tr> <td>Nelson</td> <td>Textbook of pediatrics (16th ed.)</td> <td>Saunders</td> </tr> <tr> <td>月刊眼科診療プラクティス56巻</td> <td>眼アレルギーの診療</td> <td>文光堂</td> </tr> <tr> <td>最新内科学大系(第78巻)</td> <td>皮膚の疾患</td> <td>中山書店</td> </tr> <tr> <td>宮川幸子編</td> <td>カラーアトラス「皮膚病変から診る膠原病」</td> <td>全日本病院出版界</td> </tr> <tr> <td>宮地良樹、竹原和彦編</td> <td>膠原病・皮膚から内臓へ</td> <td>診断と治療社</td> </tr> </table>			杉本恒明 編	内科学(第9版)	朝倉書店	阿部敏明 他	小児科学新生児テキスト(第3版)	診断と治療社	平山恵造 編	臨床神経内科学	南山堂	Rowland L. P. ed.	Merritt's Textbook of Neurology		瀧川雅浩 監修	標準皮膚科学(第10版)	医学書院	清水宏 著	あたらしい皮膚学(第3版)	中山書店	上野征夫 著	リウマチ・膠原病診療ビジュアルテキスト	医学書院	Roitt	Roitt's Essential Immunology.	Blackwell Science	Nelson	Textbook of pediatrics (16th ed.)	Saunders	月刊眼科診療プラクティス56巻	眼アレルギーの診療	文光堂	最新内科学大系(第78巻)	皮膚の疾患	中山書店	宮川幸子編	カラーアトラス「皮膚病変から診る膠原病」	全日本病院出版界	宮地良樹、竹原和彦編	膠原病・皮膚から内臓へ	診断と治療社
杉本恒明 編	内科学(第9版)	朝倉書店																																								
阿部敏明 他	小児科学新生児テキスト(第3版)	診断と治療社																																								
平山恵造 編	臨床神経内科学	南山堂																																								
Rowland L. P. ed.	Merritt's Textbook of Neurology																																									
瀧川雅浩 監修	標準皮膚科学(第10版)	医学書院																																								
清水宏 著	あたらしい皮膚学(第3版)	中山書店																																								
上野征夫 著	リウマチ・膠原病診療ビジュアルテキスト	医学書院																																								
Roitt	Roitt's Essential Immunology.	Blackwell Science																																								
Nelson	Textbook of pediatrics (16th ed.)	Saunders																																								
月刊眼科診療プラクティス56巻	眼アレルギーの診療	文光堂																																								
最新内科学大系(第78巻)	皮膚の疾患	中山書店																																								
宮川幸子編	カラーアトラス「皮膚病変から診る膠原病」	全日本病院出版界																																								
宮地良樹、竹原和彦編	膠原病・皮膚から内臓へ	診断と治療社																																								
授業計画	<p>2020年3月27日（金）</p> <p>1時限目 タイトル：臨床免疫学と膠原病の概念 担当科：リウマチセンター 藤本 隆 内 容：臨床免疫学の基礎事項と膠原病の種類・概念・診断法</p> <p>2時限目 タイトル：関節リウマチとその他の膠原病 担当科：リウマチセンター 藤本 隆 内 容：関節リウマチ、およびその他の膠原病・膠原病類縁疾患の概要</p> <p>3時限目 タイトル：若年性特発性関節炎 担当科：小児科学 石川 智朗 内 容：小児期に発症する膠原病の病態・診断・治療</p> <p>2020年4月10日（金）</p> <p>1時限目 タイトル：関節リウマチの整形外科的診断と治療 担当科：整形外科・リウマチセンター 原 良太 内 容：整形外科の観点から、関節リウマチの診断および治療を概説</p> <p>2時限目 タイトル：膠原病の肺病変 担当科：呼吸器内科学 友田 恒一 内 容：膠原病に合併する肺病変の症候・診断・治療</p> <p>3時限目 タイトル：膠原病の診断と考え方 担当科：聖路加国際病院 岡田 正人 内 容：膠原病の病態と鑑別診断の考え方</p> <p>2020年4月17日（金）</p> <p>1時限目 タイトル：耳鼻咽喉科のアレルギー疾患 担当科：耳鼻咽喉科 太田 一郎 内 容：耳鼻咽喉科領域のアレルギー疾患の病態・診断・治療</p> <p>2時限目 タイトル：関節リウマチと膠原病の治療</p>																																									

	<p> 担当科：リウマチセンター 藤本 隆 内 容：関節リウマチ治療薬の進歩と各免疫抑制薬の概説 3時限目 タイトル：膠原病の腎病変 担当科：腎臓内科学 鮫島 謙一 内 容：膠原病に合併する腎病変についての病理学的診断・治療 </p> <p> 2020年4月24日（金） 1時限目 タイトル：膠原病と神経症状 担当科：脳神経内科学 杉江 和馬 内 容：膠原病に合併する神経病変の症候・病態・治療 2時限目 タイトル：薬疹 担当科：皮膚科学 浅田 秀夫 内 容：皮膚科領域のアレルギー疾患の病態・診断・治療 3時限目 タイトル：膠原病の皮膚病変 担当科：皮膚科学 小川 浩平 内 容：膠原病に認められる皮膚病変の病態・診断・治療 </p>
学生へのメッセージ等	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：耳鼻咽喉・頭頸部外科学 関連担当講座：放射線医学		
概要	1. 耳鼻咽喉科で取り扱う領域に関する基礎的知識を習得し、境界領域との関連性を理解する。 2. 感覚器を中心とした神経学について理解し、コミュニケーション障害の重要性を認識する。 3. 機能ならびに形態の修復を目的とした頭頸部外科学としての耳鼻咽喉科学を理解する。		
目標	1. 耳の発生・構造と機能について把握し、整理する。 2. 耳疾患の一般症状を述べる。 3. 耳の検査法を分類、整理する。 4. 外耳、中耳、内耳、神経疾患について述べる。 5. 鼻の発生・構造と機能について把握し、整理する。 6. 鼻の一般症状を述べる。 7. 鼻の検査法を分類、整理する。 8. 鼻・副鼻腔疾患について述べる。 9. 口腔・咽頭の発生・構造と機能について把握し、整理する。 10. 口腔・咽頭の一般症状を述べる。 11. 口腔・咽頭の検査法を分類、整理する。 12. 口腔・咽頭疾患、唾液腺疾患について述べる。 13. 喉頭と気管・食道の発生・構造と機能について把握し、整理する。 14. 喉頭と気管・食道の一般症状を述べる。 15. 喉頭と気管・食道の検査法を分類、整理する。 16. 喉頭疾患、気管・食道疾患について述べる。 17. 顔面・頸部の解剖を理解し、疾患について把握し、整理する。 18. 音声言語障害に関し、検査法を整理し、リハビリテーションの重要性を認識する。		
評価方法	本試験予定：2020年5月11日（月）2時限目 再試験日時：2020年6月22日（月）17：00～18：00		
教科書・参考書	教科書：特に指定しない 参考書： ① 野村恭也 編著：新耳鼻咽喉科学 南山堂 ② 八木聰明ら編：新図説耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 Vol.1, 2, 3, 4, 5 メジカルビュー社 ③ Byron J. Bailey：Head and Neck Surgery—Otolaryngology 2nd ed volume 1, 2 Lippincott—Raven		
授業計画	2020年4月6日（月） 4時限目 耳鼻咽喉科総論（耳鼻咽喉科：北原 糺） 5時限目 外耳・中耳・内耳のしくみ（耳鼻咽喉科：北原 糺） 6時限目 めまい疾患の鑑別（耳鼻咽喉科：北原 糺） 2020年4月13日（月） 4時限目 めまい・難聴の外科治療（耳鼻咽喉科：北原 糺） 5時限目 めまい疾患について（耳鼻咽喉科：山中 敏彰） 6時限目 平衡生理と検査法（耳鼻咽喉科：山中 敏彰） 2020年4月14日（火） 1時限目 聴覚生理と検査法（耳鼻咽喉科：西村 忠己） 2時限目 難聴疾患について（耳鼻咽喉科：西村 忠己） 3時限目 補聴について（耳鼻咽喉科：西村 忠己） 4時限目 喉頭疾患と音声障害（耳鼻咽喉科：上村 裕和） 5時限目 頭頸部腫瘍1（耳鼻咽喉科：上村 裕和） 6時限目 頭頸部腫瘍2（耳鼻咽喉科：太田 一郎） 2020年4月21日（火） 1時限目 甲状腺疾患（耳鼻咽喉科：太田 一郎） 2時限目 鼻・副鼻腔疾患、嗅覚障害（耳鼻咽喉科：岡安 唯） 3時限目 頭頸部の画像診断（放射線科：宮坂 俊輝） 4時限目 気管・食道疾患（耳鼻咽喉科：金澤 成典） 5時限目 顔面神経麻痺（耳鼻咽喉科：山下 哲範） 6時限目 口腔・咽頭・唾液腺疾患、味覚障害（耳鼻咽喉科：山下 哲範）		
学生へのメッセージ等			

講義科目名称： 行動科学Ⅱ

授業コード： I184180

英文科目名称： Behavior Science Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：教育開発センター、精神医学講座 コーディネーター：精神医学講座教授 講義担当：精神医学講座、吉川左紀子（京都大学こころの未来研究センター教授）
概要	行動変容における理論と技法を修得する。
目標	①動物を用いた行動研究を理解する。 ②精神疾患における行動異常を概説できる。 ③健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。 ④認知行動療法を説明できる。 ⑤心理教育を説明できる。 ⑥生活習慣病における患者支援（自律性支援）や保健指導を概説できる。
評価方法	① 出席 ② レポート
教科書・参考書	講義内で紹介予定。
授業計画	行動科学Ⅱ-1 A-4, C-5 2020年4月8日（水）1時限～3時限 講師：精神医学講座教員 行動科学Ⅱ-2 A-4, C-5 2020年4月20日（月）1時限～3時限 講師：吉川左紀子（京都大学こころの未来研究センター教授） 行動科学Ⅱ-3 A-4, C-5 2020年4月20日（月）4時限～6時限 講師：本田美和子（独立行政法人国立病院機構東京医療センター総合内科医長） ※相当するコア・カリキュラム分類を記載している。
学生へのメッセージ等	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：泌尿器科学、教育開発センター 関連担当講座：大和漢方医学薬学センター、麻酔科学、産婦人科学		
概要	現代医療で必要とされる和漢薬について理解するため、漢方の考え方、基本用語、診断法、処方と漢方の副作用に関する基本的知識および技能を習得し、漢方処方の適正な漢方処方を行うことができる。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 漢方の歴史について概説できる。 2) 現代医療の中での漢方の役割について説明できる。 3) 漢方処方と「証」の関係について概説できる。 4) 陰陽、虚実、寒熱、表裏、六病位、気血水について概説できる。 5) 四診を理解し、実践できる。 6) 主な方剤の構成生薬を説明できる。 7) 漢方薬の主な副作用について説明できる。 8) 漢方薬とEBMについて説明できる。 9) 内科疾患における漢方療法を概説できる。 10) 外科疾患における漢方療法を概説できる。 11) 婦人科疾患における漢方療法を概説できる。 12) 慢性疼痛疾患における漢方療法を概説できる。 13) 泌尿器科疾患における漢方療法を概説できる。 		
評価方法	本試験予定：2020年5月7日（木）6時限目 再試験予定：2020年6月17日（水）17：00～18：00		
教科書・参考書	教科書： 学生のための漢方医学テキスト 編集：日本東洋医学会（南江堂） 参考書： 漢方医学 大塚敬節著（創元社） 漢方医学のABC 編集：日本医師会（医学書院）		
授業計画	2020年4月17日（金） 4限 漢方医学 発展1 泌尿器科疾患と漢方（泌尿器科学 鳥本一匡） 5限 漢方医学 発展2 婦人科疾患と漢方（産婦人科学 木村麻衣） 6限 漢方医学 発展3 疼痛疾患と漢方（麻酔科学 渡邊恵介） 2020年4月23日（木） 1限 漢方医学 基礎1（大和漢方医学薬学センター 三谷和男） 2限 漢方医学 基礎2（大和漢方医学薬学センター 三谷和男） 3限 漢方医学 基礎3（大和漢方医学薬学センター 三谷和男） 4限 漢方医学 応用1（大和漢方医学薬学センター 三谷和男） 5限 漢方医学 応用2（大和漢方医学薬学センター 三谷和男） 6限 漢方医学 応用3（大和漢方医学薬学センター 三谷和男）		
学生へのメッセージ等	コアカリキュラムの中にも「漢方薬の特徴や使用の現状について概説できる」が入っています。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	<p>コース担当講座：放射線腫瘍医学 関連担当講座・部門： 疫学・予防医学、免疫学、薬理学、中央臨床検査部、中央内視鏡部、医療情報部、病理診断学、分子病理学、放射線医学、消化器・総合外科学、呼吸器内科学、消化器内科学、精神医学、腫瘍センター、緩和ケアセンター、総合画像診断センター</p>
概要	<p>臨床における腫瘍学を総括的かつ各論的に習得するために、基礎医学から臨床までの広範な領域において腫瘍を系統的に理解することを目標として、腫瘍に関する疫学、病理・病態、分子生物学、検査、診断、検診、外科療法、放射線療法、薬物療法（細胞障害性抗がん剤、分子標的治療薬、他）、免疫療法、緩和ケア、サイコオンコロジー、その他の治療とその効果、影響等について総合的に学習する。</p>
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) わが国の癌の死亡率と罹患率の動向を理解し、説明できる。 2) 主要な癌の危険因子と防御因子に関する疫学的知見を理解し、説明できる。 3) 癌検診の目的、方法、現状、問題点等を理解し、説明できる。 4) 腫瘍発生に関わる遺伝的要因の概要を理解し、臨床への応用を説明できる。 5) 腫瘍の生物学、分子生物学、病理学の特徴と病態の概要を理解する。 6) 腫瘍の生物学的悪性度に腫瘍-宿主相互作用が果たす役割を理解する。 7) 腫瘍に対する免疫機構の統合的制御機構を理解する。 8) 腫瘍の増殖進展と転移機転について理解し、臨床における有用性を習得する。 9) 腫瘍マーカーの概要と臨床における有用性を理解し、選択法、評価法等を習得する。 10) 腫瘍の診断方法、治療方法の概要、さらに集学的治療の原則を理解する。 11) 腫瘍の外科治療の原則を理解し、代表的な疾患への適応を習得する。 12) 腫瘍の放射線治療の原則、特徴、方法を理解し、代表的な疾患への適応を習得する。 13) 腫瘍の放射線治療関連の放射線物理学、放射線生物学の基礎と臨床応用を理解する。 14) 腫瘍の治療におけるInterventional Radiology (IVR)の役割と実際を理解する。 15) 腫瘍の化学療法の基礎、特徴、方法を理解し、代表的な疾患への適応を習得する。 16) 腫瘍の分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬の概要を理解し、代表的な疾患への適応を習得する。 17) 腫瘍に関する緩和ケアの原則、歴史を理解し、症状マネジメントの基礎的知識を習得する。 18) サイコオンコロジーの概要、不安・抑うつといった癌患者によくみられる精神症状と意識障害のひとつであるせん妄を理解する。 19) 放射線の生体への影響、放射線障害について理解し、医療被曝や放射線災害等の概要を説明できる。
評価方法	<p>試験による客観的評価 本試験予定：2020年7月31日（金）2時限目 再試験予定：2020年9月28日（月）17:00～18:00</p>
教科書・参考書	<p>教科書： 特になし</p> <p>参考書： 疫学・予防医学： 科学的根拠にもとづく最新がん予防法 津金昌一郎 祥伝社 中央臨床検査部： 腫瘍マーカーハンドブック 石井勝 医薬ジャーナル社 薬理学： Goodman & Gilman's The Pharmacological Basis of Therapeutics, McGraw-Hill カツツング・薬理学 丸善 New薬理学 南江堂 放射線腫瘍医学： やさしくわかる放射線治療学 日本放射線腫瘍学会 秀潤社 がん・放射線療法2017 大西洋、他 秀潤社 放射線治療計画ガイドライン2016年版 日本放射線腫瘍学会 金原出版 放射線基礎医学 第12版 青山喬、他 金芳堂 腫瘍センター： 新臨床腫瘍学 第5版 日本臨床腫瘍学会編 南江堂 がん診療レジデントマニュアル 第7版、国立がん研究センター内科レジデント編 医学書院</p>
授業計画	<p>2020年度</p> <p>5月14日（木） 4時限目 臨床腫瘍学総論：診断から治療までの概要（放射線腫瘍医学：長谷川正俊1） 5時限目 薬物療法1：基本と支持療法（腫瘍センター：神野正敏1） 6時限目 微小環境における腫瘍-宿主相互作用（分子病理学：國安弘基）</p> <p>5月18日（月） 1時限目 抗腫瘍薬1-分類（薬理学：京谷陽司1） 2時限目 化学放射線療法の実際（呼吸器内科学：本津茂人1） 3時限目 放射線治療の原則・適応と展開（放射線腫瘍医学：長谷川正俊2）</p> <p>5月21日（木） 4時限目 癌の外科治療の原則（消化器・総合外科学：庄 雅之） 5時限目 血管新生とその治療応用（消化器内科学：北出光輝） 6時限目 薬物療法2：原則と適応（腫瘍センター：神野正敏2）</p> <p>5月25日（月） 1時限目 分子標的治療、免疫療法の展開と実際（呼吸器内科学：本津茂人2） 2時限目 放射線治療における放射線物理学と機器（放射線腫瘍医学：若井展英） 3時限目 放射線治療における放射線生物学とその臨床応用（放射線腫瘍医学：浅川先生1）</p> <p>6月4日（木）</p>

	<p>1時限目 腫瘍学各論（肺、縦隔腫瘍の診断～治療方針）（呼吸器内科学：本津茂人3） 2時限目 腫瘍学各論（病理～放射線治療）：肺、縦隔（放射線腫瘍医学：三浦幸子） 3時限目 癌の増殖進展と転移機転（中央内視鏡部：小山文一）</p> <p>6月16日（火） 4時限目 癌検診の意義（総合画像診断センター：平井都始子） 5時限目 癌の記述疫学（疫学・予防医学：佐伯圭吾1） 6時限目 腫瘍学各論（病理～放射線治療）：骨軟部、緩和（放射線腫瘍医学：井上和也）</p> <p>6月23日（火） 4時限目 癌の集学的治療（医療情報部：玉本哲郎1） 5時限目 癌の危険因子と防御因子（疫学・予防医学：佐伯圭吾2） 6時限目 臨床病理学総論：臨床における役割（病理診断学：大林千穂）</p> <p>6月26日（金） 4時限目 腫瘍マーカー（中央臨床検査部：山崎正晴） 5時限目 抗腫瘍薬2－臨床適用（薬理学：京谷陽司2） 6時限目 薬物療法3：最近の進歩と動向（腫瘍センター：神野正敏3）</p> <p>7月3日（金） 4時限目 癌の緩和医療（緩和ケアセンター：四宮敏章） 5時限目 サイコオンコロジー（精神医学：太田豊作） 6時限目 腫瘍学各論（病理～放射線治療）：乳腺、皮膚（放射線腫瘍医学：八巻香織）</p> <p>7月7日（火） 1時限目 腫瘍学各論（病理～放射線治療）：婦人科、泌尿器（放射線腫瘍医学：浅川勇雄2） 2時限目 免疫学的腫瘍制御理論と免疫療法（免疫学：伊藤利洋） 3時限目 腫瘍学各論（病理～放射線治療）：頭頸部、消化器（医療情報部：玉本哲郎2）</p> <p>7月13日（月） 4時限目 腫瘍学各論（病理～放射線治療）：脳、造血器（放射線腫瘍医学：長谷川正俊3） 5時限目 癌治療におけるIVR（放射線医学：穴井 洋） 6時限目 放射線の生体への影響と障害（放射線腫瘍医学：長谷川正俊4）</p>
学生へのメッセージ等	特になし

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：感染症センター 関連担当講座：小児科学、産婦人科学、皮膚科学、泌尿器科学、健康管理センター、薬理学、病原体・感染防御医学、微生物感染症学
概要	感染症診療および感染対策の基本的考え方と実際を基礎的・臨床的に理解する。
目標	1. 感染症の三角形（患者背景、原因微生物、感染臓器）について理解し、考察できる。 2. 各種原因微生物（細菌、ウイルス、抗酸菌、真菌、寄生虫）による感染症の特徴と診断、治療を理解する。 3. 内科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科などの各領域の感染症の病態と診断、治療を理解する。 4. 新興・再興感染症の疫学、病態、診断、および治療について理解する。 5. 各種抗微生物薬の特徴と使い方を理解する。 6. 医療関連感染症や職業感染の疫学と防止、ワクチンの有効性について理解し、実践できる。
評価方法	本試験予定：2020年7月28日（火） 4時限目 再試験予定：2020年9月17日（木） 17：00～18：00
教科書・参考書	教科書 【感染症全般】UpToDate(R) http://www.uptodate.com （言わずと知れたUpToDate. 学生レベルならこれを読めばほぼ十分です） 【感染症全般】Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases, 8th ed Saunders.（英語ですが、臨床感染症の教科書の王様です） 【感染症全般】レジデントのための感染症診療マニュアル（第3版） 医学書院 青木眞（著）（日本語の臨床感染症の教科書のバイブル的存在です） 【抗菌薬】抗菌薬の考え方、使い方 ver. 4 岩田健太郎 中外医学社（抗菌薬を学ぶ教科書のバイブル的存在です） 【小児科】小児科学新生児テキスト改訂（第3版） 診断と治療社 阿部敏明 他 【小児科】小児感染症マニュアル 東京医学社 日本小児感染症学会 【泌尿器科】TEXT泌尿器科（第3版） 南山堂 奥山明彦（編集） 【泌尿器科】New 泌尿器科 改訂（第2版） 南江堂 西沢理（著） 【皮膚科】標準皮膚科学（第10版） 医学書院 富田靖（監修） 【皮膚科】あたらしい皮膚学（第3版） 中山書店 清水宏（著） 【産婦人科】New consensus 新撰産婦人科診療 永井書店 石塚文平 他（編集） 【産婦人科】プリンシプル産婦人科学1（第3版） メジカルビュー社 武谷雄二（著） 【薬理学】臨床薬理学 医学書院 日本臨床薬理学会（編集） 【薬理学】New 薬理学改訂（第7版） 南江堂 田中千賀子（編集） 【寄生虫学】図説人体寄生虫学改訂（第9版） 南山堂 吉田幸雄・有菌直樹（著） 【寄生虫学】寄生虫薬物治療の手引き 2019年3月改訂版 https://www.nettai.org 【HIV】Johns Hopkins HIV Guide 2012: Management of HIV Infection and Its Complications Jones & Bartlett Pub Joel E. M. D. Gallant 他（編集） 参考書 【感染症全般】感染症専門医テキスト 南江堂 日本感染症学会（編集） 【感染症全般】感染症の診断・治療ガイドライン 日本医師会 厚生労働省健康局結核感染症課（監修） 【感染症全般】抗菌薬適正使用生涯教育テキスト 杏林舎 日本化学療法学会（編集） 【感染症全般】シュロスバーグの臨床感染症学 メディカル・サイエンス・インターナショナル David Schlossberg（著）、岩田健太郎（翻訳）（2018年に出版された比較的新しい教科書です） 【感染対策】ねころんで読めるCDCガイドライン 矢野邦夫 メディカ出版（シリーズ物で、No. 1～No. 4まであります。名前の通り、ねころんで読みましょう） 【感染対策】感染対策40の鉄則 坂本史衣 医学書院（聖路加国際病院で感染対策を実践している著者による力作です。読み応えがあります） 【抗菌薬】日本語版サンフォード感染症治療ガイド2019 ライフサイエンス株式会社（教科書というよりは、マニュアル的な存在です） 【抗菌薬】感染症プラチナマニュアル2019 岡秀昭 メディカル・サイエンス・インターナショナル（名前通り、マニュアルとしてかなり広い範囲をコンパクトに網羅しています） 【感染対策】ICDテキスト メディカ出版 ICD制度協議会（監修） 【小児科】Nelson Textbook of Pediatrics, 20th ed Elsevier Robert M. Kliegman 他（編集） 【泌尿器科】Campbell-Walsh Urology, 11th ed Elsevier Alan J. Wein 他（編集） 【泌尿器科】ベッドサイド泌尿器科学改訂（第4版） 南江堂 吉田 修（監修） 【泌尿器科】JAID/JSC感染症治療ガイド・ガイドライン2015－尿路感染症・男性性器感染症－ 日本化学療法学会雑誌Vol. 4 No. 1 p. 1～30 【皮膚科】皮膚病組織診断学入門 南江堂 齊田俊明（著） 【皮膚科】最新内科学大系（78）皮膚の疾患 中山書店 井村 裕夫 【産婦人科】Novak's Gynecology(12th) Williams & Wilkins Jonathan S. Berek 他（編集） 【寄生虫学】寄生虫薬物治療の手引き 熱帯病治療薬研究班HP (http://trop-parasit.jp) 【細菌学】Bacterial pathogenesis: a molecular approach ASM Press Abigail A. Salyers 他（編集） 【渡航医学】CDC Health Information for International Travel 2014:The Yellow Book Oxford Univ. press, USA Centers for Disease Control and Prevention（著） 【熱帯感染症】Atlas of Tropical Medicine and parasitology 6th Mosby Wallace Peters MD(London)（著） 【呼吸器感染症】呼吸器感染症治療ガイドライン 杏林舎 JAID/JSC感染症治療ガイド・ガイドライン作成委員会（編集） 【健康管理】医療機関における産業保健活動ハンドブック 公益財団法人産業医学振興財団 相澤好治（監修）

	和田耕治（編著）
授業計画	<p>2020年5月15日（金）</p> <p>1時限目 感染症概論（感染症センター：笠原 敬）</p> <p>2時限目 小児感染症概論Ⅰ（小児科学：武山雅博）</p> <p>3時限目 小児感染症概論Ⅱ（小児科学：武山雅博）</p> <p>2020年5月22日（金）</p> <p>1時限目 感染管理（感染症センター：笠原 敬）</p> <p>2時限目 HIV感染症/AIDS（南奈良総合医療センター：宇野健司）</p> <p>3時限目 新興・再興感染症（国立国際医療研究センター：忽那賢志）</p> <p>2020年5月29日（金）</p> <p>1時限目 抗菌化学療法各論Ⅰ（薬理学：京谷陽司）</p> <p>2時限目 抗菌化学療法各論Ⅱ（薬理学：京谷陽司）</p> <p>3時限目 産婦人科領域の感染症（産婦人科学：岩井加奈）</p> <p>2020年6月16日（火）</p> <p>1時限目 輸入感染症・消化器感染症（感染症センター：小川 拓）</p> <p>2時限目 微生物検査と感染症（微生物感染症学：矢野寿一）</p> <p>3時限目 薬剤耐性菌感染症（グラム陰性菌）（微生物感染症学：矢野寿一）</p> <p>2020年6月23日（火）</p> <p>1時限目 皮膚疾患と感染症（皮膚科学：浅田秀夫）</p> <p>2時限目 薬剤耐性菌感染症（グラム陽性菌）（微生物感染症学：中野竜一）</p> <p>3時限目 泌尿器科領域の感染症（泌尿器科学：田中宣道）</p> <p>2020年6月30日（火）</p> <p>1時限目 寄生虫疾患（病原体・感染防御医学：吉川正英）</p> <p>2時限目 衛生動物媒介性感染症（病原体・感染防御医学：吉川正英）</p> <p>3時限目 ワクチン（感染症センター：小川 拓）</p> <p>2020年7月16日（木）</p> <p>4時限目 職業感染（健康管理センター：古西 満）</p> <p>5時限目 抗菌薬適正使用（感染症センター：笠原 敬）</p> <p>6時限目 呼吸器感染症（感染症センター：福盛達也）</p>
学生へのメッセージ等	「感染症」は、微生物学や免疫学、薬理学や内科学などの知識と経験を総動員して「臓器横断的に」患者を診る学問です。手技は少ないですが、その分「アタマ」をフル回転して目の前の患者を診察します。また「感染対策」は、皆さんがどの診療科に行っても必要な知識と技能です。学生の皆さんの積極的な講義への参加と取り組みを期待しています！

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：消化器内科学 関連担当講座：腎臓内科学、循環器内科学、脳神経内科学、産婦人科学、眼科学、整形外科、小児科、糖尿病・内分泌内科学		
概要	1) 代謝・栄養疾患(糖尿病、肥満、脂質代謝異常、痛風その他)の病因と病態、及びに診断と治療についての知識を修得するために、それら疾患に関わる代謝とその異常について理解する。 2) 代謝異常と栄養障害による疾患の診断と治療、並びに予防のための生活について患者に指導ができる知識を修得する。		
目標	1) 糖尿病の概念と病型分類、診断基準を述べることができる。 2) 糖尿病の病型に応じた治療の実際を述べるができる。 3) 妊娠糖尿病の診断と糖尿病妊婦の血糖コントロールについて述べるができる。 4) 糖尿病網膜症の病期分類とその診断と眼科的治療について述べるができる。 5) 糖尿病性腎症の病態と早期発見および治療について述べるができる。 6) 糖尿病性神経合併症の診断から治療までを述べるができる。 7) 脂質代謝異常症の病型分類と脂質代謝異常を概説する。 8) 原発性脂質代謝異常症についてその病因から臨床症状までを解説する。 9) 脂質代謝異常症と動脈硬化について概説し、虚血性心疾患および脳血管障害の予防を目的とした治療について述べるができる。 10) 肥満の病態と治療について述べるができる。 11) 高尿酸血症と痛風の診断と治療について述べるができる。 12) 糖原病の分類と病因を列記する。 13) 低血糖の分類と診断について述べるができる。		
評価方法	本試験予定：2020年7月31日（金）4時限目 再試験予定：2020年9月29日（火）17:00～18:00		
教科書・参考書	参考書： 糖尿病学－基礎と臨床（門脇孝他 西村書店） 内科学Ⅰ・Ⅱ（金澤一郎他編 医学書院） Cecil/Textbook of Medicine 21st Ed. (Goldman & Bennett: Saunders) Joslin's Diabetes Mellitus 13th Ed. (Kahn & Weir: Lea & Febiger)		
授業計画	2020年5月15日（金） 4時限目 糖尿病網膜症（眼科：上田 哲生） 2020年5月22日（金） 4時限目 糖尿病と妊娠（産婦人科：新納 恵美子） 5時限目 糖原病と低血糖（小児科：長谷川 真理） 2020年5月29日（金） 4時限目 糖尿病性腎症（腎臓内科：鮫島 謙一） 5時限目 脂質代謝異常の分類と診断（循環器内科：添田 恒有） 6時限目 原発性脂質代謝異常症の診断と治療（循環器内科：上田 友哉） 2020年6月2日（火） 1時限目 糖尿病性神経合併症（脳神経内科：岩佐 直毅） 2時限目 脂質代謝異常症と動脈硬化（循環器内科：添田 恒有） 3時限目 骨粗しょう症（整形外科：田中 誠人） 2020年6月17日（水） 1時限目 高尿酸血症と痛風（消化器内科学：赤羽 たけみ） 2時限目 肥満とメタボリックシンドローム（消化器内科学：赤羽 たけみ） 3時限目 重金属代謝異常（ヘモクロマトーシス他）（消化器内科学：赤羽 たけみ） 2020年7月21日（火） 2時限目 糖尿病の概念と病型分類（糖尿病・内分泌内科学：石井 均） 3時限目 糖尿病の診断・糖尿病の治療（糖尿病・内分泌内科学：石井 均）		
学生へのメッセージ等			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	<p>コース担当講座：公衆衛生学（責任者：今村 知明） 教授：今村 知明 准教授：赤羽 学 講師：野田 龍也 学内講師：岡本 左和子 非常勤講師：甲田 勝康、康永 秀生、町田 宗仁、神奈川 芳行、小川 俊夫</p>
概要	<p>1) 個体および集団を取りまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響を把握するため、社会と健康・疾病との関係や地域医療について学ぶ。 2) 保健統計の意義と現状、疫学とその応用、疾病の予防について学ぶ。 3) 生活習慣に関連した疾病の種類、病態と予防治療について学ぶ。 4) 保健・医療・福祉と介護の制度の内容を学ぶ。 5) 健康政策、医療政策について学ぶ。 6) 医療経済・医療経営について学ぶ。 7) 医療と医学研究における倫理の重要性を学ぶ。</p>
目標	<p>1) 健康、障害と疾病の概念を説明できる。 2) 人口静態統計と人口動態統計を説明できる。 3) 疾病の定義、分類と国際疾病分類（ICD）を説明できる。 4) 疾病・有病・障害統計、年齢調整率を説明できる。 5) 疫学の概念と疫学の諸指標について説明できる。 6) 予防医学の考え方を理解でき、一、二、三次予防について概説できる。 7) 生活習慣に関連した疾病を列挙できる。 8) 生活習慣と肥満・高脂血症・動脈硬化の関係を説明できる。 9) 生活習慣と糖尿病の関係を説明できる。 10) 生活習慣と高血圧の関係を説明できる。 11) 喫煙、飲酒など生活習慣と疾病の関係を説明できる。 12) 医師の麻薬および向精神薬の取り扱いに関する法規を説明できる。 13) 感染症の原因を知り、適切な処置法を述べることができ、その予防方法・対策方法を立案できる。 14) 地域保健（母子保健、老人保健、精神保健、学校保健）を概説できる。 15) 老人保健法に基づく保健事業を列記できる。 16) 産業保健を概説でき関連法規（労働基準法、労働安全衛生法、労災保険法）を挙げることができる。産業医の職務を説明できる。 17) 医師法と医療法の概説および医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。 18) 保健・医療・福祉と介護の制度の内容について説明できる。 19) 健康政策、医療政策について説明できる。 20) 医療経済・医療経営について説明できる。 21) 日本人の食事摂取基準と健康指標の関係を説明できる。 22) 生態系の変化（生態循環、生物濃縮など）が健康と生活に与える影響（食品および有害物質、環境発癌物質、内分泌攪乱物質）を概説できる。 23) 地球環境の変化と健康・疾病との関係（環境と適応、主体環境系、原因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全）を概説できる。 24) 生と死に関わる倫理的問題を列挙できる。 25) 医の倫理と生命倫理に関する規範、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言などを概説できる。 26) インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。</p>
評価方法	<p>本試験予定：2020年7月27日（月） 2時限目 再試験予定：2020年9月14日（月） 17:00～18:00</p>
教科書・参考書	<p>教科書：厚生統計協会編、『国民衛生の動向』最新版（毎年9月頃発行）</p> <p>参考書： 1. 今村知明、康永秀生、井出博生 著、医療経営学（第2版）、東京：医学書院、2011 その他、当教室指定図書（本学図書館） 2. 今村知明ら 監修、公衆衛生がみえる 2018-2019、メディックメディア</p>
授業計画	<p>2020年5月18日（月） 4時限目 公衆衛生概論（今村知明） ○健康・疾病・障害の概念と社会環境、社会環境の変動と国民の健康について ○日本の保健・医療・福祉・介護制度の特徴や地域保健・地域医療と医師の役割について 5時限目 社会と医療・衛生行政（今村知明） ○行政の役割としくみ ○衛生行政の光と影（薬害エイズやBSE問題） ○医療圏、基準病床数、資源の有効利用と国民皆保険、全国保健所 ○人口構造の変化、疾病構造の変化 6時限目 感染症対策、人口動態統計（今村知明） ○感染症の疫学と流行状況について ○1類感染症、2類感染症、3類感染症、4類感染症、5類感染症、指定感染症、新感染症 ○結核や主な感染症の疫学と流行状況、感染源・感染経路対策、感染者の人権への配慮 ○学校等における感染症、予防接種 ○感染症発生動向調査（サーベイランス）</p>

2020年5月25日（月）

- 4 時限目 医療保険制度（今村知明）
○ 社会保障の概念、社会福祉、社会保険、公衆衛生と医療受給について
○ 医療保険の種類と対象、公費医療の種類と対象
○ 医療経済について
○ 国民医療費、医療費負担と給付、医療の包括評価
- 5 時限目 保健医療論（今村知明）
○ わが国における医療に関係する団体や医師としての関わりについて
○ 社会保障制度のしくみについて
○ 診療報酬の仕組みやこれがどのようにして決まるのかについて
○ 混合診療の禁止と選定療養、先進医療
- 6 時限目 日本の医療介護の現状と課題（国際医療福祉大学大学院 教授 高橋 泰）
○ 日本の医療や介護が向かうべき方向について
○ 日本の医療需要ピークや医療福祉資源レベルの地域差について
○ 医療福祉提供体制の再構築について

2020年5月28日（木）

- 4 時限目 介護保険と地域包括ケアシステム（赤羽 学）
○ 保健・医療・福祉・介護の施設と機能
○ 在宅ケア、在宅医療、在宅介護
○ 地域包括ケアシステムについて
- 5 時限目 医療・衛生関係法規、診療録（赤羽 学）
○ 医師法、医療法
○ 刑法（秘密漏示の禁止、堕胎の禁止、虚偽私文書作成の禁止）
○ 診療録、医療記録
- 6 時限目 福祉政策と医療・在宅医療、へき地医療、災害医療（野田龍也）
○ 障害者福祉について（制度と障害者認定）
○ 生活保護について（制度と生活保護での医療）
○ 児童相談書の役割と児童虐待防止法
○ 在宅医療、へき地医療、災害医療について

2020年6月4日（木）

- 4 時限目 実習オリエンテーション（全教官）
○ 県内保健所、保健センター、保健研究センター・景観環境総合センターおよび厚生行政機関における実習内容と事前学習および実習諸注意
- 5 時限目 食品保健・国民栄養（岡本左和子）
○ 国民栄養の現状と対策について
○ 国民健康・栄養調査など統計情報について
○ 食品の安全性や機能性、食生活指針などについて
- 6 時限目 国際保健（厚生労働省 町田宗仁）（元WHO西太平洋地域事務局 渉外担当医官）
○ 世界の保健・医療問題、国際保健・医療協力
○ 国際連合（UN）、世界保健機関（WHO）、国際労働機関（ILO）、国連食糧農業機関（FAO）、国際協力機構（JICA）、政府開発援助（ODA）、非政府機関（NGO）

2020年6月12日（金）

- 1 時限目 奈良県の衛生行政（奈良県郡山保健所所長 水野文子）
○ 衛生行政の体系と法律
○ 結核対策にみる公衆衛生行政
○ 奈良県の現状と取り組みなど
- 2 時限目 保健・医療・福祉の資源（岡本左和子）
○ 保健、医療、福祉の各種の社会資源
○ 施設：医療施設の数と役割、老人福祉施設の数と役割、障害福祉施設の数と役割
○ 従事者：各専門職の数と役割
- 3 時限目 生活習慣病とリスク（厚生労働省 高岡志帆）（元厚生労働省 生活習慣病担当課長補佐）
○ 基本理念、健康日本21、生活習慣病のリスク
○ 健康寿命、設定目標、行動変容、環境衛生
○ 食事摂取基準（栄養所要量）、栄養マネジメント（栄養管理）、食行動

2020年6月19日（金）

- 1 時限目 精神保健福祉、麻薬・向精神薬（野田龍也）
○ 現状と動向
○ 精神保健福祉相談、地域精神保健福祉活動
○ 精神障害者の保健・医療・福祉
○ 医師の麻薬および向精神薬の取り扱いに関する法規を説明できる
- 2 時限目 高齢者保健（赤羽 学）
○ 高齢化・少子化社会・障害児（者）への対応
○ 廃用症候群、高齢者虐待
○ 高齢者の保健・福祉・介護
○ 地域保健福祉活動
- 3 時限目 シミュレーション講義（今村知明）
○ 公衆衛生上の重要な判断
○ 個人による意見の相違
○ 公人としての判断と私人としての判断

2020年6月24日（水）

- 1 時限目 環境保健（赤羽 学）
○ 公害健康被害補償制度
○ 環境基準、排出規制、環境モニタリング、環境影響評価（アセスメント）
○ 一般廃棄物、産業廃棄物、感染性廃棄物、リサイクル
- 2 時限目 産業保健（疫学・予防医学講座 教授 佐伯圭吾）
○ 現状と動向、業務上疾病の発生状況
○ 産業医と労働安全衛生管理
○ 管理体制、産業医の資格と職務、健康管理、作業環境管理、作業管理
○ 労働災害

	<p>3時限目 国際疾病分類と様々な分類 (国際医療福祉大学 教授 小川俊夫) (元WHO職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国際疾病分類 ○ICD10と11 ○国際生活機能分類 ○他の国際分類やユニバーサルデザイン <p>2020年6月30日(火)</p> <p>4時限目 医療経営 (今村知明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病院経営の現状、DPC制度、原価管理、減価償却 ○病院経営のポイント、社会制度と病院経営 <p>5-6時限目 小児保健(母子保健・学校保健) (関西医科大学 教授 甲田勝康)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現状と動向 ○出生、妊産婦死亡、死産、周産期死亡、新生児・乳児死亡、人工妊娠中絶 ○母性保健 ○小児の保健、新生児マススクリーニング、小児期のスクリーニング ○母子保健・学校保健の現状と動向 <p>2020年7月7日(火)</p> <p>4時限目 産業医 (JR東日本健康推進センター労働衛生科 担当部長 神奈川芳行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産業医について、産業衛生の目的 ○産業保健分野における現状、産業保健現場における課題 ○四管理一教育 <p>5-6時限目 医の倫理、倫理審査委員会、医師と患者関係・末期患者への対応 (医療事故、医事紛争も含む) (岡本左和子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医の倫理、インフォームドコンセント、倫理審査委員会 ○医師と患者および家族との関係、末期患者への対応 <p>2020年7月10日(金)</p> <p>4-6時限目 CBT対策講義(医療従事者の義務) (野田龍也)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会・環境と健康(健康概念、母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健) ○保健・医療・福祉・介護の制度(社会保障制度と医療経済、医療保険、介護保険、公費医療、医療関連法規、感染症法、予防接種、食中毒) ○国際保健 ○診療情報と諸証明書(診断書、検案書、診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書) <p>実習オリエンテーション 2020年10月12日(月)</p> <p>実習 2020年10月13日(火) - 10月16日(金)</p> <p>実習発表会 2020年10月30日(金) 出席必須</p>
<p>学生へのメッセージ等</p>	<p>医療や衛生行政の最前線で戦っておられる先生方を招いて、できるだけ現場での臨場感あふれる話をしておうと思っています。他の大学ではこのような多様な人々の話を聞く機会さえ少ないと思っています。また、それら講師の方々の人間性も見所です。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：小児科学		
概要	小児科は単一臓器に関わる診療科ではなく、子ども全体を対象とする診療科である。小児科学講座では、知識としての小児科学だけではなく、実際に小児医療の現場に必要な基本的実践能力の修得を目指している。そこで、当講座では、日本小児科学会が提唱する「小児科専門医の医師像」を基盤に、学部学生に必要な到達目標を設定し、実践的な教育を行う。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1、小児の特性(バイタルサイン等)、小児疾患の特性(先天的素因等)、小児診療の特性を理解し、説明できる。 2、患児―保護者―医療者関係を理解し、良好なコミュニケーションが築くことができる。 3、小児疾患に関わる社会的な問題(小児保健、虐待等)を理解し、説明できる。 4、多職種(看護、臨床心理士、ソーシャルワーカー等)によるチーム医療を実践できる。 5、リサーチマインドを持ち、小児科で遭遇する希有な難治疾患や確定診断のついていない疾患へアプローチできる。 6、子どもの保護者と協力して、子どもの発育・発達を総合的に支援できる。 		
評価方法	本試験予定：2020年8月3日(月)2時限目 再試験予定：2020年9月30日(水)17:00-18:00		
教科書・参考書	教科書：特に指定しない 参考書： NELSON：Textbook of Pediatrics (21th edition) (SAUNDERS) 内山 聖 他：標準小児科学 第8版(医学書院) 加藤 裕久 他：ベッドサイドの小児の診かた(南山堂) 小児内科編集委員会 他：小児疾患診療のための病態生理1、2、3(東京医学社)		
授業計画	<p>2020年5月19日(火)</p> <p>1時限目 小児科学入門 (小児科：野上 恵嗣)</p> <p>2時限目 小児の神経疾患 (小児科：榊原 崇文)</p> <p>3時限目 小児の発達の遅れ・発作症状 (小児科：榊原 崇文)</p> <p>2020年5月26日(火)</p> <p>1時限目 特別講演 (小児科)</p> <p>2時限目 遺伝病の理解 (小児科：西久保 敏也)</p> <p>3時限目 小児の発熱 (小児科：大前 隆志)</p> <p>2020年6月1日(月)</p> <p>1時限目 予防接種 (小児科：大西 智子)</p> <p>2時限目 小児の腹痛 (小児科：吉澤 弘行)</p> <p>3時限目 小児のアレルギー (小児科：長谷川 真理)</p> <p>2020年6月8日(月)</p> <p>1時限目 小児の発疹 (小児科：野上 恵嗣)</p> <p>2時限目 小児の黄疸 (小児科：野上 恵嗣)</p> <p>3時限目 小児の甲状腺、副甲状腺疾患 (小児科：野上 恵嗣)</p> <p>2020年6月15日(月)</p> <p>1時限目 小児の咳、喘息、呼吸困難 (小児科：古川 晶子)</p> <p>2時限目 小児の嘔吐・下痢 (小児科：田中 一郎(八尾市立病院副院長))</p> <p>3時限目 小児の心雑音・不整脈 (小児科：辻井 信之)</p> <p>注意：小児科各論の内容に関しては、他の領域別講義でも講義をおこなう。 内分泌：成長ホルモン分泌性低身長、膠原病と低血糖 (小児科：野上 恵嗣、長谷川 真理) アレルギー・膠原病：小児の膠原病 (小児科：石川 智朗) 感染症：小児感染症概論 (小児科：武山 雅博) 消化器：小児の腸炎・消化不良症、小児の消化器疾患 (小児科：矢田 弘史) 呼吸器：小児の気管支喘息 (小児科：荻原 建一) 血液：小児の赤血球系疾患、小児の白血病、小児の固形腫瘍、出血性疾患、血栓性疾患 (小児科：野上 恵嗣、石原 卓) 腎・尿路系：小児における腎疾患、溶血性尿毒症症候群 (小児科：石川 智朗) 移植・再生医学：小児の造血幹細胞移植 (小児科：石原 卓) など</p>		
学生へのメッセージ等	医師として最低限必要な小児科領域の疾患及び小児期特有の発達を加味した治療の重要性を理解し、知識を習得してほしい。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：産婦人科学 関連担当講座：総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門
概要	1) 女性は新しい生命を育む性であるとの認識のもとに、その尊厳を守るために健全な生殖現象の成立に必要な生理機能とこれを阻害する因子を理解する。 2) 次世代を担う新しい生命の健やかな成長を守るために、妊娠・分娩・産褥という一連の生殖過程における母体および胎児・新生児の生理・病理を理解する。
目標	1) 「いのちをつなぐ」ことが目的である産婦人科医の仕事を、「産婦人科医学へようこそ」を通して概説する 2) 視床下部-下垂体-卵巣系の内分泌学的調節機構について説明する 3) 妊娠成立に必要な要素を説明する 4) 月経周期による子宮内膜変化について説明する 5) 排卵のしくみを説明する 6) 妊娠反応について説明する 7) 分娩予定日あるいは妊娠週数の決定方法を述べる 8) 妊娠期間におこる母体生殖器の変化を説明する 9) 妊娠期間にみられる母体の全身性変化を説明する 10) 胎盤の機能を述べる 11) 初期胚の発生および胎児器官形成期について説明する 12) 妊婦に対する外診法、内診法について、手技の概略および正常所見を妊娠時期毎に説明する 13) 妊婦の超音波断層法検査において得られる正常所見と代表的な異常所見を妊娠時期毎に列挙する 14) 超音波断層法以外の産科的画像診断法について説明する 15) 出生前診断の目的、方法および医学的・社会的問題点を列挙する 16) 胎児心拍モニタリングの評価方法およびそれに基づいた管理方針を説明する 17) 分娩第一期、第二期および第三期の定義を述べる 18) 分娩の三要素と正常分娩機転を説明する 19) 流産、子宮外妊娠および胎状奇胎の症状、病態、診断法、治療につき述べる 20) 多胎妊娠の種類、妊娠・分娩・産褥期それぞれに起こりやすい異常を述べる 21) 妊娠悪阻の病態、治療法を説明する 22) 妊娠高血圧症候群の病態、合併症、治療につき述べる 23) 主な内科疾患合併妊娠の病態と妊婦管理上の留意点を列挙する 24) 前期破水、切迫早産、早産の病態、診断法、治療につき述べる 25) 前置胎盤、常位胎盤早期剥離およびD I Cの病態、診断法、治療につき述べる 26) 胎位・胎勢の異常、診断法、分娩時の留意点を列挙する 27) 遷延分娩、分娩停止の原因、診断法、治療を列挙する 28) 分娩時出血、産道損傷の種類と診断法、治療法につき列挙する 29) 過期産における問題点を説明する 30) 正常産褥の経過を説明する 31) 乳汁分泌機序、乳汁の成分ならびに母乳哺育の意義を説明する 32) 産褥期における主な異常の病態、治療を列挙する 33) 胎児成熟度ならびに胎児生理機能検査を列挙する 34) 胎児循環の特殊性を説明する 35) 胎児主要臓器の胎内における形成過程について説明する 36) 新生児成熟徴候を述べる 37) 新生児の出生後の生理的变化を述べる 38) 低出生体重児の原因、管理法、予後について説明する 39) 新生児の主な病的症状を挙げ、その治療・管理法を説明する 40) 主な先天異常を列挙し、病態を説明する 41) 手術分娩（帝王切開、鉗子分娩、吸引分娩）の適応、方法、起こりうる障害を説明する 42) 妊婦に対する麻酔の留意点を説明する 43) 母体保護法に規定されている人工妊娠中絶術の適応を説明する 44) 主な避妊法につき、その長所、欠点および効果を列挙する 45) 我が国の主な人口動態統計について説明する 46) 超音波検査の原理および実際の手順を学習する 47) 妊婦に対する薬物投与上の注意点を理解する 48) 周産期医療の実態を理解する 49) 耐糖能が低下した妊婦である妊娠糖尿病に関して概説する
評価方法	本試験予定：2020年7月29日（水）4時限目 再試験予定：2020年9月23日（水）17:00～18:00
教科書・参考書	教科書： 病気がみえる 産科 医療情報科学研究所（編集）メディックメディア（発行） ウィリアムス臨床産科マニュアル メジカルビュー社 参考書： Williams Obstetrics, 24th ed. F. G. Cunningham他 著 McGrawhill社
授業計画	2020年5月20日（水） 1時限目 産婦人科医学へようこそ（産婦人科学：川口龍二） 2時限目 性周期と女性生殖内分泌・排卵（産婦人科学：河原直紀）

	<p>3時限目 妊娠の成立と維持・妊娠時の母体の変化 (産婦人科学：河原直紀)</p> <p>4時限目 胎児胎盤ユニット・分娩の三要素 (産婦人科学：河原直紀)</p> <p>5時限目 正常分娩の機序Ⅰ (産婦人科学：中村春樹)</p> <p>6時限目 正常分娩の機序Ⅱ (産婦人科学：中村春樹)</p> <p>2020年5月27日(水)</p> <p>1時限目 妊娠初期の異常 (産婦人科学：河原直紀)</p> <p>2時限目 胎盤機能不全、胎児発育遅延、胎児胎盤機能診断法 (産婦人科学：河原直紀)</p> <p>3時限目 前置胎盤、常位胎盤早期剥離 (産婦人科学：河原直紀)</p> <p>4時限目 切迫早産、前期破水、羊水量の異常 (産婦人科学：市川麻祐子)</p> <p>5時限目 多胎妊娠、ハイリスク妊娠 (産婦人科学：市川麻祐子)</p> <p>6時限目 分娩時期の異常 (産婦人科学：中村春樹)</p> <p>2020年6月3日(水)</p> <p>1時限目 妊娠高血圧症候群 (産婦人科学：市川麻祐子)</p> <p>2時限目 胎位・胎勢の異常、娩出力の異常、遷延分娩、分娩停止 (産婦人科学：市川麻祐子)</p> <p>3時限目 産科出血、産道損傷、産科手術学 (産婦人科学：市川麻祐子)</p> <p>4時限目 周産期医療の実際 (産婦人科学：市川麻祐子)</p> <p>5時限目 正常産褥、産褥期の異常 (産婦人科学：中村春樹)</p> <p>6時限目 胎児超音波診断、妊娠と薬 (産婦人科学：中村春樹)</p> <p>2020年6月9日(火)</p> <p>1時限目 新生児期の感染症と血液疾患 (新生児集中治療部門：内田優美子)</p> <p>2時限目 低出生体重児 (新生児集中治療部門：内田優美子)</p> <p>3時限目 新生児の生理的特徴 (新生児集中治療部門：西久保敏也)</p> <p>4時限目 先天異常(染色体異常、奇形、代謝異常) (新生児集中治療部門：西久保敏也)</p> <p>5時限目 新生児仮死と新生児期の呼吸障害 (新生児集中治療部門：釜本智之)</p> <p>6時限目 産科感染症、母体保護法 (産婦人科学：新納恵美子)</p>
学生へのメッセージ等	次世代を担う新しい生命の健やかな成長を守るためには必須な知識となる周産期の学習を、学生の皆様にわかりやすく、ご提供します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：法医学
概要	1) 社会における医療と法医学の位置づけ，医師の職業上の義務，医療事故が発生した場合の対処の仕方を修得するために，法医学にかかわる医師法，死体解剖保存法，刑事訴訟法などに関する法的な知識を理解する。 2) 死体検案とは何か，死因の判定，死亡時刻の推定の仕方，創傷の判別を修得し，死体現象について理解し，死体検案の仕方を理解する。 3) 異状死体とは何かを理解する。 4) 正しい死亡診断書および死体検案書の書き方を修得する。
目標	1) 医師の法的義務を列挙し，例示できる。 2) 医療事故に関連した基本的事項（行政処分，民事事件，刑事事件，司法解剖）を説明できる。 3) 死斑，死後硬直，体温の冷却などの死体現象および検案の仕方を説明できる。 4) 異状死体とは何か説明できる。 5) 様々な異状死体（溺死，焼死，窒息死，中毒など）の死体所見を説明できる。 6) 鋭器損傷や鈍器損傷など創傷の特徴を説明できる。 7) 死亡診断書と死体検案書の違いを説明でき，正確に記載することができる。
評価方法	本試験予定：2020年7月30日（木） 2時限目 記述試験の点数，実習の評価および出席日数を加味しておこなう。 再試験予定：2020年9月24日（木） 17:00～18:00
教科書・参考書	参考書： 身近な法医学 塩野寛・清水恵子 著 南山堂 標準法医学 石津日出雄・高津光洋 監修，池田典昭・鈴木廣一 編集 医学書院
授業計画	2020年5月21日(木) 粕田 承吾 1時限目 法医学総論Ⅰ 2時限目 法医学総論Ⅱ 3時限目 早期死体現象 2020年5月26日(火) 羽竹 勝彦 4時限目 後期死体現象 5時限目 窒息（縊死） 6時限目 窒息（絞死、扼死） 2020年6月2日(火) 粕田 承吾 4時限目 窒息（溺死、その他窒息） 5時限目 損傷（鋭器） 6時限目 損傷（鈍器） 2020年6月29日(月) 羽竹 勝彦 1時限目 損傷（銃器） 2時限目 頭部損傷 3時限目 高齢者虐待 2020年7月2日(木) 粕田 承吾 1時限目 乳幼児突然死症候群 2時限目 嬰兒殺 3時限目 小児虐待 2020年7月3日(金) 粕田 承吾 1時限目 焼死 2時限目 凍死、感電死 3時限目 内因性急死 2020年7月6日(月) 1時限目 交通外傷①（粕田 承吾） 2時限目 交通外傷②（粕田 承吾） 3時限目 物体検査（工藤 利彩） 2020年7月9日(木) 羽竹 勝彦 4時限目 薬物中毒 5時限目 薬物中毒 6時限目 薬物中毒 2020年7月17日(金) 粕田 承吾 1時限目 医事法学 2時限目 死体検案書の書き方 3時限目 死体検案書の書き方 2020年7月17日(金) 粕田 承吾 4時限目 死体検案書の書き方演習

	<p>5時限目 死体検案書の書き方演習 6時限目 死体検案書の書き方演習</p> <p>実習期間 2020年10月19日（月）～ 10月23日（金） アルコール検査、CO測定、死体検案書の作成等の実習を行う。 その評価を法医学統合試験の点数に反映する。</p>
学生へのメッセージ等	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
吉本清巳			
添付ファイル			
教育スタッフ	公衆衛生学講座 教授：今村知明 総合医療学講座 教授：西尾健治 総合医療学講座 講師：吉本清巳 非常勤講師：南奈良総合医療センター 在宅医療支援センター 明石陽介 健生会大福診療所 朝倉健太郎 天理よろづ相談所病院 在宅世話どりセンター 次橋幸男		
概要	本講義は2018年度から新設された講義である。在宅医療は古くから行われてきたが、1976年に病院死数が在宅死数を越え、日本では病院で最期を迎えるのが当然になりつつあった。しかし、高齢化社会を迎える現在、自分らしく自宅で最期を迎える在宅医療が再び見直されつつある。2000年から介護保険制度が開始され、多職種が関わるようになり、在宅で療養する仕組みが整備されるようになった。2006年の医療保険制度改正から在宅療養支援診療所制度が開始され、医療保険制度としても在宅医療に重点が置かれるようになり、現在は、地域包括ケアが推進され、医療政策的にさらに在宅医療を進める方向になっている。在宅医療は悪性腫瘍の緩和ケア・終末期医療、脳梗塞後の半身麻痺などだけではなく、神経難病、小児神経疾患などその幅は広がっている。本講義では、在宅医療について、その制度、現状について、実際に在宅医療を実践している講師による講義を交えて理解を深める。		
目標	在宅医療制度について理解する。 在宅医療の歴史や扱う疾患について理解する。 患者や家族が豊かな人生を送れるよう、家族指向でコミュニケーション重視の医療を理解する。 在宅医療における多職種連携について理解する。 在宅での看取りについて理解する。 地域包括ケアについて理解する。 クリニックが行う在宅医療について理解する。 大規模病院の在宅部門が行う在宅医療について理解する。 南和地域で行われている、地域を包括的にケアする在宅支援システムについて理解する。		
評価方法	本試験予定：2020年8月3日（月）4限目 再試験予定：2020年10月1日（木）17:00～18:00		
教科書・参考書	特に指定しない		
授業計画	6月1日(月) 4限 在宅医療と多職種連携、クリニックの在宅医療（大福診療所 朝倉健太郎） 5限 在宅医療と看取り、在宅世話どりセンターの在宅医療（天理よろづ病院 次橋幸男） 6限 在宅医療と地域医療、南奈良総合医療センターの在宅医療（南奈良総合医療センター 明石陽介） 6月8日(月) 4限 地域包括ケアシステムと地域医療構想・計画（公衆衛生学講座 今村知明）		
学生へのメッセージ等	外部講師の先生方の講義は、忙しい中来ていただきますので、積極的に出席してください。 6月1日の講義では、実際の症例に基づいて、グループワークをします。 在宅診療について、予習をしてきてください。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	<p>コース担当講座：救急医学 関連担当講座：循環器内科学、脳神経外科学、胸部・心臓血管外科学、整形外科、精神医学、泌尿器科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学、集中治療部</p>
概要	<p>1) 外傷・救急医学は、救命と同時に機能予後の向上を目的として救急病態に対応する医学であり、既存の臨床医学と比較し時間依存性の高い学問体系であることを理解する。 2) 様々な救急病態に陥った患者に対して、治療優先順位を決定し、蘇生・初期治療から根治的治療までの時間をいかに短縮して治療効果をあげるかを理論的に説明でき、基本的な救急処置の技能を修得する。 3) 病院前搬送から社会復帰までの1次から3次までの救急医療体制を理解する。 4) 救急集中治療学の概念について理解を深める。</p> <p>救急医学</p> <p>1. 救急医学総論・救急災害医療</p> <p>1) 救急医学どのような医学体系であるかを理解する。 2) 救急医学の重要性を認識し、救急医学および救急医療体制が本邦でいかに構築されてきたかを理解する。</p> <p>2. 心肺脳蘇生法</p> <p>1) 国際ガイドラインに基づく心肺脳蘇生法を理解し、実施できる。 2) Basic Life Support (BLS)、Advanced Cardiac Life Support (ACLS)等の標準化コースの概要を理解する。</p> <p>3. 救急集中治療医学</p> <p>1) 外科系・内科系に関わらず、重症患者における集中治療管理法を理解する。 2) 集中治療部の位置づけと役割を理解し、述べるができる。</p> <p>4. 内科系救急</p> <p>1) 集中治療が必要な各種疾患の病態把握を行い、疾患と病態に応じた治療を学ぶ。</p> <p>5. 小児救急</p> <p>1) 小児科疾患の中で、救急領域で扱う各疾患を理解しその対処法を学ぶ。</p> <p>6. 急性中毒</p> <p>1) 救急医学領域の急性薬物中毒について理解し、その対処法を学ぶ。</p> <p>7. 精神科救急</p> <p>外傷学</p> <p>1. 外傷学総論</p> <p>1) 今日における外傷学の必要性を認識し、外傷および外傷性ショックの病態について学習する。</p> <p>2. 頭部外傷</p> <p>1) 頭部外傷の病態を理解し、診断に至る思考過程と治療法について学習する。</p> <p>3. 顎顔面外傷・眼外傷・耳鼻咽喉気道損傷</p> <p>1) 顎顔面外傷・眼外傷・耳鼻咽喉気道損傷の特殊性を理解し、その病態と治療を学習する。</p> <p>4. 胸部外傷</p> <p>1) 胸部外傷の病態を理解し、その診断と治療について学習する。 2) 胸部外傷に対する初期治療の重要性を理解する。</p> <p>5. 腹部外傷</p> <p>1) 腹部外傷の病態を理解し、その診断にいたる思考過程と治療法を学習する。</p> <p>6. 整形外科的緊急外傷(脊椎・脊髄損傷、四肢外傷、骨盤骨折)</p> <p>1) 整形外科外傷の中で、特に救急医学領域で扱う各疾患の理解と対処方法を学ぶ。</p> <p>7. 泌尿器・腎外傷</p> <p>8. 多発外傷</p> <p>1) 多発外傷の概念を理解し、初期治療の治療戦略を学ぶ。</p> <p>9. 広範囲熱傷</p> <p>1) 広範囲熱傷の病態を把握し、治療法を理解する。</p>
目標	<p>救急医学</p> <p>1. 救急医学総論・救急災害医療</p> <p>1) 救急医学および救急医療システムの本邦での成り立ちから現状までの歴史を理解して叙述することができる。 2) 救急医学が必要とされている社会的背景を理解する。 3) 身体部位別の臨床専門医学との違いを述べるができる。 4) 救急医学が担当する疾患および外傷の分野を述べることができる。 5) 1次から3次までの救急医療体制を理解する 6) プレホスピタルケア、メディカルコントロール、救急救命士制度、救急告示医療機関、救急輪番制などの救急医療体制を理解する。</p> <p>2. 心肺脳蘇生法</p> <p>1) 心肺蘇生法に必要な気道確保、胸骨圧迫(心臓マッサージ)、除細動、救急医薬品の使用法を理解し、実施できる。 2) Basic Life Support (BLS)を理解し実施できる。 3) Advanced Cardiac Life Support (ACLS)を理解し、実施できる。 4) 心肺停止状態を理解し、その状態を説明することができる。</p> <p>3. 救急集中治療医学</p> <p>1) 急性呼吸不全のメカニズムと病態生理を理解する。 2) 急性呼吸不全の臨床症状と治療戦略を述べるができる。 3) 急性肝不全の病態と治療について理解し、述べることができる。</p>

- 4) 急性腎不全の病態と治療について理解し、述べるができる。
 - 5) 多臓器不全の診断と APACHE スコアについて理解する。
 - 6) 多臓器不全の病因・病態と治療について理解する。
 4. 内科系救急
 - 1) 急性心筋梗塞の診断・治療・病態管理を理解する。
 - 2) 重症急性膵炎の初療・管理・治療を理解する。
 - 3) 敗血症の病態把握・集中管理を理解する。
 - 4) 急性呼吸促進症候群 (ARDS) の診断・治療を理解する。
 - 5) 急性腎不全の初療・管理・治療を理解する。
 5. 小児救急
 - 1) 発熱を呈する疾患の病態、診断、治療を述べるができる。
 - 2) 痙攣に対する対処法、診断を述べるができる。
 - 3) 発疹を呈する疾患の病態、診断、治療を述べるができる。
 - 4) 咳、喘息に対する対処、診断を述べるができる。
 - 5) 腹痛、嘔吐、下痢、血便において鑑別診断ができ、適切な治療を述べるができる。
 - 6) 小児の呼吸困難、ショックについて対処法を述べるができる。
 - 7) 消化管異物、気道異物の診断ならびに対処法について述べるができる。
 6. 急性中毒
 - 1) 救急医学、災害医学領域における主要な薬物、毒物、劇物を列記できる。
 - 2) 小児、高齢者に多い家庭用品誤飲について理解し、対処法を述べるができる。
 - 3) 意識障害、臓器不全の原因の鑑別診断として急性薬物中毒の位置づけを理解し、診断方法を述べることができる。
 - 4) 主な急性薬物中毒への対処法、治療法を理解する。
 - 5) 拮抗薬の存在する薬物を挙げることができ、その治療的意義を理解する。
 - 6) 急性薬物中毒に対する呼吸・循環管理、血液浄化法について理解する。
 7. 精神科救急
- 外傷学
1. 外傷学総論
 - 1) 本邦の外傷学が欧米と比較して遅れた理由を理解し、今日における外傷学の必要性を述べるができる。
 - 2) 外傷に対する標準化コースである JATEC および JPTEC の概念を理解する
 - 3) Preventable Trauma Death (PTD) を説明できる。
 - 4) 外傷の重症度を解剖学のおよび生理学的に分けて説明できる。
 - 5) 出血性ショックの病態を説明できる。
 2. 頭部外傷
 - 1) Japan Coma Scale、Glasgow Coma Scale を用いて意識状態を正しく判定できる。
 - 2) 頭部外傷患者の初療時の理学所見から病態を推察できる。
 - 3) 急性硬膜外血腫、急性硬膜下血腫、脳挫傷、びまん性軸索損傷 (DAI) の診断、治療が理解できる。
 - 4) 緊急開頭手術の適応を判断できる。
 - 5) 頭蓋内圧亢進症状の把握と治療について理解する。
 - 6) 脳低体温療法の理論とその適応、実施方法について理解する。
 - 7) 脳死状態を正しく説明できる。
 - 8) 小児外傷の特徴を理解し、後遺障害について説明できる。
 3. 顎顔面外傷・眼外傷・耳鼻咽喉気道損傷
 - 1) 顎顔面外傷の特徴を列記できる。
 - 2) 顎顔面外傷の病態を説明できる。
 - 3) 顎顔面外傷の治療を理解し、模型を用いて治療を模倣する。
 - 4) 耳鼻咽喉気道損傷の特殊性を理解する。
 - 5) 上気道異物の病態を理解し、対処法を具体的に述べられる。
 4. 胸部外傷
 - 1) 胸部領域の主な外傷とその理学所見を列挙できる。
 - 2) 初療時の単純レントゲンや血液ガス所見などの簡便な検査で緊急度と重症度を判断できる。
 - 3) 呼吸不全・ショックを呈する胸部外傷について、それぞれの病態・診断・初期治療を述べるができる。
 - 4) 開胸手術の適応を判断でき、術後の合併症を列挙できる。
 - 5) 保存的治療を行う適応と注意点について述べるができる。
 - 6) 胸部外傷において救急室開胸の適応を列挙できる。
 - 7) 胸部外傷による心肺停止症例に対する開胸心マッサージの適応とその具体的手技を述べるができる。
 5. 腹部外傷
 - 1) 腹部外傷の部位によって想定される臓器障害を列挙できる。
 - 2) 実質臓器と管腔臓器のそれぞれが損傷を受けた場合の病態を理解する。
 - 3) 腹部理学所見の正確な取り方を習得する。
 - 4) 確実な診断を得るために、必要な検査を正しい順序で実施できる。
 - 5) 腹部単純 X 線検査、簡単な超音波検査・腹部 CT 検査の画像を読影できる。
 - 6) 肝・脾損傷、消化管穿孔などの所見を列挙でき、その治療手段を述べるができる。
 - 7) 開腹の適応を判断し、主な合併症について説明できる。
 6. 整形外科的緊急外傷 (脊椎・脊髄損傷、四肢外傷、骨盤骨折)
 - 1) 整形外科的緊急疾患を列記できる。
 - 2) 呼吸不全を呈する頸髄損傷の病態、診断、治療を述べるができる。
 - 3) 低血圧を呈する骨盤外傷に対する治療戦略を理解し、骨盤骨折の重症度、死亡率、予後について我が国の現状と欧米との比較ができる。
 - 4) 四肢主要動脈損傷・四肢高位切断の病態、診断、治療を述べるができる。
 - 5) 四肢主要動脈損傷・四肢高位切断について、明確な判断基準の下に切断か患肢温存かの判断ができ、その予後を推察できる。
 - 6) コンパートメント症候群について病態・診断基準とその対処法を述べるができる。
 - 7) 開放性骨折の初療とその分類による治療方針について述べるができる。
 - 8) 股関節脱臼の整復時間と合併症との因果関係について述べるができる。
 - 9) 多発外傷における整形外科治療の優先順位と早期骨固定の効果について理解する。
 7. 泌尿器・腎外傷
 8. 多発外傷
 - 1) 多発外傷の概念を理解する。
 - 2) AIS、ISS、Revised Trauma Score 等の重症度評価を理解する。
 - 3) JATEC、JPTEC の外傷治療標準化プログラムを理解する。
 - 4) 多発外傷患者の治療優先順位を決定でき、その対処方法を学ぶ。

	<p>5) 「防ぎ得る外傷死」の考え方を理解する。</p> <p>9. 広範囲熱傷</p> <p>1) 広範囲熱傷の重症度(熱傷深度、熱傷面積)を的確に把握できる。初期治療計画を立案できる。</p> <p>2) 熱傷創処置法、植皮術を理解し、熱傷処置における医療者の協力とリーダーシップの必要性を理解する。</p> <p>3) 広範囲熱傷における合併症の発症メカニズムを理解し、正しい治療方法を選択できる。</p> <p>4) 機能的予後を予測し、リハビリテーションの必要性を理解する。</p>
評価方法	<p>本試験予定：2020年7月27日(月) 4時限目</p> <p>再試験予定：2020年9月15日(火) 17:00～18:00</p>
教科書・参考書	<p>参考書：</p> <p>●救急診療指針：へるす出版(日本救急医学会編集)</p> <p>●Emergency Medicine—A comprehensive study guide—5th Edition：Tintinalli JE 編著 McGraw-Hill (図書館指定参考書)</p>
授業計画	<p>2020年6月5日(金)</p> <p>3時限目 呼吸不全の急性期管理(集中治療部：恵川 淳二)</p> <p>2020年6月10日(水)</p> <p>1時限目 救急医学総論(救急医学：福島 英賢)</p> <p>2時限目 外傷学総論(救急医学：福島 英賢)</p> <p>3時限目 中枢神経系救急(救急医学：古家一 洋平)</p> <p>2020年6月19日(金)</p> <p>4時限目 腎不全・肝不全の急性期管理(麻酔科学：西和田 忠)</p> <p>5時限目 多臓器不全の病態と治療(集中治療部：井上 聡己)</p> <p>6時限目 急性腹症(救急医学：畑 倫明)</p> <p>2020年6月22日(月)</p> <p>1時限目 心肺蘇生(救急医学：多田 祐介)</p> <p>2時限目 急性中毒(救急医学：福島 英賢)</p> <p>3時限目 骨盤骨折(救急医学：前川 尚宜)</p> <p>2020年6月25日(木)</p> <p>4時限目 尿路性器外傷(泌尿器科学：井上 剛志)</p> <p>5時限目 広範囲熱傷(救急医学：浅井 英樹)</p> <p>6時限目 外傷初期治療(救急医学：川井 廉之)</p> <p>2020年6月29日(月)</p> <p>4時限目 精神科救急(精神医学：北村 総一郎)</p> <p>5時限目 下肢の外傷(四肢外傷センター：河村 健二)</p> <p>6時限目 胸部外傷(救急医学：小延 俊文)</p> <p>2020年7月16日(木)</p> <p>1時限目 上肢の外傷・切断(四肢外傷センター：河村 健二)</p> <p>2時限目 循環器不全の病態と治療(胸部・心臓血管外科学：平賀 俊)</p> <p>3時限目 頭部外傷(脳神経外科学：朴 永銖)</p> <p>2020年7月21日(火)</p> <p>4時限目 耳鼻咽喉頭外傷(耳鼻咽喉・頭頸部外科：山下 哲範)</p> <p>5時限目 スポーツ医学(整形外科：小川 宗宏)</p> <p>6時限目 循環器救急(循環器内科学：渡邊 真言)</p> <p>2020年7月22日(水)</p> <p>5時限目 腹部外傷(救急医学：瓜園 泰之)</p> <p>6時限目 集中治療医学総論(集中治療部：後藤 安宣)</p>
学生へのメッセージ等	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	教授：西尾健治 地域医療学教授：赤井靖宏 講師：吉本清巳 助教：矢田憲孝 非常勤講師：明日香村国民健康保険診療所 武田以知郎 天理よろづ相談所病院 総合診療教育部・救急診療部 石丸裕康 高知県 大井田病院 大野史郎		
概要	総合診療は、幅広い医療ニーズに対応する医療であり、新専門医制度から総合診療専門医が新設される。総合診療、総合内科として、どの診療科でも共通する医療面接、身体診察、臨床推論の理論と実践を理解する。家庭医療、在宅医療、救急ER診療、災害医療、病院総合診療、感染症など、総合診療に関わる医療について理解し、患者中心の医療・全人的医療について理解する。		
目標	<p>総合診療総論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日本と世界の総合内科医、総合診療医、家庭医の現状について理解する。 <p>総合診療各論</p> <ol style="list-style-type: none"> 2) 医療面接、身体診察を理解し実践できる。 3) 頻度、重症度、緊急度を意識した臨床推論ができる。 4) 主訴、症状に応じて、頻度、重症度、緊急度を意識した鑑別診断が挙げられる。 5) 複雑、複数の臨床問題を抱える症例の対応について理解する。 6) 医療保険制度について理解する <p>家庭医療概論</p> <ol style="list-style-type: none"> 7) 患者中心の医療の方法について、その考え方と技法について理解し、説明できる。 8) 家族志向のケア、生物心理社会的モデルについて理解する。 <p>ER・災害医療・病院総合診療・感染症・海外支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 9) ERの現場での診療の手順、救急患者の対応について説明できる。 10) 総合診療でよく遭遇する感染症、その他熱帯感染症、旅行者感染症等について理解する。 11) 海外支援について理解する。 12) 災害現場での医療の特徴について説明できる。 13) 日本のDMAT活動について説明できる。 <p>まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> 14) 全人的医療の実践について理解する 		
評価方法	本試験予定：2020年8月3日（月）4限目 再試験予定：2020年10月1日（木）17:00～18:00		
教科書・参考書	教科書 特に指定しない 参考書 新・総合診療医学(家庭医療学編) 藤沼康樹 カイ書林 新・総合診療医学(病院総合診療医学編) 徳田安春 カイ書林		
授業計画	<p>2020年</p> <p>6月5日(金)</p> <p>4限 総合診療総論 (総合医療学 西尾健治)</p> <p>5限 身体診察 (総合医療学 西尾健治、吉本清巳)</p> <p>6限 ER診療と救急患者の対応 (総合医療学 矢田憲孝)</p> <p>6月12日(金)</p> <p>4限 病院総合診療について (天理よろづ相談所病院 総合診療教育部 石丸裕康)</p> <p>5限 総合診療各論 (天理よろづ相談所病院 総合診療教育部 石丸裕康)</p> <p>6限 総合診療と感染症、Rural Generalist (大井田病院 大野史郎)</p> <p>7月6日(月)</p> <p>4限 医療面接 (総合医療学 吉本清巳)</p> <p>5限 家庭医療、患者中心の医療 (総合医療学 吉本清巳)</p> <p>6限 地域医療について (明日香村国民健康保険診療所 武田以知郎)</p> <p>7月14日(火)</p> <p>4限 日本と海外の総合診療医、専門医制度について (地域医療学 赤井靖宏)</p> <p>5限 災害医療・統合医療 (総合医療学 西尾健治)</p> <p>6限 臨床推論・まとめ (総合医療学 西尾健治)</p>		
学生へのメッセージ等	外部講師の先生方の講義は、忙しい中来ていただきますので、積極的に出席してください。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	コース担当講座：産婦人科学 関連担当講座：放射線医学、病理診断学
概要	1) 女性が一生を通じて生活の質 (QOL) を維持できるよう支援するために、女性生殖器の解剖と機能、および女性特有の内分泌生理、さらにはこれらに生ずる機能的ならびに器質的疾患について、思春期前期、思春期、性成熟期、閉経前期、閉経期、老年期という女性のライフサイクル毎に理解する。 2) 女性は新しい生命を育む性であるとの認識のもとに、その尊厳を守るために健全な生殖現象の成立に必要な生理機能とこれを阻害する因子を理解する。
目標	1) 生殖器の発生と分化について説明する 2) 女性生殖器の解剖を述べる 3) 視床下部-下垂体-卵巣系の内分泌学的調節機構について説明する 4) 月経周期による子宮内膜変化について説明する 5) 排卵のしくみを説明する 6) 女性生殖器における主な先天異常につき、発生機序、症状、治療法を列挙する 7) 卵巣機能障害や月経異常の原因、診断法、治療法を述べる 8) 不妊の原因、診断法、治療法を述べる 9) 不育症について説明する 10) 子宮筋腫の症状、病態、診断法、治療法を述べる 11) 子宮腺筋症の症状、病態、診断法、治療法を述べる 12) 子宮内膜症の症状、病態、診断法、治療法を述べる 13) 子宮頸部上皮異形成について説明する 14) 子宮頸癌の疫学、組織型、進行期別分類、診断法、治療法を述べる 15) 子宮内膜増殖症について説明する 16) 子宮体癌の疫学、組織型、進行期別分類、診断法、治療法を述べる 17) 骨盤内腫瘍性病変の鑑別診断を列挙する 18) 卵巣腫瘍の分類について説明する 19) 主な良性卵巣腫瘍の症状、診断法、治療法を述べる 20) 主な卵巣悪性腫瘍の病理学的特徴、診断法、治療法を述べる 21) 主な女性生殖器疾患の画像診断所見を列挙する 22) 放射線治療の適応、随伴障害を述べる 23) 癌化学療法について、使用される主な薬剤、副作用およびその対策を説明する 24) 骨粗鬆症の病態と女性ホルモンとの関係につき説明する 25) 更年期障害の症状、治療法を述べる 26) 性器脱の種類、症状、治療法を述べる 27) 漢方医学と西洋医学の融合に関する知識を習得する
評価方法	本試験予定：2020年7月30日（木）4時限目 再試験予定：2020年9月25日（金）17:00～18:00
教科書・参考書	教科書： 病気がみえる 婦人科・乳腺外科 医療情報科学研究所（編集）メディックメディア（発行） 標準産科婦人科学（標準医学シリーズ）岡井 崇、綾部 琢哉 出版 医学書院 参考書： Berek and Novak's Gynecology, 15th ed. J. S. Berek他編 出版Lippincott Williams & Wilkins
授業計画	2020年6月10日(水) 4時限目 産婦人科領域の病理学①（病理診断学：内山智子） 5時限目 女性生殖器の発育、形成、機能（産婦人科学：長安実加） 6時限目 生殖器の先天異常（産婦人科学：長安実加） 2020年6月17日(水) 4時限目 産婦人科領域の病理学②（病理診断学：内山智子） 5時限目 性器脱、更年期障害、骨粗鬆症（産婦人科学：長安実加） 6時限目 不妊症、不育症（産婦人科学：山田有紀） 2020年6月24日(水) 4時限目 産婦人科領域の病理学③（病理診断学：内山智子） 5時限目 卵巣機能障害と月経異常（産婦人科学：山田有紀） 6時限目 婦人科感染症、産婦人科漢方医学（産婦人科学：山田由紀） 2020年7月1日(水) 4時限目 子宮筋腫・子宮腺筋症（産婦人科学：馬淵誠士） 5時限目 子宮頸部上皮異形成と子宮頸癌（産婦人科学：馬淵誠士） 6時限目 産婦人科領域の画像診断 MRIを中心に（放射線医学：高濱潤子） 2020年7月8日(水) 4時限目 子宮内膜増殖症と子宮体癌（産婦人科学：馬淵誠士） 5時限目 卵巣腫瘍（産婦人科学：馬淵誠士） 6時限目 子宮内膜症（産婦人科学：馬淵誠士）

学生へのメッセージ等	女性生殖器の解剖と機能、および女性特有の内分泌生理、さらにはこれらに生ずる機能的ならびに器質的疾患を学び、女性が一生を通じて生活の質（QOL）を維持できるよう支援可能となる知識を身につけましょう。
------------	--

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	コース担当講座：口腔外科学 関連担当講座：分子病理学		
概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 種々の疾患における特徴的な口腔内所見と口腔管理の重要性について認識するために、医師として必要な顎口腔領域疾患および口腔機能障害に関する知識を理解する。 2. 口腔管理の重要性を認識するために、歯牙歯周疾患と他の疾患との関連性を理解する。 3. がん治療における有害事象の軽減ならびに周術期における口腔管理の重要性を理解する。 4. 摂食・嚥下機能およびそのリハビリテーションにおける口腔機能の重要性を理解する。 		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔外科的疾患患者の診査・診断を実施する。 2. 口腔模型を作成し、口腔解剖について説明する。 3. 歯周病について理解し、口腔衛生指導の重要性について述べる。 4. 顎骨骨折の特徴を列記し、模型実習にて顎間固定を実施する。 5. 口腔外科手術に参加し、基本的な手術手技を修練する。 6. 病棟回診に参加し、口腔外科入院患者の疾患の特徴とその管理について説明する。 7. 顎顔面矯正学および口腔機能調査を実施し、その結果を説明する。 8. 咬合咀嚼機能と顎関節症について関連づけ、説明する。 9. 口腔悪性腫瘍および前癌病変について説明する。 10. 口腔領域の形成異常の成因について推論する。 11. 口腔領域の嚢胞性疾患、粘膜疾患、唾液腺疾患について具体的に述べる。 12. 歯原性腫瘍を列挙し、その特徴を説明する。 13. 口腔顎顔面再建について説明し、解説する。 14. 癌化学療法、放射線療法における口腔ケアの重要性について理解する。 15. 口腔疾患の病理ならびに分子生物学的事項について理解する。 		
評価方法	本試験予定：2020年7月29日（水） 2時限目 再試験予定：2020年9月18日（金） 17：00～18：00		
教科書・参考書	教科書： 全国医学部附属病院歯科口腔外科学科長会議 編：口の中がわかるービジュアル歯科口腔科学読本ー2017 クインテッセンス出版 第1版 白砂兼光・古郷幹彦 編：口腔外科学 2010（医歯薬出版）第3版 参考書： Kirita, T., Omura, K. : Oral Cancer. 1st. ed. 2015, Springer El-Nagger, A., Chan J. K. C., et al : WHO Classification, Head and Neck Tumours. 2017, IARC. Shah, J. P. : Oral Cancer. 1st. ed. 2003, Martin Dunitz Shah, J. P. : Head & Neck Surgery & Oncology. 4th. ed. 2012, Mosby. 石川悟朗：口腔病理学Ⅰ 1989（永末書店）第3版、口腔病理学Ⅱ 1982（永末書店）第2版 日本口腔腫瘍学会、日本口腔外科学会/編：科学的根拠に基づく口腔癌診療ガイドライン 2013金原出版 日本口腔腫瘍学会/編：口腔癌取扱い規約 2019（金原出版）第2版		
授業計画	2020年6月11日（木） 4時限目 口腔外科学総論（桐田忠昭） 5時限目 顎口腔領域の先天異常（山川延宏） 6時限目 歯原性腫瘍・歯原性嚢胞（山川延宏） 2020年6月18日（木） 4時限目 歯牙外傷を含む顎顔面外傷Ⅰ（堀田 聡） 5時限目 歯牙外傷を含む顎顔面外傷Ⅱ（堀田 聡） 6時限目 唾液腺疾患（桐田忠昭） 2020年7月1日（水） 1時限目 顎発育と異常Ⅰ（川上正良） 2時限目 顎発育と異常Ⅱ（山本一彦） 3時限目 口腔疾患の病理（嚢胞・良性腫瘍・歯原性腫瘍等）（笹平智則（分子病理）） 2020年7月8日（水） 1時限目 口腔前癌病変と悪性腫瘍Ⅰ（桐田忠昭） 2時限目 口腔前癌病変と悪性腫瘍Ⅱ（桐田忠昭） 3時限目 口腔癌・前癌病変の病理（笹平智則（分子病理）） 2020年7月15日（水） 1時限目 口腔顎顔面再建Ⅰ（桐田忠昭） 2時限目 口腔顎顔面再建Ⅱ（桐田忠昭） 3時限目 顎関節疾患（川上哲司） 4時限目 摂食と嚥下機能（館村 卓） 5時限目 口腔粘膜疾患（山本一彦） 6時限目 唾液腺疾患の病理（笹平智則（分子病理））		
学生へのメッセージ等			

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			

教育スタッフ	コース担当講座：麻酔科学 関連担当講座：薬理学
概要	周術期や疼痛時の心身の危機的状況を緩和・制御するために、各種疾患の病態生理と麻酔・鎮痛薬の薬理とを理解し、安全で質の高い周術期管理と鎮痛法の基礎を修得する。
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 全身麻酔の要素を列挙できる。 2) 術前評価の要点とその基本的対策を述べることができる。 3) 麻酔前投薬の種類と特徴を列挙できる。 4) 気道確保と人工呼吸の方法を述べることができる。 5) 麻酔器と麻酔回路の基本的構造・機能と使用法を説明できる。 6) 全身麻酔の種類と方法を述べることができる。 7) 吸入麻酔薬の種類と特徴を列挙できる。 8) 静脈麻酔薬の種類と特徴を列挙できる。 9) 麻薬性鎮痛薬の種類と特徴を列挙できる。 10) 筋弛緩薬の作用機序を説明し、その種類と特徴（適応と禁忌）を述べることができる。 11) 局所麻酔薬の作用機序を説明でき、その種類・特徴と使用法を述べることができる。 12) 脊椎麻酔、硬膜外麻酔の基本手技を述べ、両者の特徴と差異を列挙できる。 13) 周術期の鎮痛法を具体的に説明できる。 14) 麻酔に関連する合併症を列挙し、その基本的対処法を述べることができる。 15) 麻酔時に各種モニタリングの適応を述べ、得られたデータを評価できる。 16) 手術・麻酔中の呼吸・循環系および体液系の変化とその管理法を述べることができる。 17) 急性痛、慢性痛、癌性疼痛の特徴と差異を列挙し、その基本的対処法を述べることができる。 18) 痛みの伝達経路と疼痛抑制機構を説明できる。 19) 神経ブロック療法の適応、方法、合併症を列記することができる。 20) 癌性疼痛の病態と治療指針を述べることができる。 21) 緩和医療の概念、方法を述べることができる。
評価方法	本試験予定：2020年7月28日（火）2時限目 再試験予定：2020年9月16日（水）17：00-18：00
教科書・参考書	教科書：標準麻酔科学（第5版）：熊澤光生・弓削 孟・古家 仁（医学書院） 参考書： Anesthesia：Miller Churchill Livingstone（南江堂） 臨床麻酔レジデントマニュアル：古家 仁 編集（医学書院） 麻酔科診療プラクティス：稲田英一 編集（文光堂） ペインクリニック診断・治療ガイド 大瀬戸清茂 監修（日本医事新報社）
授業計画	<p>2020年6月15日（月）</p> <p>4時限目 全身麻酔薬、麻薬鎮痛薬（薬理学：吉栖 正典） 5時限目 全身麻酔薬、麻薬鎮痛薬（薬理学：吉栖 正典） 6時限目 全身麻酔薬、麻薬鎮痛薬（薬理学：吉栖 正典）</p> <p>2020年6月22日（月）</p> <p>4時限目 局所麻酔薬、筋弛緩薬（薬理学：吉栖 正典） 5時限目 局所麻酔薬、筋弛緩薬（薬理学：吉栖 正典） 6時限目 伝達麻酔（麻酔科学：藤原 亜紀）</p> <p>2020年6月25日（木）</p> <p>1時限目 麻酔について（麻酔科学：川口 昌彦） 2時限目 気道管理（麻酔科学：阿部 龍一） 3時限目 術前患者管理（麻酔科学：北口 勝康）</p> <p>2020年7月 2日（木）</p> <p>4時限目 周術期合併症（麻酔科学：内藤 祐介） 5時限目 術中モニタリング（麻酔科学：新城 武明） 6時限目 痛みとペインクリニック（麻酔科学：山上 裕章）</p> <p>2020年7月10日（金）</p> <p>1時限目 血管確保と安全管理（麻酔科学：中川 雅史） 2時限目 小児麻酔・産科麻酔（麻酔科学：位田 みつる） 3時限目 麻酔と統計（麻酔科学：田中 優）</p> <p>2020年7月13日（月）</p> <p>1時限目 緩和医療（緩和ケア：四宮 敏章） 2時限目 心臓血管手術の麻酔（麻酔科学：吉谷 健司） 3時限目 集中治療と急変対応（麻酔科学：安宅 一晃）</p> <p>2020年7月14日（火）</p> <p>1時限目 術後疼痛管理（麻酔科学：中本 達夫） 2時限目 心肺蘇生法（麻酔科学：下川 充）</p>

	3時限目 脳神経疾患の麻酔 (麻酔科学：植村 景子)
学生へのメッセージ等	周術期管理や疼痛管理の基礎を勉強しましょう。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			

教育スタッフ	【教育スタッフ】 <病理診断学> 大林千穂（教授）・畠山金太（准教授）・藤井智美（講師）・伊丹弘恵（助教）・森田剛平（助教）・内山智子（診療助教）・中峯寛和（非常勤講師）・島田啓司（非常勤講師）・廣瀬隆則（非常勤講師）・佐々木翔 <分子病理学> 國安弘基（教授）・笹平智則（講師）・谷里奈（助教）
概要	【概要】 病理学実習では、各領域での病理学各論講義で学習した疾患を実際の病理標本を用いて観察する。所見を描写・記載することで、診断のポイントを習得する。
目標	【一般教育目標（GIO）】 ①正常組織を理解したうえで、何が、どの様に異常か知る。 ②炎症疾患における組織反応や炎症細胞の形態的特徴や病態を理解する。 ③腫瘍において構造や細胞の異型とは何かを理解する。 ④各疾患の特徴的病理像を標本上に確認し、その所見を言葉で表現できる。 ⑤形態学診断の限界を知る。 ⑥免疫組織化学の意義や標本の判定方法を理解する。
評価方法	【評価方法】 ①領域別に実習標本のデジタル画像を用いて理解度のテストを行う。 ②出席点を加味する。 ③以上の総合評価判定を行うが、不合格者にあつては口頭試験を課することがある。
教科書・参考書	【教科書・参考書】 ①青笹克之 編「解明病理学」（第2版）、医歯薬出版、2013 ②鈴木利光 ほか監訳「ルービン病理学 - 臨床医学への基盤 -」、西村書店、2007 ③小田義直 ほか監修「組織病理アトラス（第6版）」、文光堂、2015 ④鷹橋浩幸 ほか監訳「ロビンス&コトラン病理学アトラス」、エルゼビア・ジャパン、2009 ⑤Kumar V, et al "Robbins Pathology", (9th ed.) Saunders Elsevier, 2014 ⑥Rubin R, et al "Rubin's Pathology", (7th ed.) Wolters Kluwer, 2014
授業計画	【実習内容】 2020年11月2日（月） 1～3時限目 「呼吸器・内分泌・乳腺」 大林 4～6時限目 「腎・尿路」 藤井・伊丹 2020年11月4日（水） 1～3時限目 「肝胆膵」 森田 4～6時限目 「口 腔」 笹平 2020年11月5日（木） 1～3時限目 「婦人科」 内山 4～6時限目 「血液・網内系」 中峯 2020年11月6日（金） 1～3時限目 「循環器・運動器」 畠山 4～6時限目 予 備 2020年11月9日（月） 1～3時限目 予 備 4～6時限目 「消化器」 國安 2020年11月10日（火） 1～3時限目 「脳神経」 佐々木/森田 4～6時限目 予 備 ・実習場所は全て基礎棟5階組織実習室とする。 ・原則的にパワーチャルスをスライドを用いるが、希望者は顕微鏡での観察を併用してもよい。 ・予定日と領域・担当教員は入れ替わることがある。
学生へのメッセージ等	

共用試験 CBT (Computer Based Testing)

科目責任者：臨床教育部長

実施責任者：教育開発センター

実施母体：社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構

■概要

医学知識（基礎医学・臨床医学）の総合的到達度を、コンピュータを用いた全国共通テストで評価する

■目標

臨床実習を始める前に備えるべき必要最低限の総合的医学知識を評価する

■評価方法

共用試験実施評価機構から示される全国成績・解析結果を受けて、合格または不合格を判定

■合否判定

- ①本試験は、能力値（ θ ）が400以上をもって合格とする。不合格者は再試験を受験することができる。
- ②再試験及び追試験は、能力値（ θ ）が400以上をもって合格とする。

■計画

日：2020年9月9日（水）、10日（木）

（※学籍番号順に学生を前半・後半に分け、2日間で実施）

於：教養教育棟第2講義室

■受験料

25,000円（2020年度 予定）

※ CBT及びPre-CC OSCEを併せた料金

共用試験 Pre-CC OSCE

(Pre-Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination)

科目責任者：臨床教育部長

実施責任者：教育開発センター

実施母体：社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構

■概要

臨床実習で診療に参加するために必要な基本的技能・態度の修得度を評価する全国共通の臨床技能試験

■目標

臨床実習を始める前に備えるべき必要最低限の基本的診療技能・態度を評価する。

■評価方法

共用試験実施評価機構から示される評価方法を採用

■合否判定

① 本試験合格基準

全てのステーションにおいて、得点率60%以上かつ概略評価3.0以上を得なければならない。

不合格者は合格基準を満たさなかったステーションの再試験を受けることができる。

② 再試験合格基準

再試験対象ステーション全てにおいて、得点率60%以上かつ概略評価3.0以上を得なければならない。

■教科書・参考書

臨床手技実習ガイドライン（授業前に配布します）

■計画

日：2020年10月3日（土）

於：教育研修棟

■受験料

25,000円（2020年度 予定）

※ CBT及びPre-CC OSCEを併せた料金

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
石井 均、皆藤 章			
添付ファイル			

教育スタッフ			
概要	<p>授業の概要</p> <p>医療とは、医学を基礎とし、人の疾病の診断、治療、予防、健康の支援に努める術（アート、テクネー）である。それは元来、「癒しの術」とよばれた技術的・人間的行為であり、“医師-患者関係”を基盤に機能する臨床実践である。本講義は、医療行為に必要不可欠なこの課題に向き合うために、関係のパラダイムを基盤にして、医師と患者双方の視点を織り交ぜながら実践的な学習をする。</p>		
目標	<p>授業のねらい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病（やまい）と疾患の違いを知る：個人の体験としての病気とは（医師-患者関係学総論） 2) 患者の話を「聴く」ということ—それがもたらす効果について学習する。 3) 臨床場面における医師の言葉と態度の重みを認識する。 4) 患者の体験的視点から医師-患者関係を知る。 5) 患者の話から物語（ストーリー）を汲みとる練習をする。 6) 生命と「いのち」の違いを認識し、医師の姿勢を考える。 7) 「臨床」の本来の意味、「臨床の知」について考える。 		
評価方法	出席および発表を前提として、レポートを併せて評価する。		
教科書・参考書	<p>教科書</p> <p>推奨する教科書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石井均『糖尿病医療学入門—こころと行動のガイドブック』医学書院。教科書形式でまとまっているが、やや専門的。 <p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石井均編『病を引き受けられない人々のケア』医学書院—9人の識者との病と医師-患者関係をめぐる対話。 ・石井均『糖尿病診療よろづ相談』メジカルビュー—症例（治療法、合併症ごと）を通じて医師-患者関係を学ぶ。 ・河合隼雄『生と死の接点』岩波書店 ・アーサー・クラインマン『病の語り』誠信書房 ・皆藤章監修『いのちを巡る臨床』創元社 ・石井均他訳『糖尿病こころのケア』医歯薬出版 ・川喜田愛郎『医学概論』ちくま学芸文庫 ・中村雄二郎『臨床の知とは何か』岩波新書 		
授業計画	<p>授業内容</p> <p>第1回 2020年5月14日（木） 1-3限 Aグループ 医師-患者関係（1）総説と各論、症例 患者が語る病の体験と医師-患者関係 医師-患者関係（2）いのちをめぐる医師-患者関係</p> <p>第2回 2020年5月28日（木） 1-3限 Bグループ 医師-患者関係（1）総説と各論、症例 患者が語る病の体験と医師-患者関係 医師-患者関係（2）いのちをめぐる医師-患者関係</p> <p>第3回 2020年6月18日（木） 1-3限 Aグループ 第1回の授業を受けての振り返り</p> <p>第4回 2020年7月9日（木） 1-3限 Bグループ 第2回の授業を受けての振り返り</p>	<p>授業形態</p> <p>講義と討論</p> <p>講演と討論</p> <p>講義と討論</p> <p>講義と討論</p>	<p>担当者</p> <p>石井 均 皆藤 章 患者さん</p> <p>石井 均 皆藤 章 患者さん</p> <p>石井 均 皆藤 章</p> <p>石井 均 皆藤 章</p>
学生へのメッセージ等	<p>医師を目指すにあたり、科学としての医学をしっかりと学習することは必須です。その一方で病を持つ人をケアするところをもち、病を持つ人の視点に立って診断、検査、治療が行えるよう、医師としての人間性を育てていく必要があります。そのことへの気づきと訓練の場としたいと思っています。</p>		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
-			
添付ファイル			
-			
教育スタッフ	関連担当講座：教育開発センター、循環器内科学、腎臓内科学、呼吸器内科学、消化器内科学、脳神経内科学、感染症センター、消化器・総合外科学、脳神経外科学、胸部・心臓血管外科学、整形外科学、産婦人科学、精神医学、泌尿器科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学、放射線医学、救急医学、口腔外科学、麻酔科学、腫瘍センター、中央臨床検査部、リウマチセンター、中央内視鏡・超音波部、女性研究者・医師支援センター		
概要	<p>臨床実習に入る前に、患者本位の医療の実践を学習し、学生医（student doctor）として患者診察の基本を身につけ、本学附属病院の診療システムの概要を把握するために、臨床各科に共通する基本的臨床技能、知識、態度・習慣を修得する。詳細は最新版の「診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目」に準拠して行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療面接 面接技法の実習では、患者へのマナー、インタビュー（面接）技法の基本を理解し、臨床現場で実践できる。 2) 頭頸部診察 頭頸部・全身診察の実習では、頭部、頸部、全身的診察の基本を理解し、臨床現場で実践できる。 3) 胸部診察 胸部診察の実習では、胸部の診察の基本を理解し、臨床現場で実践できる。 4) 腹部診察 腹部診察の実習では、腹部の診察の基本を理解し、臨床現場で実践できる。 5) 神経学的診察 神経診察の実習では、神経系の診察の基本を理解し、臨床現場で実践できる。 6) 基本的臨床手技 基本的臨床手技実習では、簡単な皮膚切開・縫合の基本を理解し実践できる。 7) 蘇生・呼吸管理 蘇生呼吸管理実習では、救急蘇生と呼吸管理の基本を理解し実践（モデル人形など）できる。 8) 四肢脊柱診察 四肢脊柱診察実習では、四肢と脊柱診察の基本を理解し実践できる。 		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 医療面接 <ol style="list-style-type: none"> a. POSに従って面接を進め、面接で得るべき要件を述べることができる。 b. ロールプレイにより学生同士および模擬患者（SP）でインタビューを実践できる。 c. 症例のシナリオに従って、医療面接をロールプレイで実践できる。 d. 患者に対する質問法、医師の応答の類型を述べることができる。 2) 頭頸部診察 <ol style="list-style-type: none"> a. 頭頸部・全身の診察を行うにあたり患者への配慮が出来る。 b. 体格、皮膚、四肢の視診、触診が正しくできる。 c. 眼球結膜、口腔内の診察が正しくできる。 d. 頸部、鎖骨上窩、腋下部リンパ節、甲状腺の触診が正しくできる。 3) 胸部診察 <ol style="list-style-type: none"> a. 胸部の診察を行うにあたり患者への配慮が出来る。 b. 的確にバイタルサインを把握できる。 c. 胸部の視診、打診、触診が正しくできる。 d. 呼吸音、心音の聴診が正しくできる。 4) 腹部診察 <ol style="list-style-type: none"> a. 腹部の診察を行うにあたり患者への配慮が出来る。 b. 腹部の視診、聴診、打診が正しくできる。 c. 腹部の触診（肝臓、腎臓、脾臓）を正しく進めることができ、筋性防御、腹水などの重要な所見を指摘できる。 5) 神経学的診察 <ol style="list-style-type: none"> a. 神経系の診察を行うにあたり患者への配慮が出来る。 b. 脳神経の診察が正しくできる。 c. 上肢、下肢の深部反射、病的反射の診察が正しくできる。 d. 運動神経、感覚神経の診察が正しくできる。 6) 基本的臨床手技 <ol style="list-style-type: none"> a. 清潔操作を実践できる。 b. 皮膚消毒ができる。 c. 簡単な皮膚の切開と縫合を行うことができる（モデル実習）。 7) 蘇生・呼吸管理 <ol style="list-style-type: none"> a. 意識、呼吸状態の確認が出来る。 b. 人工呼吸を正しく実践できる（モデル人形）。 c. 心マッサージを正しく実施できる（モデル人形）。 d. 蘇生・呼吸管理の基本的技能を正しく実践できる。 8) 四肢脊柱診察 <ol style="list-style-type: none"> a. 脊柱、上肢、下肢の診察が正しくできる。 		
評価方法	試験予定：共用試験OSCE（2020年10月3日（土））		
教科書・参考書	<p>教科書： 臨床手技実習ガイドラインを用いる。 「診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目」 共用試験OSCE教育・学習用DVD（実習期間中閲覧可能）</p>		

	<p>参考書：</p> <p>(1) 内科診断学：武内重五郎著、南江堂</p> <p>(2) A Guide to Physical Examination and History Taking：Barbara Bates, Lippincott</p> <p>(3) 新外科学体系：中山書店</p> <p>(4) 図説 救急医学講座：メディカルビュー社</p>
授業計画	<p>2020年9月14日～10月1日の間の12日間で行う。 共用試験実施機構のOSCE学習評価項目に準拠した学習をする。</p> <p>少人数グループに分かれて下記項目をローテーションする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接（教育開発センター、ロールプレイと模擬患者） 2. 頭頸部（耳鼻咽喉・頭頸部外科学） 3. 胸部（心臓、肺）・バイタルサイン（循環器内科学と呼吸器内科学） 4. 腹部（消化器内科学） 5. 神経診断（脳神経内科学） 6. 蘇生・呼吸管理（救急医学、麻酔科学） 7. 基本的臨床手技・清潔操作、縫合、抜糸、血管確保（外科学4講座のいずれか） 8. 四肢、脊柱（整形外科学） <p>1～8は診断学実習ガイドラインに準拠する。</p>
学生へのメッセージ等	<p>実習期間中に欠席のないように、健康管理に気を付けて下さい。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	統合臨床講義	-	必修
担当教員			
池邊 寧			
添付ファイル			

教育スタッフ	池邊 寧（奈良医大教養教育部門）、松田明子（奈良医大看護学科）、瀬戸山晃一（京都府立医大）		
概要	医療と医学研究における倫理の重要性を理解するためには、具体的な事例において倫理的な問題点の所在を認識することが重要である。本講義では、事例検討を通じて、問題解決をはかるための基本的な知識・技能・態度を身につける。		
目標	1) 臨床実習に臨む医学生にふさわしい倫理的態度を説明し、演じられる。 2) 医療倫理の歴史と現状について説明できる。 3) 医療倫理の基礎と理論について説明できる。 4) 医療における倫理的な諸問題について説明できる。 5) 医療倫理にかかわる具体的な事例を分析し、自分で対応策を立てることができる。 6) 多様な価値観に理解を示し、グループ討論を通して妥当な判断を導き出すことができる。		
評価方法	発表、レポート、出席状況をあわせて総合的に評価する		
教科書・参考書	教科書 使用しない。適宜、プリントを配布する。 参考書 講義中に紹介する		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 2020年10月5日（月） オリエンテーション	講義	池邊 寧
	第2回 2020年10月5日（月） 事例検討のあり方について（1）－看護学の視点から－	講義	松田明子
	第3回 2020年10月6日（火） 事例検討のあり方について（2）－倫理学の視点から－	講義	池邊 寧
	第4回 2020年10月6日（火） 事例検討のあり方について（3）－法と臨床倫理の視点から－	講義	瀬戸山晃一
	第5回 2020年10月7日（水） 事例検討	グループワーク	池邊 寧
	第6回 2020年10月7日（水） 総合討論	総合討論	池邊 寧
学生へのメッセージ等	臨床医学の座学を終わったばかりの学生は、医療倫理のキーワードを聞いたことがあっても、内容の理解は全くできていないと考えられます。今回の授業を機会に、臨床医学の知識を踏まえて、臨床医にとって重要な医療倫理学の基本的な考え方を理解しましょう。		

講義科目名称： コンソーシアム実習

授業コード： I180240

英文科目名称： Consortium Practicum

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1～6年	-	選択（研究医養成コースの学生は必修）
担当教員			
藤本 眞一			
添付ファイル			

教育スタッフ			
概要	<p>1) 対象：医学科1～6年次 自由選択科目 開講される科目、日時などの詳細は別途周知する。</p> <p>2) 実習内容 夏季休業中に早稲田大学（東京）あるいは本学で開講される特別講義（月曜日～金曜日、合計30時間の集中講義、ワークショップ）を履修する。講義は、早稲田大学と本学の両方の教員が分担する。</p>		
目標	「医工学と医学」、「地域医療学概論」についての理解を深める。		
評価方法	出席点、レポートで総合的に評価する。		
教科書・参考書	<p>教科書 特になし。授業中に資料を配布します。</p> <p>参考書 特になし</p>		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
	第1回 コンソーシアム実習 1日目	講義	担当教員
	第2回 コンソーシアム実習 2日目	講義	担当教員
	第3回 コンソーシアム実習 3日目	講義	担当教員
	第4回 コンソーシアム実習 4日目	講義	担当教員
	第5回 コンソーシアム実習 5日目	講義	担当教員
学生へのメッセージ等	他大学の学生と触れ合う貴重な機会です。奮ってご参加ください。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1～4年	-	必修（緊急医師確保枠の学生）
担当教員			
藤本 眞一			
添付ファイル			

教育スタッフ			
概要	<p>1)対象 医学科1～4年次の緊急医師確保入学試験枠学生全員とする。 申込み方法：受験者は教育開発センターまたは県費奨学生配置センターへ申込をする。 ※ 詳細は別途通知する。</p> <p>2)実習内容 (メンター実習) 休暇中の月曜日～金曜日までの5日間、1日6時間、合計30時間 奈良県立医科大学教育協力施設等の医療施設で実習を行う。 原則として、1施設につき、学生1名とする。 (研修会等) 教育開発センター、地域医療学講座、県費奨学生配置センターが緊急医師確保入学試験枠学生のために企画する会議、研修会等に参加する。</p>		
目標	<p>1)目標 緊急医師確保入学試験枠学生のための特別なプログラムで、6年一貫教育で実施する地域基盤型医療教育プログラムの一つである。 この実習を通じて、地域医療の現場を知り、将来、奈良県の地域医療の担い手となるための心構えを身につける。</p> <p>2)注意点 ①休暇中のメンター実習の他、教育開発センター、地域医療学講座、県費奨学生配置センターが緊急医師確保入学試験枠学生のために企画する会議、研修会等に参加することが進級の要件となる。 ②メンター実習に参加した学生は、必ず報告会には参加しなければならない。 ③・メンター実習は、5日（計30時間）/年 参加する。 ・教育開発センター、地域医療学講座・県費奨学生配置センターとの面談、会議あるいは研修会等へ毎年定められた回数参加していれば、最大1日分のメンター実習とみなす。このことにより、メンター実習5日（計30時間）/年を4日（計24時間）/年とすることが出来る。 ・毎年次の進級判定前には、実習への参加の態度を勘案し、この実習の修了の可否を決定するため、教育開発センターにおいて面談を実施する。 ・1年生は入学時面談に参加する。 ・平成28年度以降入学の学生は、1～4年次の間に、本学と早稲田大学とで実施する「コンソーシアム実習」で2年に1回実施する夏期講座「地域医療学概論」に参加することを履修要件とする。</p> <p>3)その他 県費奨学生配置センターの計画する会議、研修会の年間予定は該当者については別途通知する。</p>		
評価方法	面談の評価、実習レポート、指導医による評価、会議・研修会への出席等により総合的に評価する。		
教科書・参考書	特になし		
授業計画	授業内容	授業形態	担当者
	メンター実習 1日目	実習	担当医
	メンター実習 2日目	実習	担当医
	メンター実習 3日目	実習	担当医
	メンター実習 4日目	実習	担当医
	メンター実習 5日目	実習	担当医
	面談（1年生対象）	実習	担当医
	面談 教育開発センター、地域医療学講座、県費奨学生配置センター	実習	担当医
	実習	担当医	

	メンター実習報告会1（秋）		
	メンター実習報告会2（春）	実習	担当医
	面談（各学年 進級判定会議前） 教育開発センター	実習	担当医
	会議、研修等	実習	担当医
学生へのメッセージ等	実習の日程調整については、教育開発センターと県費奨学生配置センターが対応しています。		

No.	授業科目名	授業方法	授業時間数	単位数 (授業時間数からの換算後)	実務経験 内容 (職種)	担当教員名
1	臨床医学総論	講義	12	0.8	医師	藤本眞一、山崎正晴、山上裕機、玉本哲郎、岡山悟志、神野正敏、水野麗子、大林千徳、藤井智美
2	腎疾患・ 尿路系疾患	講義	36	2.4	医師	鶴屋和彦、藤本清秀、赤井靖宏、江里口雅裕、鮫島謙一、田中宣道、藤井智美、丸上永見、鳥本一匡、穴井智、米田龍生、青木勝也、井上剛志、三宅牧人、伊丹弘恵、石川智朗、吉橋正典、西山成
3	肝・胆・膵疾患	講義	21	1.4	医師	吉治仁志、森田剛平、鍛冶孝祐、高津峯、庄雅之、野見武男、美登路昭、丸上永見、浪崎正、下里直隆、田中利洋、瓦谷英人、澤田保彦
4	消化器疾患	講義	36	2.4	医師	小山文一、澤井利夫、山尾純一、松本壮平、若月幸平、久下博之、矢田弘史、伊藤高広、瓦谷英人、守屋圭、池田直也、中本典透、吉橋正典、谷里奈
5	循環器疾患	講義	33	2.2	医師	斎藤能彦、吉川公彦、川上利香、中川仁、早田義宏、武輪能明、西田卓、渡邊真言、上村秀樹、畠山金太、阿部毅寿、添田恒有、尾上健児、岡山悟志、橋本行弘、上田友哉、廣瀬友亮、吉橋正典
6	呼吸器疾患	講義	33	2.2	医師	室繁郎、大林千徳、吉川雅則、長澄人、山内基雄、岡田博司、荻原健一、本津茂人、藤田幸男、尾辻秀章、川口剛史、澤端章好、田崎正人、山本佳史、伊藤武文、玉置伸二、甲斐吉郎、福岡篤彦、徳山猛、太田浩世、吉橋正典
7	画像診断・IVR	講義	9	0.6	医師	吉川公彦、市橋成夫、岡田博司、丸上永見、平井都始子、高濱潤子、伊藤高広、田中利洋、宮坂俊輝
8	神経疾患	講義	42	2.8	医師	中瀬裕之、杉江和馬、形岡博史、桐山敬生、渡邊恵介、木内博之、中川一郎、斎藤こずえ、江浦信之、田村健太郎、人見一彦、小林恭代、島田啓司、飯田淳一、川口正一郎、竹島靖浩、山田修一、鳥本一匡、松田良介、平林秀裕、橋本宏之、西村文彦、宮坂俊輝、岩佐直毅、朴永録、二階堂雄次、米澤泰司、泉哲石、中村光利、古家一洋平、本山靖、眞野智生、林浩伸、趙晶
9	運動器疾患	講義	20	1.3	医師	田中康仁、林雅弘、原良太、面川庄平、重松英樹、城戸颯、朴木寛弥、谷口晃、内原好信、廣瀬隆則、小川宗宏、藤井宏真、清水隆昌、奥村元昭、河村健二、稲垣有佐
10	精神・行動疾患	講義	30	2.0	医師	岸本年史、芳野浩樹、牧之段学、定松美幸、中村祐、根来秀樹、大野裕、岡野栄之、大谷浩一、三村將、飯田順三、紀本創兵、鳥塚通弘、安野史彦、松田康裕、井上雄一、盛本翼、切池信夫、高橋誠人、岡村和哉、山室和彦、中平毅一、趙晶
					その他	高橋茂樹(弁護士)
11	血液疾患	講義	30	2.0	医師	松本雅則、田中晴之、中峯寛和、早川正樹、谷慶彦、天野逸人、石原卓、吉井由美、八木秀男、野上恵嗣、宮川史
					その他	松井太衛(日本学術振興会特別研究員)
12	移植・再生医学	講義	21	1.4	医師	谷口繁樹、伊藤利洋、米田龍生、木村貴文、面川庄平、桑原理充、天野逸人、石原卓、柳生貴裕、金廣裕道、稲垣有佐、澤端章好、辻中大生
13	内分泌疾患	講義	17	1.1	医師	増谷剛、野上恵嗣、中井登紀子、樽松由佳子
14	眼疾患	講義	18	1.2	医師	緒方奈保子、上田哲生、西智、後岡克典、吉川匡宣、辻中大生
15	皮膚疾患	講義	12	0.8	医師	浅田秀夫、衣笠哲雄、小川浩平、福本隆也、宮川史、松本優香、西村友紀、正島千夏、光井博康
16	膠原病・ アレルギー疾患	講義	12	0.8	医師	藤本隆、浅田秀夫、杉江和馬、石川智朗、原良太、太田一郎、小川浩平、友田恒一、鮫島謙一、岡田正人
17	耳鼻咽喉疾患	講義	18	1.2	医師	北原礼、山中敏弘、西村忠己、上村裕和、太田一郎、宮坂俊輝、金澤成典、山下哲範、岡安唯
18	行動科学Ⅱ	講義	9	0.6	医師	本田美和子
					その他	吉川左紀子(認知心理学者)
19	東洋医学	講義	9	0.6	医師	三谷和男、鳥本一匡、木村麻衣、渡邊恵介
20	臨床腫瘍学・ 放射線治療学	講義	33	2.2	医師	長谷川正俊、大林千徳、伊藤利洋、本津茂人、庄雅之、山崎正晴、八巻香織、北出光輝、神野正敏、玉本哲郎、小山文一、平井都始子、若井展英、浅川勇雄、井上和也、四宮敏章、三浦幸子、穴井洋、太田豊作、國安弘基、佐伯圭吾
					その他	京谷陽司(薬剤師)
21	感染症	講義	21	1.4	医師	笠原敬、浅田秀夫、吉川正英、武山雅博、忽那賢志、岩井加奈、田中宣道、古西満、小川拓、宇野健司、福盛達也、矢野寿一、中野竜一
					その他	京谷陽司(薬剤師)
22	代謝・栄養疾患	講義	14	0.9	医師	石井均、赤羽たけみ、上田哲生、長谷川真理、田中誠人、鮫島謙一、添田恒有、岩佐直毅、新納恵美子、上田友哉
23	衛生学・ 公衆衛生学Ⅱ	講義	30	2.0	医師	今村知明、野田龍也、佐伯圭吾、赤羽学、町田宗仁、水野文子、高岡志帆、甲田勝康、神奈川芳行、高橋泰
					その他	小川俊夫(元WHO職員)
24	小児疾患	講義	15	1.0	医師	榊原崇文、西久保敏也、長谷川真理、野上恵嗣、古川晶子、田中一郎、辻井信之、大前隆志、大西智子、吉澤弘行、石川智朗、武山雅博、矢田弘史、荻原健一、石原卓
25	産産期医学	講義	24	1.6	医師	川口龍二、西久保敏也、内田優美子、釜本智之、河原直紀、中村春樹、市川麻祐子、新納恵美子
26	法医学	講義	30	2.0	医師	粕田承吾、羽竹勝彦
27	在宅医療学	講義	4	0.3	医師	朝倉健太郎、次橋幸男、明石陽介
28	外傷・救急医学	講義	24	1.6	医師	福島英賢、川井廉之、西和田忠、井上聡己、恵川淳二、浅井英樹、北村総一郎、河村健二、後藤安宣、古家一洋平、瓜園泰之、井上剛志、多田祐介、朴永録、山下哲範、小川宗宏、渡邊真言、前川尚直、畑倫明、小延俊文、平賀俊、今村知明
29	総合診療	講義	12	0.8	医師	西尾健治、武田以知郎、矢田憲孝、吉本清巳、石丸裕康、大野史郎、赤井靖宏
30	婦人疾患	講義	15	1.0	医師	山田有紀、内山智子、高濱潤子、長安実加、馬淵誠士
31	口腔疾患	講義	18	1.2	医師	桐田忠昭、山川延宏、館村卓、堀田聡、川上正良、山本一彦、川上哲司
32	麻酔・疼痛管理	講義	21	1.4	医師	川口昌彦、藤原亜紀、阿部龍一、北口勝康、山上裕章、位田みつる、中本達矢、四宮敏章、吉谷健司、安宅一見、田中優、下川充、中川雅史、植村景子、内藤清介、新城武明、吉橋正典
計			679	45		

地域基盤型医療教育コース

コース責任者：教育開発センター 教員

1. 授業の概要

2. 授業のねらい

奈良県立医科大学は、高度先進医療を担う専門医を養成するとともに奈良県の地域医療を担う人材を養成する責務を負っている。学生諸君は一般教育で教養を涵養し、基礎医学を学んでリサーチマインドを身に付け、そして医師としての自覚とともに1000を超える疾患の病態生理、診断、治療について学ぶことが求められている。

しかし、大学附属病院は3次医療機関として高度先進医療を行なうことが責務であるため、来院する患者は特殊なあるいは稀な疾患であることが多く、また、治療のための在院期間が非常に短いのが通例である。つまり、特殊な疾患に求められる高度で核心的な治療を短期間に集中して行っている。いわゆるCommon diseaseや特定の疾患の治療を時間軸全体（初診から治療完結まで）で学ぶこと、そして、患者医療を支える社会的資源（福祉、介護など）を学ぶためにはキャンパス内での学習では不十分である。この地域基盤型医療教育コースはキャンパス内では学ぶことが難しいこれらの学習課題を学ぶために企画されている。このカリキュラムを通じて学生諸君が、地域住民の健康管理および医療の実態を知るとともに、プライマリケアの在り方、全人的医療の重要性を学び、同時に住民との触れ合いを通じて人間性を涵養することを願っている。

3. 授業計画

1) 正規プログラム

医学・医療入門講座（1年次）、早期医療体験実習（1年次）は準備教育として学内で実施する。

地域医療実習1（3年次）および地域医療実習2（6年次）は地域診療所、地域基幹病院など学外施設を利用して行われる。

キャリアパス・メンター実習は卒後のキャリア形成支援の一環として学内で実施する。

2) 休暇中特別プログラム

緊急医師確保枠学生地域医療特別実習1（1～4年次）、緊急医師確保枠学生地域医療特別実習2（5～6年次）のうち、地域診療所等で実習する「メンター実習」は夏季・冬季・春季のいずれかの休暇中等に実施する緊急医師確保枠学生のためのプログラムである。

コンソーシアム実習は夏季休業中に早稲田大学と連携して隔年で「地域医療学概論」として本学で開講されるプログラムであり、緊急医師確保枠学生は1年次～6年次までの間に1回、その他の1年次～6年次までのすべての学生は選択科目として受講できる。

詳しい授業内容については、シラバス「緊急医師確保枠学生地域医療特別実習Ⅰ、Ⅱ」を参照してください。

4. 評価方法

各学年毎に活動状況を総合的に評価する。

5. 推奨する教科書

特になし

6. 参考図書

特になし

7. 学生へのメッセージ等

実習の詳細については、事前に説明会を開催して説明します。緊急医師確保枠学生地域医療特別実習1（1～4年次）、緊急医師確保枠学生地域医療特別実習2（5～6年次）の日程調整については教育開発センター実習コーディネーターが対応しています。

研究医養成コース

コース責任者：医学部長

コーディネーター：教育開発センター 教員

1. 授業の概要

1) 学部における実施の概要

研究医養成コースは、第2学年4月1日から開始される。

2) 大学院における実施の概要

研究医養成コース卒業後、奈良県立医科大学大学院医学研究科（博士課程、4年間）、関西医科大学大学院医学研究科（博士課程、4年間）または早稲田大学大学院（先進理工学研究科後期課程、3年間）のいずれかに進学し、博士の学位を取得する。奈良県立医科大学または関西医科大学では3年での取得を目指す。

2. 授業のねらい

基礎医学・社会医学の分野において、世界的に貢献する研究者となるための基礎を身に付ける。

3. 授業計画

1) 正規プログラム

本コースの学生は、一般学生が地域医療実習1（3年次）、キャリアパス・メンター実習および地域医療実習2（6年次）を履修する期間、研究医メンター実習を履修（必修）する。研究医メンター実習では、各自が将来専門にしたいと希望する基礎医学・社会医学系教室で指導を受ける。また、リサーチ・クラークシップ（2年次）の期間は、研究医メンター実習またはリサーチ・クラークシップのどちらかを選択し、履修（必修）する。

2) 休暇中特別プログラム

夏季・冬季・春季の休暇中にも、「研究医メンター実習」を必修履修する。

なお、研究医養成コースの学生は、毎年1回は、研究発表会を学内で開催し、医学部長、指導担当教員、教育開発センター教授から評価を受けることが義務付けられる。

コンソーシアム実習は夏季休暇中に早稲田大学と連携して開講されるプログラムであり、本コースの学生は隔年で早稲田大学で開講されるコンソーシアム実習「先端医療工学と生命科学」を在学期間中に必修履修する。

3) 早稲田大学 Academic writing program

本コースでは、在学中に英語のライティングの基礎を学び、英語の論文や文書に対応できるようにする。このコースも研究医養成コースの学生について必修とする。

ホームページ参照

http://www.w-int.jp/gogaku/course/a_writing.html

4. 評価方法

各学年毎に活動状況を総合的に評価する。

5. 推奨する教科書

特になし

6. 参考図書

特になし

7. 学生へのメッセージ等

メンター実習の日程調整については教育開発センター実習コーディネーターが対応しています。

公立大学法人奈良県立医科大学料金規程（抄）

第1条 公立大学法人奈良県立医科大学が徴収する料金の額等について定めるものとする。

第2条 授業料の額は、次のとおりとする。

(1) 学部 年額 535,800円

(2) 学年の中途において入学し、退学し、若しくは転学した者又は休学した者の授業料の額は、その者が当該学年中において現に在学した月数に応じて前項各号に規定する授業料の年額を月割計算した金額とする。

第3条 授業料は、次の期に分ち、理事長の指定する期日に納付しなければならない。

	第 1 期	第 2 期	第 3 期
学 部	223,250 円	178,600 円	133,950 円

在学中に授業料の改定が行われた場合には、改訂時から新授業料が適用されます。

授業料の納入方法

授業料の納入方法は、口座引落を推奨しています。

引落は年3回、4月・9月・1月の27日（その日が銀行の休業日の場合は翌日）になりますので、残高に注意をお願いします。引落口座の変更は、各引落日の1ヶ月前までに教育支援課へ申し出てください。

区 分	金 額	口座引落日（予定）
第 1 期	223,250 円	2020年4月27日（月）
第 2 期	178,600 円	2020年9月28日（月）
第 3 期	133,950 円	2021年1月27日（水）

注1) 振替日に引落ができなかった人は、振込依頼書を発行しますので、銀行窓口へ持参してすみやかに払い込んでください。この時の振込手数料は各自負担となります。

注2) 授業料滞納者には、保証人に対し督促状を送付し、悪質な場合は、退学を命ずることがあります。

注3) 入学後第1回目の引落及び納付期限日は、事務処理の都合上5月27日となります。

2020年度 カリキュラム図

2019年度		2020年度		2021年度													
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育	教育
基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I	基礎医学 I
基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II	基礎医学 II
臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I	臨床実習 I
臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II	臨床実習 II